
平成 28 年度
松本市民満足度調査
報告書

平成 29 年 3 月
松 本 市

目 次

第1章 調査概要	1
1. 調査の目的	1
2. 調査の実施方法	1
3. アンケート用紙回収結果	2
第2章 回答者属性	3
1. 回答者の基本属性	3
2. 受益対象者を把握する項目	5
第3章 各施策に対する評価	6
1. 施策評価設定の考え方や集計・分析方法	6
(1) 施策評価の考え方	6
(2) 集計方法	6
(3) 施策評価分析の視点	7
2. 【基本目標1】だれもが健康でいきいきと暮らすまちづくり	8
(1) 今年度調査結果	9
(2) 経年比較分析	11
3. 【基本目標2】一人ひとりが輝き大切にされるまちづくり	14
(1) 今年度調査結果	15
(2) 経年比較分析	19
4. 【基本目標3】安全・安心で支えあいの心がつなぐまちづくり	25
(1) 今年度調査結果	26
(2) 経年比較分析	30
5. 【基本目標4】人にやさしい環境を保全し自然と共生するまちづくり	36
(1) 今年度調査結果	37
(2) 経年比較分析	40
6. 【基本目標5】魅力と活力にあふれにぎわいを生むまちづくり	43
(1) 今年度調査結果	44
(2) 経年比較分析	47
7. 【基本目標6】ともに学びあい人と文化を育むまちづくり	50
(1) 今年度調査結果	51
(2) 経年比較分析	54
8. 行政について	57
(1) 今年度調査結果	58
(2) 経年比較分析	60
第4章 松本市での暮らしに関する総合的な評価結果	62
1. 松本市での暮らしに対する満足度	62

(1) 今年度調査結果.....	62
(2) 経年比較分析.....	64
2. 暮らしのなかでの「生きがい」.....	66
(1) 今年度調査結果.....	66
3. 松本市での居住継続意向.....	68
(1) 今年度調査結果.....	68
(2) 経年比較分析.....	70
第5章 総括.....	72
1. 松本市での暮らしの現状.....	72
2. 基本施策ごとの評価.....	73
(1) 基本施策ごとの特徴的な傾向.....	73
(2) 年代別に評価の傾向が異なる施策.....	78
(3) 市の現状評価と市民の行動からみる施策の方向性.....	80
(4) 経年による調査結果の比較.....	82

第1章 調査概要

1. 調査の目的

本調査は「松本市総合計画（第10次基本計画〔平成28～32年度〕）」をもとに本市が実施する各分野の施策について、本市の環境・体制の評価や自身の行動について測ることによって、各施策の進捗状況を継続的に把握することを目的に実施した。

なお、本調査は、平成23年度に策定した「第9次基本計画」の施策評価から行っており、継続的に評価できる施策は経年比較分析を行う設計としている。

2. 調査の実施方法

■調査対象者：松本市在住の20歳以上80歳未満の男女

■抽出方法：無作為抽出

■調査方法：返信用封筒を同封した、質問票送付によるアンケート調査形式。

全国的な景気の動向など、本市の取組以外の外的な要因が施策評価に影響を与える可能性があるため、調査は2回にわけて実施する。本書では2回分の調査結果を合わせて分析を行う。

■対象数：2,400名（1,200名×2回）

■実施期間：第1回 平成28年11月17日（木）～12月12日（月）

第2回 平成29年1月17日（火）～2月13日（月）

■調査項目：

- ① 回答者属性
- ② 松本市での暮らしについて
- ③ 受益対象者を把握する項目
- ④ 6つの基本目標からなる基本施策の評価
 - ・だれもが健康でいきいきと暮らすまちづくり
 - ・一人ひとりが輝き大切にされるまちづくり
 - ・安全・安心で支えあいの心がつなぐまちづくり
 - ・人にやさしい環境を保全し自然と共生するまちづくり
 - ・魅力と活力にあふれにぎわいを生むまちづくり
 - ・ともに学びあい人と文化を育むまちづくり
- ⑤ 行政に対する評価
- ⑥ 松本市の生活について【自由記述】

3. アンケート用紙回収結果

	第 1 回	第 2 回	合計
回収数	629 件	624 件	1,253 件
回収率	52.4%	52.0%	52.2%
無回答	1 件	1 件	2 件
有効回答数	628 件	623 件	1,251 件

【参考】

平成 27 年度の回収状況

- 実施期間 : 第 1 回 平成 27 年 10 月 23 日 (金) ~ 11 月 13 日 (金)
第 2 回 平成 28 年 1 月 8 日 (金) ~ 1 月 27 日 (水)

	第 1 回	第 2 回	合計
回収数	699 件	656 件	1,355 件
回収率	58.3%	54.7%	56.5%
無回答	1 件	0 件	1 件
有効回答数	698 件	656 件	1,354 件

※本書の注意点

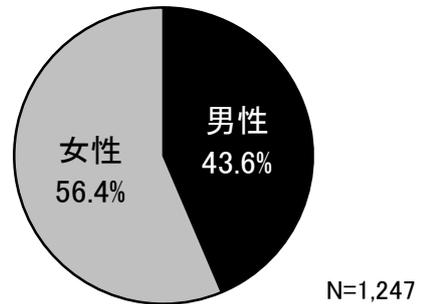
- ・ 図表中の割合は、小数点第 2 位を四捨五入した数値であるため、合計値が 100%にならない場合がある。
- ・ 無回答は集計から外しているため、回答数の合計は設問ごとに異なる。

第2章 回答者属性

1. 回答者の基本属性

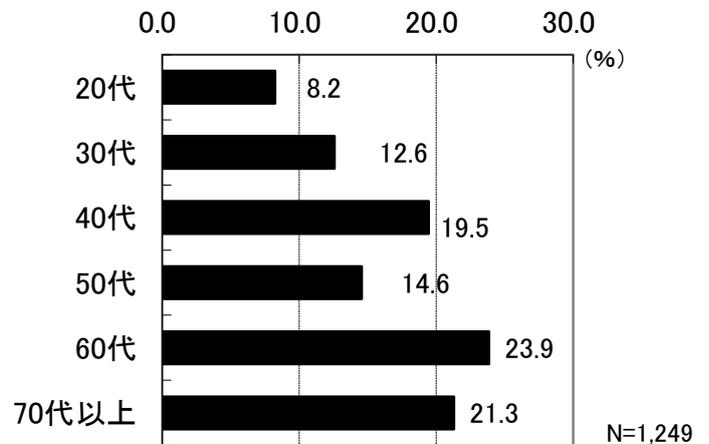
図表 1 性別

	回答数(人)	割合(%)
男性	544	43.6
女性	703	56.4
合計	1,247	100.0



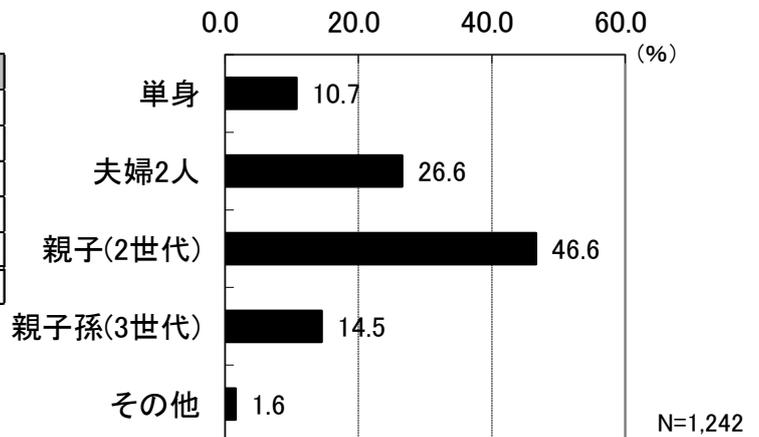
図表 2 年代

	回答数(人)	割合(%)
20代	103	8.2
30代	157	12.6
40代	243	19.5
50代	182	14.6
60代	298	23.9
70代以上	266	21.3
合計	1,249	100.0



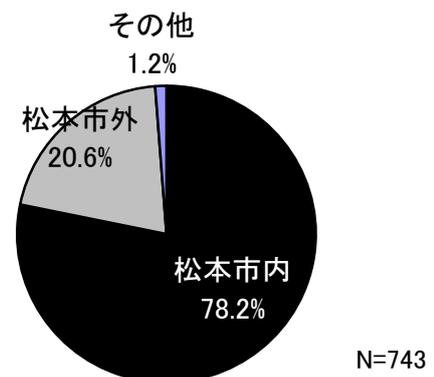
図表 3 家族構成

	回答数(人)	割合(%)
単身	133	10.7
夫婦2人	330	26.6
親子(2世代)	579	46.6
親子孫(3世代)	180	14.5
その他	20	1.6
合計	1,242	100.0



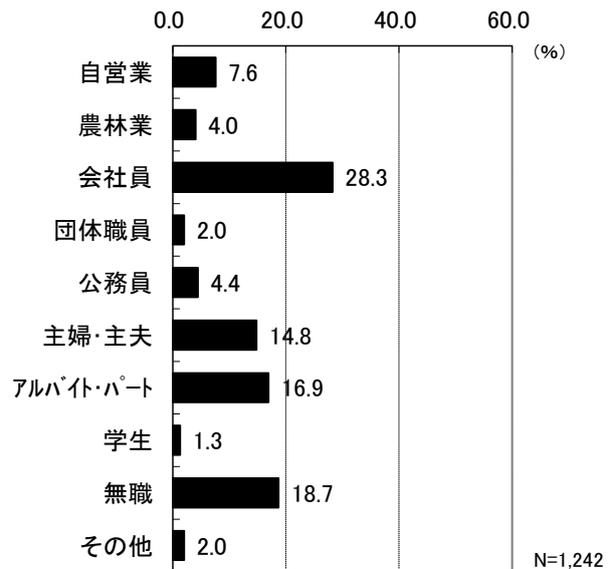
図表 4 職場

	回答数(人)	割合(%)
松本市内	581	78.2
松本市外	153	20.6
その他	9	1.2
合計	743	100.0



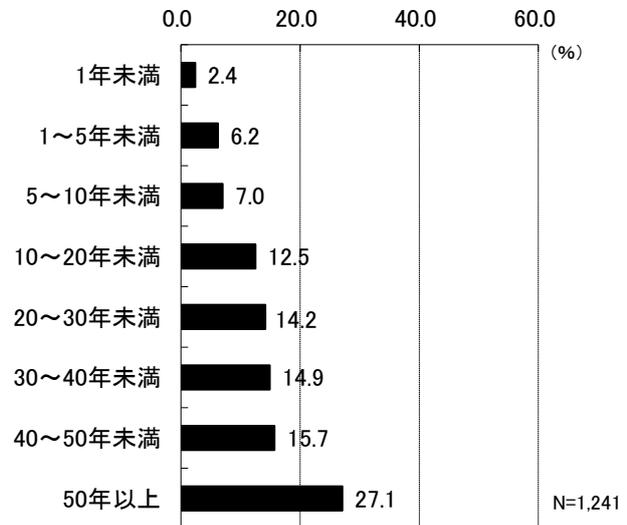
図表 5 職業

	回答数(人)	割合(%)
自営業	94	7.6
農林業	50	4.0
会社員	351	28.3
団体職員	25	2.0
公務員	55	4.4
主婦・主夫	184	14.8
アルバイト・パート	210	16.9
学生	16	1.3
無職	232	18.7
その他	25	2.0
合計	1,242	100.0



図表 6 居住年数

	回答数(人)	割合(%)
1年未満	30	2.4
1～5年未満	77	6.2
5～10年未満	87	7.0
10～20年未満	155	12.5
20～30年未満	176	14.2
30～40年未満	185	14.9
40～50年未満	195	15.7
50年以上	336	27.1
合計	1,241	100.0



図表 7 居住地区

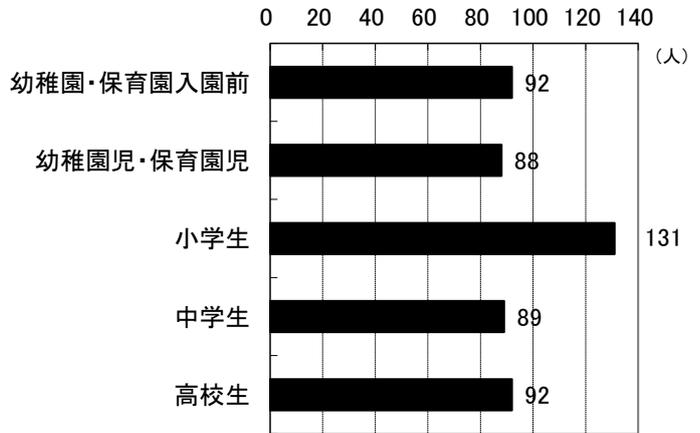
居住地区名	回答数(人)	割合(%)	居住地区名	回答数(人)	割合(%)
第1地区	11	0.9	神林地区	22	1.8
第2地区	13	1.1	笹賀地区	54	4.4
第3地区	22	1.8	芳川地区	102	8.4
東部地区	20	1.6	寿地区	69	5.7
中央地区	11	0.9	松原地区	25	2.1
城北地区	29	2.4	寿台地区	16	1.3
安原地区	23	1.9	岡田地区	34	2.8
城東地区	21	1.7	入山辺地区	8	0.7
白板地区	24	2.0	里山辺地区	57	4.7
田川地区	15	1.2	今井地区	21	1.7
庄内地区	73	6.0	内田地区	9	0.7
鎌田地区	78	6.4	本郷地区	57	4.7
松南地区	39	3.2	安曇地区	11	0.9
島内地区	66	5.4	奈川地区	4	0.3
中山地区	25	2.1	梓川地区	67	5.5
島立地区	43	3.5	四賀地区	21	1.7
新村地区	16	1.3	波田地区	91	7.5
和田地区	22	1.8	合計	1,219	100.0

2. 受益対象者を把握する項目

この項目は「子育て」や「小中学校における教育」、「高齢者福祉」、「障害者福祉」など、サービスの受益者が限定的な施策の対象者を把握するために設定した。

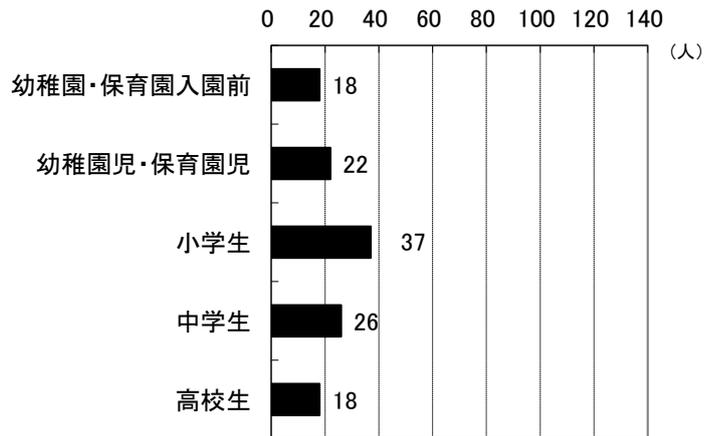
図表 8 同居している子どもの有無

[同居]子どもの有無	回答数(人)
幼稚園・保育園入園前	92
幼稚園児・保育園児	88
小学生	131
中学生	89
高校生	92



図表 9 同居している孫の有無

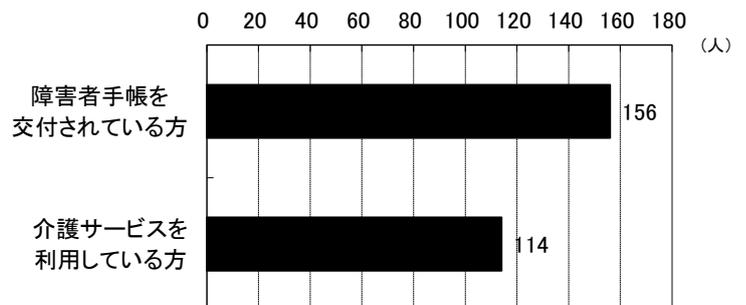
[同居]孫の有無	回答数(人)
幼稚園・保育園入園前	18
幼稚園児・保育園児	22
小学生	37
中学生	26
高校生	18



図表 10 障害者手帳交付者／介護サービス利用者（同居家族）

※施設に入居している家族を含む

同居家族	回答数(人)
障害者手帳を交付されている方	156
介護サービスを利用している方	114



第3章 各施策に対する評価

1. 施策評価設定の考え方や集計・分析方法

(1) 施策評価の考え方

本市では、施策のアウトカム（成果）として「市民一人ひとりの行動」も含めた市民生活の向上を目指している。本調査では各施策に対し、可能な限り「市民の行動」を把握する項目を設定した。

市民の行動が把握することが難しい施策については、「松本市の現状」に対する市民の認識を問う項目を設定し、その成果を測る。

「松本市の現状」、「市民一人ひとりの行動」のアウトカムは、第10次基本計画の施策ごとの目指す方向性を踏まえ、設定した。

(2) 集計方法

集計は、選択肢ごとの回答数を示す「単純集計」を行い、回答の分布状況を明らかにする。また、各施策の評価結果を「平均点化」する集計をすることによって、調査結果を単純化するとともに、経年変化の把握を行うことができる。「単純集計」と「平均点化」の算出方法は以下のとおりである。

①単純集計（度数分布）

単純集計では、「あてはまる」～「あてはまらない」、「わからない」等の各選択肢に対する回答者の比率を算出する。

②平均点化の方法

平均点は、「そう思う」～「そう思わない」等にそれぞれ4点～1点の点数を与え、その点数の総和を回答数で除すことによって算出した。その際、判断の保留を意味する「わからない」や「無回答」が評価に影響を与えないように、計算式からは除外した。計算手順は以下のとおりである。

1) アンケート回答の得点化

「松本市の現状」に関する設問の場合

そう思う	→4点
ややそう思う	→3点
あまりそう思わない	→2点
そう思わない	→1点

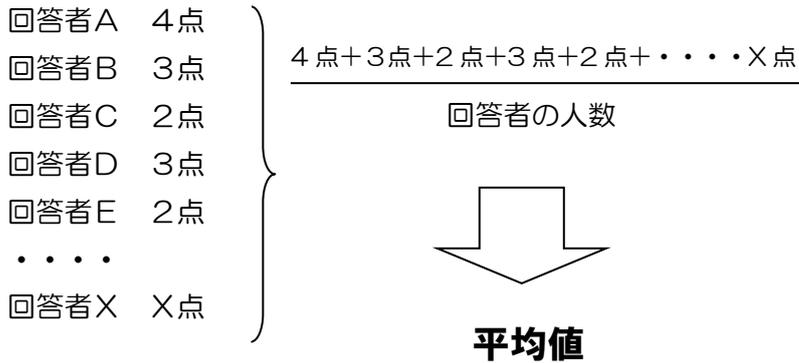
「市民の行動」に関する設問の場合

あてはまる	→4点
ややあてはまる	→3点
あまりあてはまらない	→2点
あてはまらない	→1点

※得点化により中央値は2.5となる。平均点の高低を判断する際の基準値とする。

平均点が中央値より高い場合は肯定的な評価者が多く、中央値以下の場合は否定的な評価者が多いとみることができる。

2) 平均値の算出方法



平均値は回答の「中心傾向」を表す。中心傾向とは、回答者の多くがどのような評価に集中していたかを意味する。本書では、市民の意見をよりわかりやすい形で確認できるよう、平均値を用いる。

(3) 施策評価分析の視点

本報告書では、政策ごとに今年度の調査結果を示した後、経年比較分析を示している。

なお、「子育て」や「小中学校における教育」、「高齢者福祉」、「障害者福祉」など、サービスの受益者が限定的な施策については、対象者と市民全体の評価をそれぞれ表示しており、評価の差がわかるようにした。

視点①今年度の調査結果の分析

「松本市の現状」「市民の行動」の評価の差や評価保留の割合、年代別分析等を行った。

分析	具体的な内容
度数分布の分析	単純集計結果からは当該施策に対する市民の評価の分布をみる事ができる。肯定的評価や評価保留の割合の分布について把握した。
平均点の分析 (全体集計・年代別集計)	中央値 2.5 点を基準にしながら、評価の高低をみる。平均点は回答者全体の結果と年代別による結果を示した。若年層、シニア層で施策評価に差がある項目の抽出を行う。

視点②経年比較での分析

今年度、第10次基本計画の施策体系や目指す方向性にあわせて、調査項目の大幅な見直しを行った。経年比較分析は、調査項目の変更がないものに限って行う。

分析	具体的な内容
平均点による 経年比較	施策ごとに平均点を出し、年度ごとにその変化を比較する。平均点が大きく変化しているような場合は、施策のプラスもしくはマイナスのアウトカムが発生しているといえる。
評価保留の割合の 経年比較	施策ごとに評価保留の割合（「わからない」と回答した割合）を出し、年度ごとにその変化を比較する。評価保留の割合が大きく変化しているような場合は、施策の周知が進んだか、もしくは対象者が増加したが周知されていないことを示している

2.【基本目標1】だれもが健康でいきいきと暮らすまちづくり

本市では、だれもが心も体も健康で、住み慣れた地域で心豊かに暮らすことができるよう、安らぎと潤いのあるまちづくりを進めている。

■基本施策と評価項目

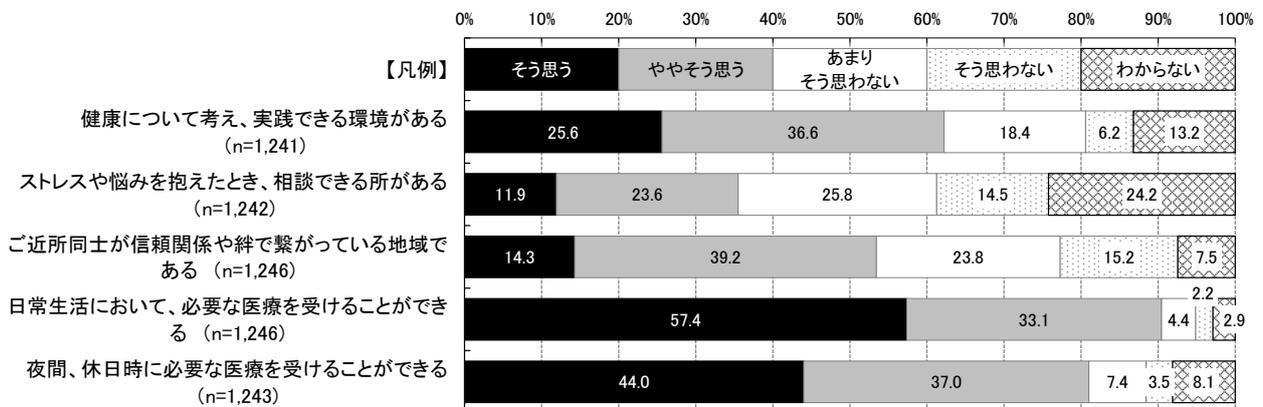
政策の方向 (まちの姿)	基本施策 (個別目標)	調査項目	評価対象
1-1 健康を大切にすまち	1-1-1 健康づくりの推進	健康について考え、実践できる環境がある	市
		健康づくりに継続的に取り組んでいる	市民
	1-1-2 心の健康、生きがいづくりの推進	ストレスや悩みを抱えたとき、相談できる所がある	市
		不安やストレスを一人で抱え込まないようにしている	市民
	1-1-3 ソーシャルキャピタルを生かした健康づくり	ご近所同士が信頼関係や絆で繋がっている地域である	市
	1-2 いつでも医療が受けられるまち	1-2-1 地域医療の充実	日常生活において、必要な医療を受けることができる
1-2-2 救急医療・周産期医療の充実		夜間、休日時に必要な医療を受けることができる	市

(1) 今年度調査結果

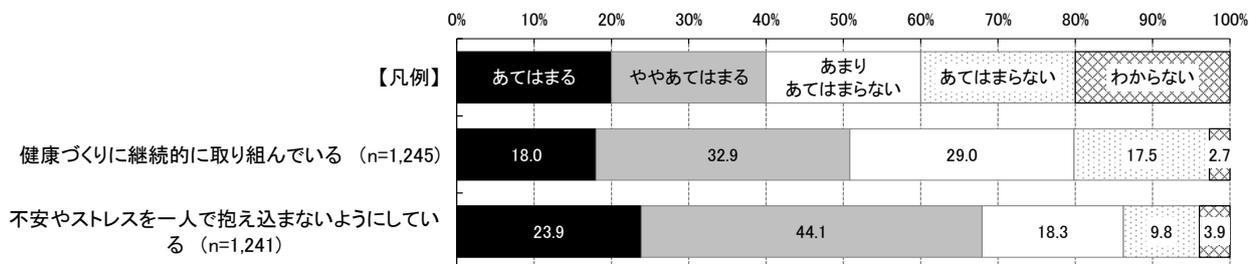
① 度数分布

- ・市の現状については、「日常生活において、必要な医療を受けることができる」、「夜間、休日時に必要な医療を受けることができる」は約8割～9割の市民が肯定的な評価をしている。「健康について考え、実践できる環境がある」「ご近所同士が信頼関係や絆で繋がっている地域である」は約5～6割が肯定的な評価をしている。「ストレスや悩みを抱えたとき、相談できる所がある」は肯定的な評価は35.5%と最も低く、評価保留の割合が高い。
- ・市民の行動に関する項目では、「健康づくりに継続的に取り組んでいる」市民は約50.9%、「不安やストレスを一人で抱え込まないようにしている」市民は68.0%であった。

図表 11 松本市の現状について



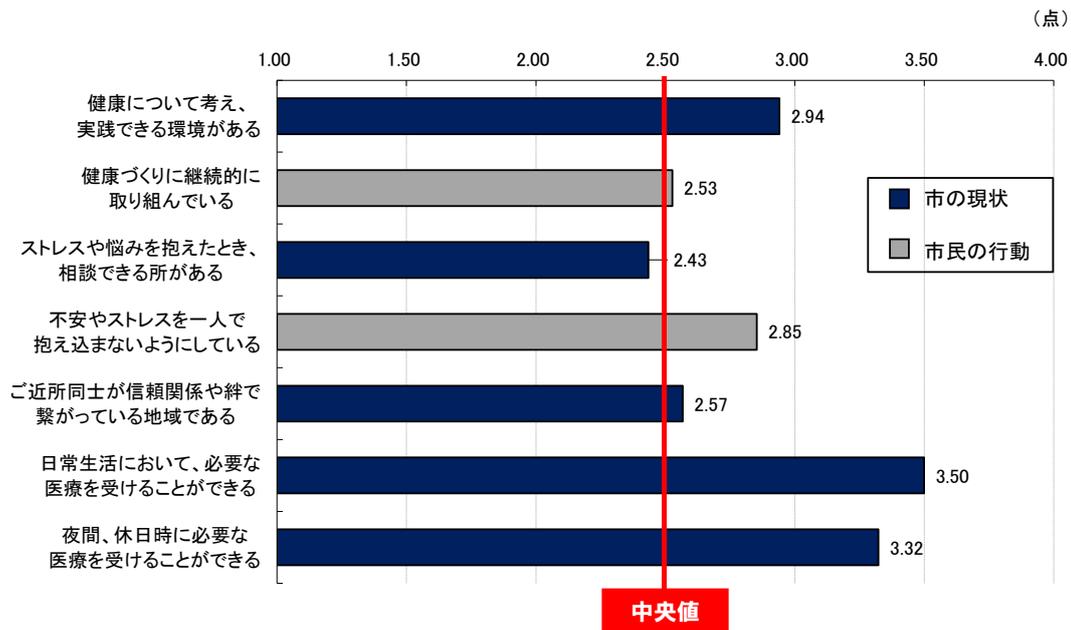
図表 12 市民の行動について



②平均点

- 平均点が最も高い項目は、「日常生活において、必要な医療を受けることができる」で 3.50 点であり、次いで「夜間、休日時に必要な医療を受けることができる」の 3.32 点である。
- 中央値（2.5 点）より低い項目は「ストレスや悩みを抱えたとき、相談できる所がある」のみであった。
- 年代別で見ると、いずれの項目でも 60 代・70 代以上の平均点が高い傾向にある。特に「健康について考え、実践できる環境がある」「健康づくりに継続的に取り組んでいる」は、若年層とシニア層で評価がわかれている。

図表 13 平均点・全体の比較



図表 14 年代別比較・松本市の現状

施策	(点)						
	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	全体
健康について考え、実践できる環境がある	2.65	2.59	2.83	2.97	3.05	3.19	2.94
ストレスや悩みを抱えたとき、相談できる所がある	2.28	2.36	2.43	2.34	2.41	2.64	2.43
ご近所同士が信頼関係や絆で繋がっている地域である	2.46	2.45	2.61	2.53	2.63	2.60	2.57
日常生活において、必要な医療を受けることができる	3.45	3.42	3.30	3.44	3.59	3.69	3.50
夜間、休日時に必要な医療を受けることができる	3.28	3.27	3.24	3.34	3.38	3.37	3.32

※傾向を見るため、各項目全体平均点より 0.2 点以上高いセルは濃い色、0.2 点以上低いセルには薄い色を付けている。

図表 15 年代別比較・市民の行動

(点)

施策	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	全体
健康づくりに継続的に取り組んでいる	2.38	2.26	2.26	2.44	2.71	2.87	2.53
不安やストレスを一人で抱え込まないようにしている	2.75	2.78	2.76	2.78	2.93	3.00	2.85

※各項目全体より 0.2 点以上高いセルは濃い色、0.2 点以上低いセルには薄い色を付けている。

(2) 経年比較分析

①平均点の推移

・過去5年間の結果と比較しても、概ね傾向は変わっていない。

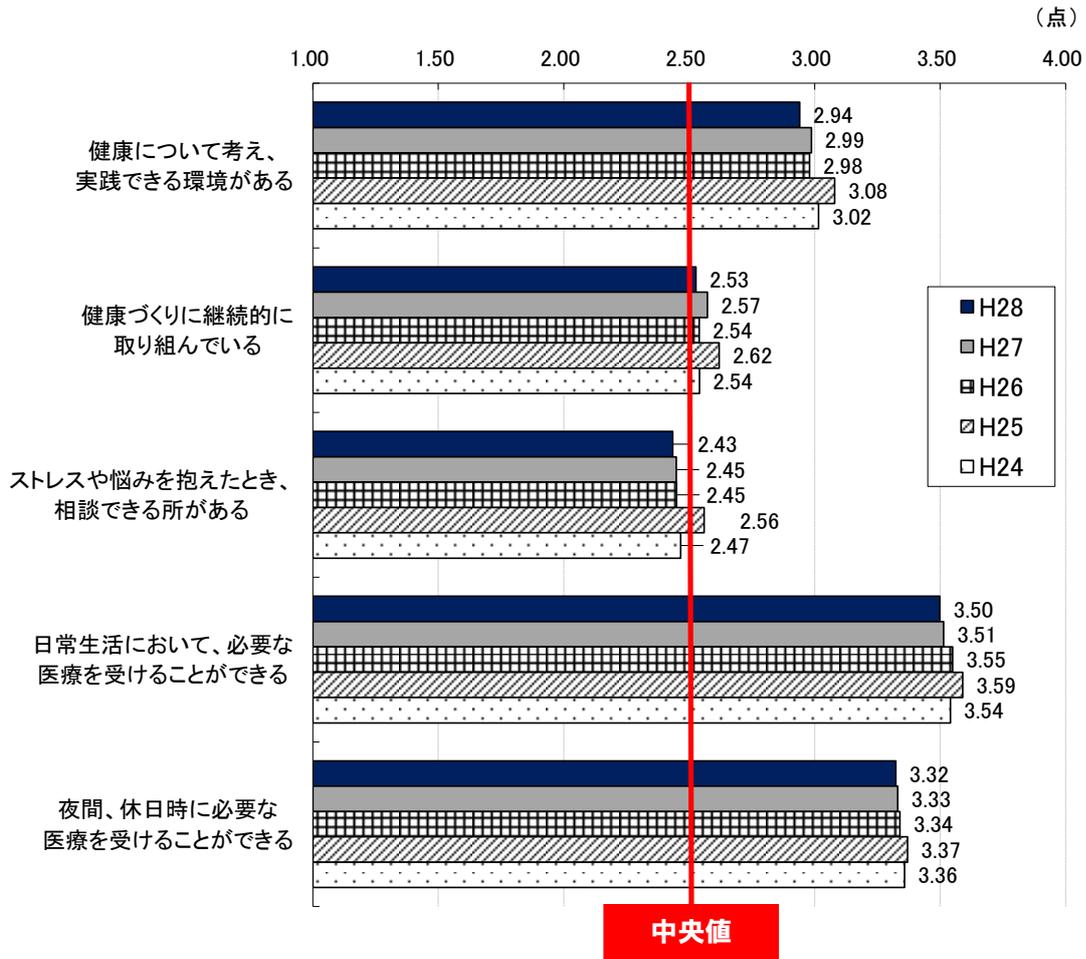
図表 16 経年比較・平均点の推移

基本施策 (個別目標)	調査項目	評価対象	平均点					
			差 H28-H27	H28	H27	H26	H25	H24
1-1-1 健康づくりの推進	健康について考え、実践できる環境がある	市	-0.05	2.94	2.99	2.98	3.08	3.02
	健康づくりに継続的に取り組んでいる	市民	-0.05	2.53	2.57	2.54	2.62	2.54
1-1-2 心の健康、生きがいづくりの推進	ストレスや悩みを抱えたとき、相談できる所がある	市	-0.02	2.43	2.45	2.45	2.56	2.47
	不安やストレスを一人で抱え込まないようにしている	市民	-	2.85	-	-	-	-
1-1-3 ソーシャルキャピタルを生かした健康づくり	ご近所同士が信頼関係や絆で繋がっている地域である	市	-	2.57	-	-	-	-
1-2-1 地域医療の充実	日常生活において、必要な医療を受けることができる	市	-0.01	3.50	3.51	3.55	3.59	3.54
1-2-2 救急医療・周産期医療の充実	夜間、休日時に必要な医療を受けることができる	市	-0.01	3.32	3.33	3.34	3.37	3.36

※網掛けのセルは中央値 2.5 未満の項目

※「-」は、今年度より調査した項目もしくは、調査項目に大きな変更があった項目

図表 17 経年比較・平均点の推移



②評価保留の割合の推移

- ・「ストレスや悩みを抱えたとき、相談できる所がある」については、年々改善がみられるものの、24.2%が「わからない」と回答しており、さらなる周知が必要である。

図表 18 経年比較・評価保留の割合の推移

基本施策 (個別目標)	調査項目	評価対象	評価保留の割合(%)					
			差 H28-H27	H28	H27	H26	H25	H24
1-1-1 健康づくりの推進	健康について考え、実践できる環境がある	市	-0.7	13.2	13.9	15.6	14.8	14.2
	健康づくりに継続的に取り組んでいる	市民	-0.7	2.7	3.4	2.9	2.8	3.6
1-1-2 心の健康、生きがいづくりの推進	ストレスや悩みを抱えたとき、相談できる所がある	市	-2.5	24.2	26.7	27.6	27.2	27.8
	不安やストレスを一人で抱え込まないようにしている	市民	-	3.9	-	-	-	-
1-1-3 ソーシャルキャピタルを生かした健康づくり	ご近所同士が信頼関係や絆で繋がっている地域である	市	-	7.5	-	-	-	-
1-2-1 地域医療の充実	日常生活において、必要な医療を受けることができる	市	0.6	2.9	2.3	3.5	2.9	1.9
1-2-2 救急医療・周産期医療の充実	夜間、休日時に必要な医療を受けることができる	市	2.4	8.1	5.7	7.2	7.0	6.1

※網掛けのセルは20%以上の項目

※「-」は、今年度より調査した項目もしくは、調査項目に大きな変更があった項目

3.【基本目標2】一人ひとりが輝き大切にされるまちづくり

本市では、一人ひとりが人として尊重され、質の高い暮らしを続けることができるよう、自助、共助、公助が調和するまちづくりを進めている。

■基本施策と評価項目

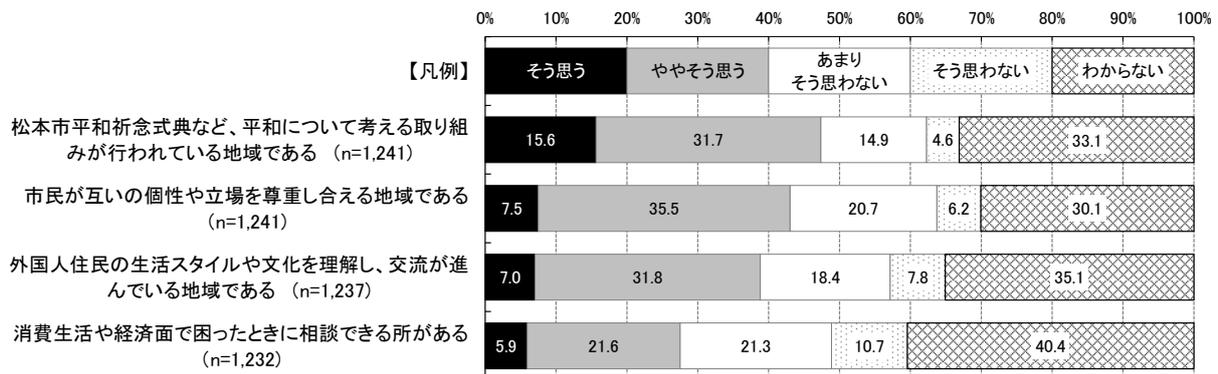
政策の方向 (まちの姿)	基本施策 (個別目標)	調査項目	評価対象
2-1 平和、人権を尊重する まち	2-1-1 平和意識の向上	松本市平和祈念式典など、平和について考える取組が行われている地域である	市
	2-1-2 人権尊重の推進	市民が互いの個性や立場を尊重し合える地域である	市
	2-1-3 多文化共生の推進	外国人住民の生活スタイルや文化を理解し、交流が進んでいる地域である	市
外国人住民と交流をするイベント等に参加したい		市民	
2-2 安定した暮らしを続けられるまち	2-2-1 高齢者福祉の充実	高齢者が安心して生活できる地域である	市
	2-2-2 障害者(児)福祉の充実	障害者が安心して生活できる地域である	市
	2-2-3 生活福祉の充実	消費生活や経済面で困ったときに相談できる所がある	市
2-3 子育てを応援するまち	2-3-1 子どもの権利の推進	行政による子どもを大切にする取組が行われている	市
		子どもの権利について理解し、尊重している	市民
	2-3-2 出産・子育て環境の充実	出産や育児を支えるための環境(体制)やサービスが充実している	市
	2-3-3 保育環境の充実	安心して子どもを預けることができる保育園・幼稚園・認定こども園がある	市
		子どもを育てやすいまちである	市
2-3-4 青少年の健全育成	地域で青少年(小中学生を含む)の自主性や主体性を育む活動(スポーツ・文化活動など)が行われている	市	
	青少年(小中学生を含む)の自主性や主体性を育む活動(スポーツ・文化活動など)を行っている	市民	

(1) 今年度調査結果

① 度数分布

- ・市の現状で、肯定的な評価が最も高い項目は「松本市平和祈念式典など、平和について考える取組が行われている地域である」であり、47.3%であった。肯定的評価が低い項目は「消費生活や経済面で困ったときに相談できる所がある」であり、27.5%に留まっている。
- ・市の現状については、いずれの項目も「わからない」の回答が30%以上である。特に「消費生活や経済面で困ったときに相談できる所がある」は評価保留の割合が高い。
- ・市民の行動では、「外国人住民と交流をするイベント等に参加したい」と考える市民は31.7%に留まる。

図表 19 松本市の現状について（受益者が限定されない項目）

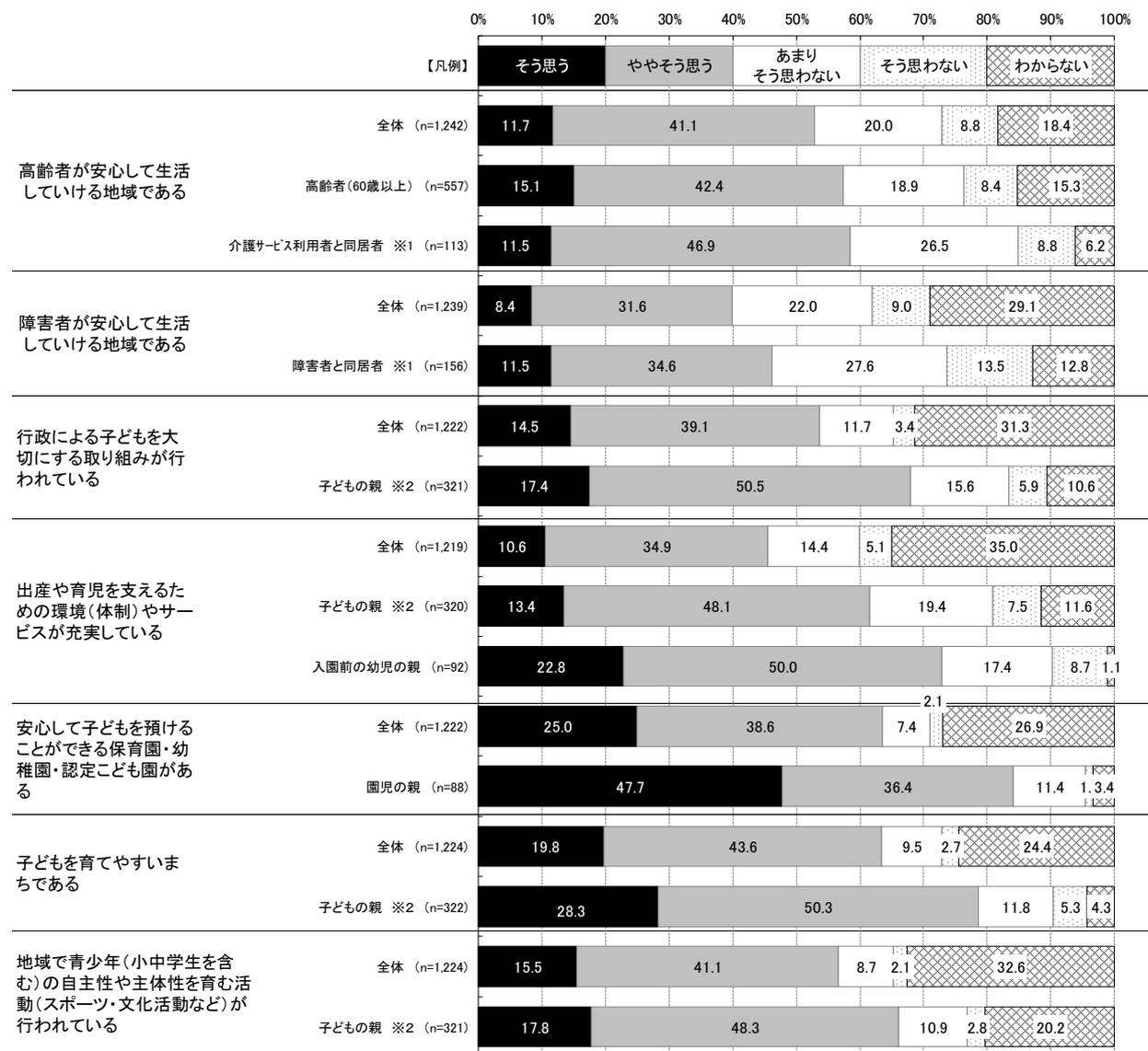


図表 20 市民の行動について（受益者が限定されない項目）



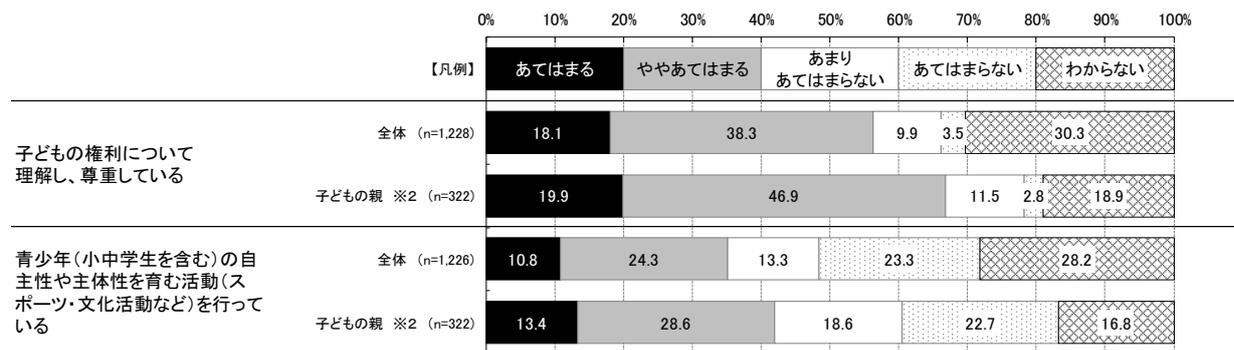
- ・市民全体と受益者の回答を比較すると、市民全体の方が評価保留の割合が高い傾向にある。
- ・子育て関連施策は、受益者の肯定的評価が高くなっている。特に評価に差があるのは、「安心して子どもを預けることができる保育園・幼稚園・認定こども園がある」であり、市民全体の肯定的評価の割合が63.6%に対し、園児の親は84.1%にのぼる。

図表 21 松本市の現状について（受益者が限定される項目）



※1) 施設入居者含む ※2) 高校生以下の子ども

図表 22 市民の行動について（受益者が限定される項目）

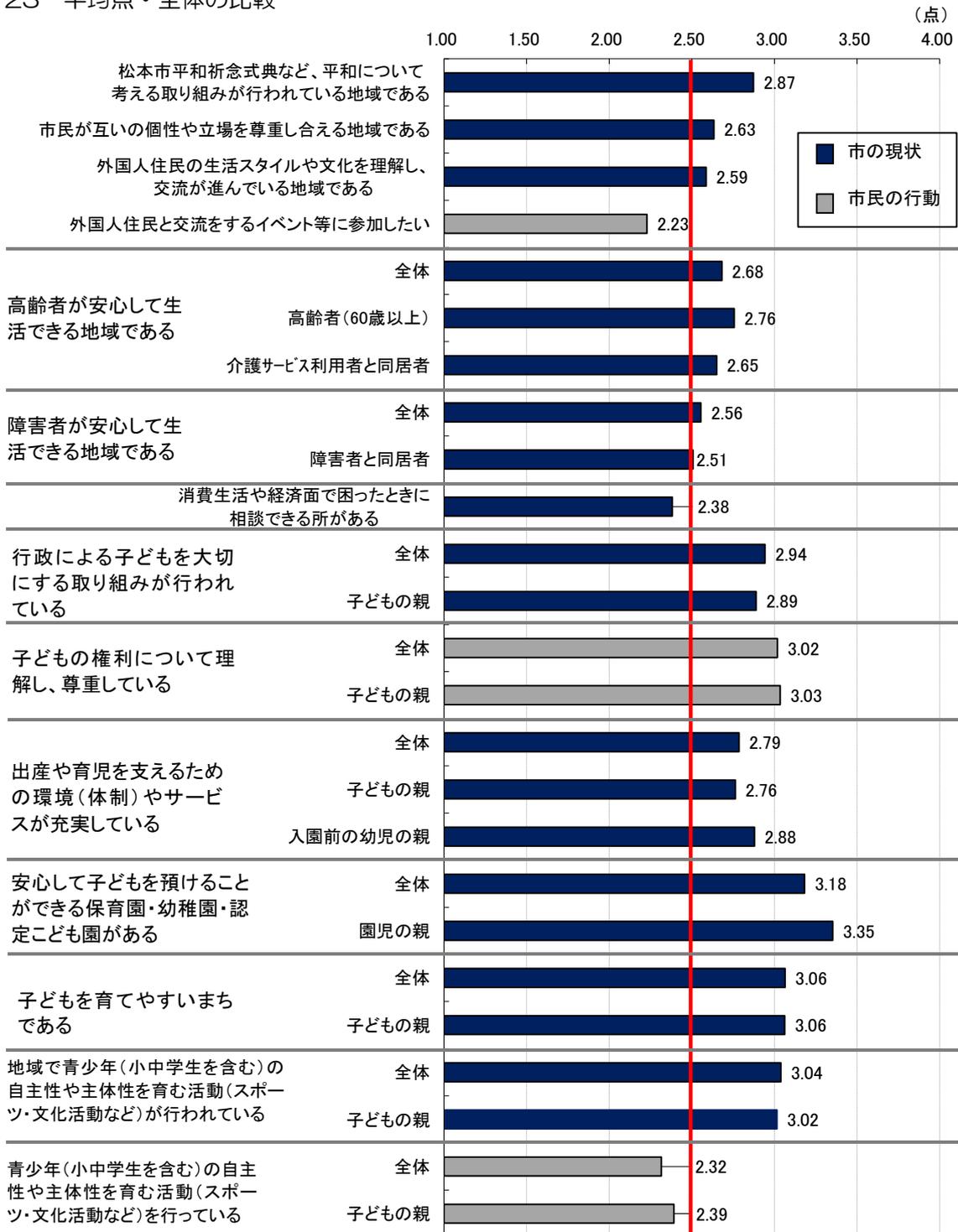


※2) 高校生以下の子ども

②平均点

- 基本目標2「一人ひとりが輝き大切にされるまちづくり」のなかで平均点が最も高い項目は、「安心して子どもを預けることができる保育園・幼稚園・認定こども園がある」であり、市民全体では3.18点、園児の親では3.35点であった。
- 市の現状評価のなかで、中央値(2.5点)より低い項目は、「消費生活や経済面で困ったときに相談できる所がある」のみであった。
- 「外国人住民との交流」と「青少年の自主性や主体性を育む活動」については、市や地域に対する評価と自身の行動を比較すると、0.3点以上の差がみられる。

図表 23 平均点・全体の比較



中央値

2) 年代別比較

・年代別にみると、「外国人住民と交流をするイベント等に参加したい」は30代で平均点が中央値を超えている。

図表 24 年代別比較・松本市の現状について

(点)

施策	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	全体
松本市平和祈念式典など、平和について考える取り組みが行われている地域である	2.76	2.67	2.87	2.90	2.85	3.01	2.87
市民が互いの個性や立場を尊重し合える地域である	2.60	2.49	2.59	2.56	2.71	2.74	2.63
外国人住民の生活スタイルや文化を理解し、交流が進んでいる地域である	2.65	2.66	2.61	2.53	2.62	2.50	2.59
高齢者が安心して生活していける地域である	2.58	2.59	2.60	2.68	2.72	2.79	2.68
障害者が安心して生活していける地域である	2.49	2.39	2.42	2.51	2.67	2.69	2.56
消費生活や経済面で困ったときに相談できる所がある	2.26	2.21	2.31	2.47	2.49	2.38	2.38
行政による子どもを大切にしている取り組みが行われている	2.84	2.72	2.87	2.92	2.99	3.20	2.94
出産や育児を支えるための環境(体制)やサービスが充実している	2.63	2.64	2.75	2.77	2.87	2.93	2.79
安心して子どもを預けることができる保育園・幼稚園・認定こども園がある	3.09	3.09	3.17	2.98	3.26	3.34	3.18
子どもを育てやすいまちである	3.01	3.02	3.00	3.01	3.13	3.18	3.06
地域で青少年(小中学生を含む)の自主性や主体性を育む活動(スポーツ・文化活動など)が行われている	3.05	2.97	3.00	3.00	3.03	3.17	3.04

図表 25 年代別比較・市民の行動について

(点)

施策	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	全体
外国人住民と交流をするイベント等に参加したい	2.14	2.52	2.33	2.34	2.18	1.89	2.23
子どもの権利について理解し、尊重している	2.91	2.90	2.93	3.18	3.00	3.12	3.02
青少年(小中学生を含む)の自主性や主体性を育む活動(スポーツ・文化活動など)を行っている	2.19	2.09	2.35	2.32	2.33	2.47	2.32

※各項目全体より 0.2 点以上高いセルは濃い色、0.2 点以上低いセルには薄い色を付けている。

(2) 経年比較分析

①平均点の推移

- ・過去5年間の結果と比較すると、「出産・子育て環境の充実」「保育環境の充実」は、上昇傾向である
- ・「外国人住民の生活スタイルや文化を理解し、交流が進んでいる地域である」は、今年度は中央値2.5点を上回った。

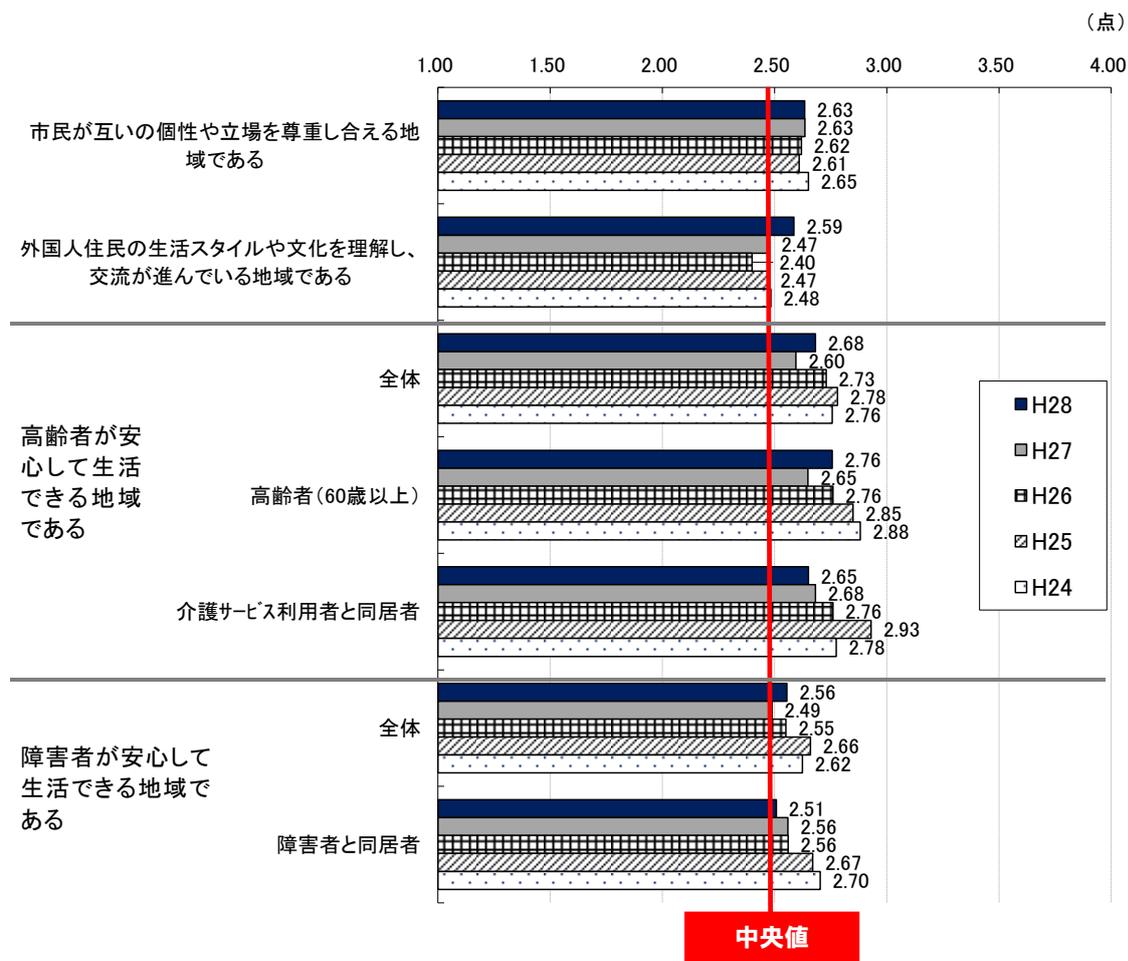
図表 26 経年比較・平均点の推移

基本施策 (個別目標)	調査項目	評価対象	平均点					
			差 H28-H27	H28	H27	H26	H25	H24
2-1-1 平和意識の向上	松本市平和祈念式典など、平和について考える取組が行われている地域である	市	0.47	2.87	2.40	2.52	2.53	2.58
2-1-2 人権尊重の推進	市民が互いの個性や立場を尊重し合える地域である	市	0.00	2.63	2.63	2.62	2.61	2.65
2-1-3 多文化共生の推進	外国人住民の生活スタイルや文化を理解し、交流が進んでいる地域である	市	0.11	2.59	2.47	2.40	2.47	2.48
	外国人住民と交流をするイベント等に参加したい	市民	-	2.23	-	-	-	-
2-2-1 高齢者福祉の充実	高齢者が安心して生活できる地域である	全体	0.09	2.68	2.60	2.73	2.78	2.76
		【高齢者(60歳以上)】	0.11	2.76	2.65	2.76	2.85	2.88
		介護サービス利用者と同居者	-0.03	2.65	2.68	2.76	2.93	2.78
2-2-2 障害者(児)福祉の充実	障害者が安心して生活できる地域である	全体	0.07	2.56	2.49	2.55	2.66	2.62
		障害者と同居者	-0.05	2.51	2.56	2.56	2.67	2.70
2-2-3 生活福祉の充実	消費生活や経済面で困ったときに相談できる所がある	市	-	2.38	-	-	-	-

※網掛けのセルは中央値2.5未満の項目

※「-」は、今年度より調査した項目もしくは、調査項目に大きな変更があった項目

図表 27 経年比較・平均点の推移



図表 28 経年比較・平均点の推移（受益者が限定される項目）

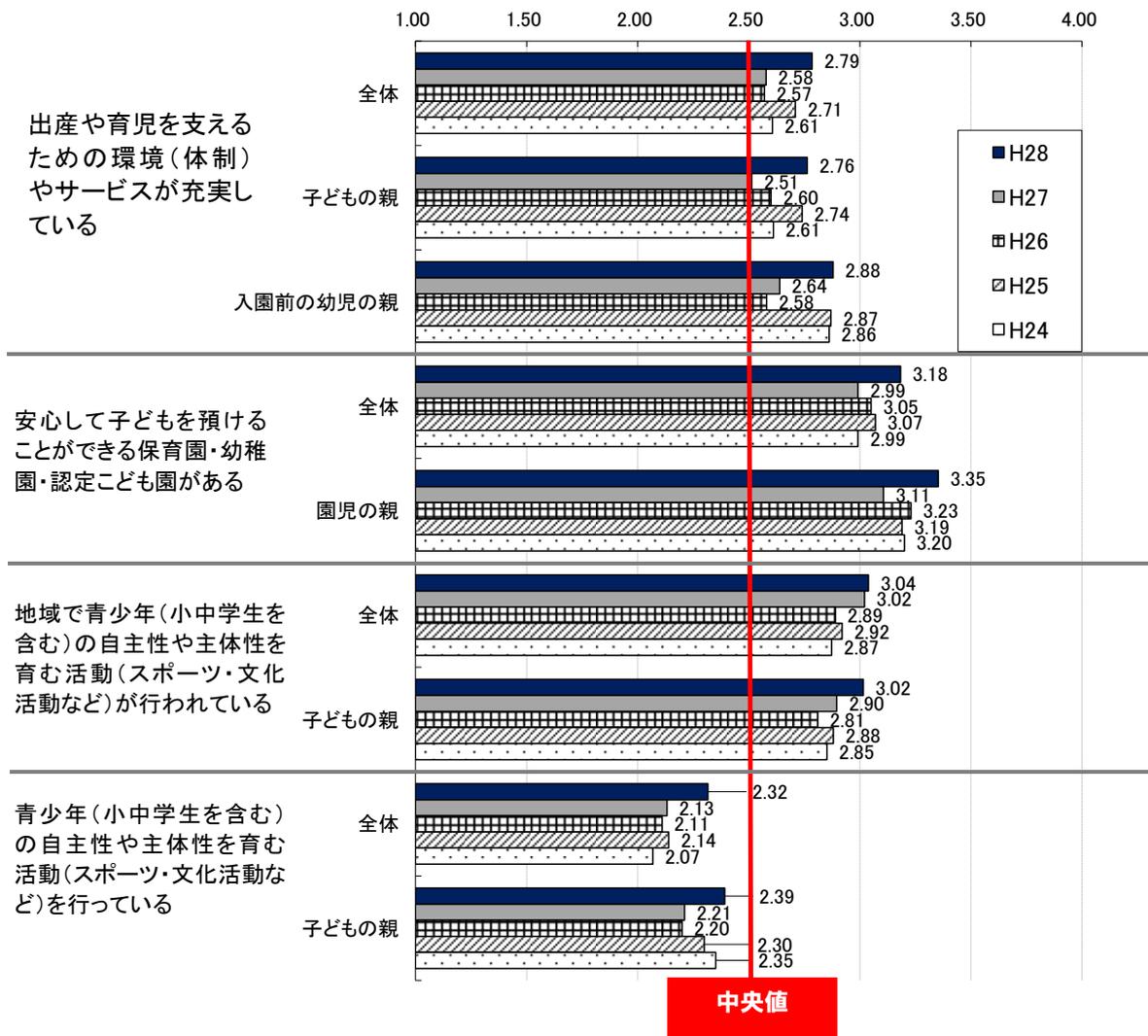
基本施策 (個別目標)	調査項目		評価対象	平均点					
				差 H28-H27	H28	H27	H26	H25	H24
2-3-1 子どもの権利の 推進	行政による 子どもを大切に する取組 が行われて いる	全体	市	-	2.94	-	-	-	-
		子どもの 親		-	2.89	-	-	-	-
	子どもの権 利について 理解し、尊重 している	全体	市民	-	3.02	-	-	-	-
		子どもの 親		-	3.03	-	-	-	-
2-3-2 出産・子育て環境 の充実	出産や育児 を支えるため の環境(体 制)やサービ スが充実して いる	全体	市	0.21	2.79	2.58	2.57	2.71	2.61
		子どもの 親		0.25	2.76	2.51	2.60	2.74	2.61
		入園前の 幼児の親		0.24	2.88	2.64	2.58	2.87	2.86
2-3-3 保育環境の充実	安心して子ど もを預けるこ とができる保 育園・幼稚園・認 定こども園が ある	全体	市	0.19	3.18	2.99	3.05	3.07	2.99
		園児の親		0.25	3.35	3.11	3.23	3.19	3.20
	子どもを育て やすいまちで ある	全体	市	-	3.06	-	-	-	-
		子どもの 親		-	3.06	-	-	-	-
2-3-4 青少年の健全育 成	地域で青少年 (小中学生を 含む)の自主 性や主体性を 育む活動(ス ポーツ・文化 活動など)が 行われている	全体	市	0.02	3.04	3.02	2.89	2.92	2.87
		子どもの 親		0.12	3.02	2.90	2.81	2.88	2.85
	青少年(小中 学生を含む) の自主性や主 体性を育む活 動(スポーツ・ 文化活動な ど)を行って いる	全体	市民	0.18	2.32	2.13	2.11	2.14	2.07
		子どもの 親		0.18	2.39	2.21	2.20	2.30	2.35

※網掛けのセルは中央値 2.5 未満の項目

※「-」は、今年度より調査した項目もしくは、調査項目に大きな変更があった項目

図表 29 経年比較・平均点の推移（受益者が限定される項目）

(点)



②評価保留の割合の推移

- ・「平和意識」「人権尊重」「多文化共生」など、ふだんの生活で直接的に影響が少ないと思われる項目については、「わからない」の回答割合が高い傾向は変わらず、微増傾向でもある。
- ・同様に、受益者が限定される施策は依然として回答者全体で評価保留の割合が高い状況が続いている。

図表 30 経年比較・評価保留の割合の推移

基本施策 (個別目標)	調査項目	評価対象	評価保留の割合(%)					
			差 H28-H27	H28	H27	H26	H25	H24
2-1-1 平和意識の向上	松本市平和祈念式典など、平和について考える取組が行われている地域である	市	-	33.1	-	-	-	-
2-1-2 人権尊重の推進	市民が互いの個性や立場を尊重し合える地域である	市	2.6	30.1	27.5	25.9	26.3	24.8
2-1-3 多文化共生の推進	外国人住民の生活スタイルや文化を理解し、交流が進んでいる地域である	市	4.0	35.1	31.1	36.6	38.2	36.9
	外国人住民と交流をするイベント等に参加したい	市民	-	21.4	-	-	-	-
2-2-1 高齢者福祉の充実	高齢者が安心して生活できる地域である	全体	-0.1	18.4	18.5	24.8	24.6	22.1
		【高齢者(60歳以上)】	-	15.3	-	17.3	15.3	14.9
		介護サービス利用者と同居者	-3.9	6.2	10.1	10.2	11.5	5.5
2-2-2 障害者(児)福祉の充実	障害者が安心して生活できる地域である	全体	2.3	29.1	26.8	31.2	32.3	30.0
		障害者と同居者	1.6	12.8	11.2	13.6	15.4	15.2
2-2-3 生活福祉の充実	消費生活や経済面で困ったときに相談できる所がある	市	-	40.4	-	-	-	-

※網掛けのセルは20%以上の項目

※「-」は、今年度より調査した項目もしくは、調査項目に大きな変更があった項目

図表 31 経年比較・評価保留の割合の推移（受益者が限定される項目）

表基本施策 (個別目標)	調査項目		評価対象	評価保留の割合(%)					
				差 H28-H27	H28	H27	H26	H25	H24
2-3-1 子どもの権利の 推進	行政による 子どもを大切に する取組 が行われて いる	全体	市	-	31.3	-	-	-	-
		子どもの 親		-	10.6	-	-	-	-
	子どもの権 利について 理解し、尊重 している	全体	市民	-	30.3	-	-	-	-
		子どもの 親		-	18.9	-	-	-	-
2-3-2 出産・子育て環境 の充実	出産や育児 を支えるため の環境(体制)やサービ スが充実して いる	全体	市	1.5	35.0	33.5	35.0	36.0	31.9
		子どもの 親		-1.5	11.6	13.1	14.2	14.2	9.2
		入園前 の幼児の親		-2.3	1.1	3.4	3.5	3.7	6.1
2-3-3 保育環境の充実	安心して子ど もを預けるこ とができる保 育園・幼稚園・認 定こども園が ある	全体	市	-1.3	26.9	28.2	30.5	29.7	27.0
		園児の親		1.5	3.4	1.9	1.4	0.0	1.7
	子どもを育て やすいまちで ある	全体	市	-	24.4	-	-	-	-
		子どもの 親		-	4.3	-	-	-	-
2-3-4 青少年の健全育 成	地域で青少年 (小中学生を 含む)の自主 性や主体性を 育む活動(ス ポーツ・文化 活動など)が 行われている	全体	市	-0.8	32.6	33.4	36.3	32.9	32.2
		子どもの 親		-2.1	20.2	22.4	26.3	23.7	19.3
	青少年(小中 学生を含む) の自主性や主 体性を育む活 動(スポーツ・ 文化活動な ど)を行って いる	全体	市民	6.8	28.2	21.4	20.9	20.1	16.7
		子どもの 親		5.8	16.8	11.0	12.0	11.1	7.6

※「-」は、今年度より調査した項目もしくは、調査項目に大きな変更があった項目

4.【基本目標3】安全・安心で支えあいの心がつなぐまちづくり

本市では、暮らしを支える社会基盤の充実と、防災・防犯対策により、快適でゆとりある日々を実感できるよう、地域ぐるみで助けあうまちづくりを進めている。

■基本施策と評価項目

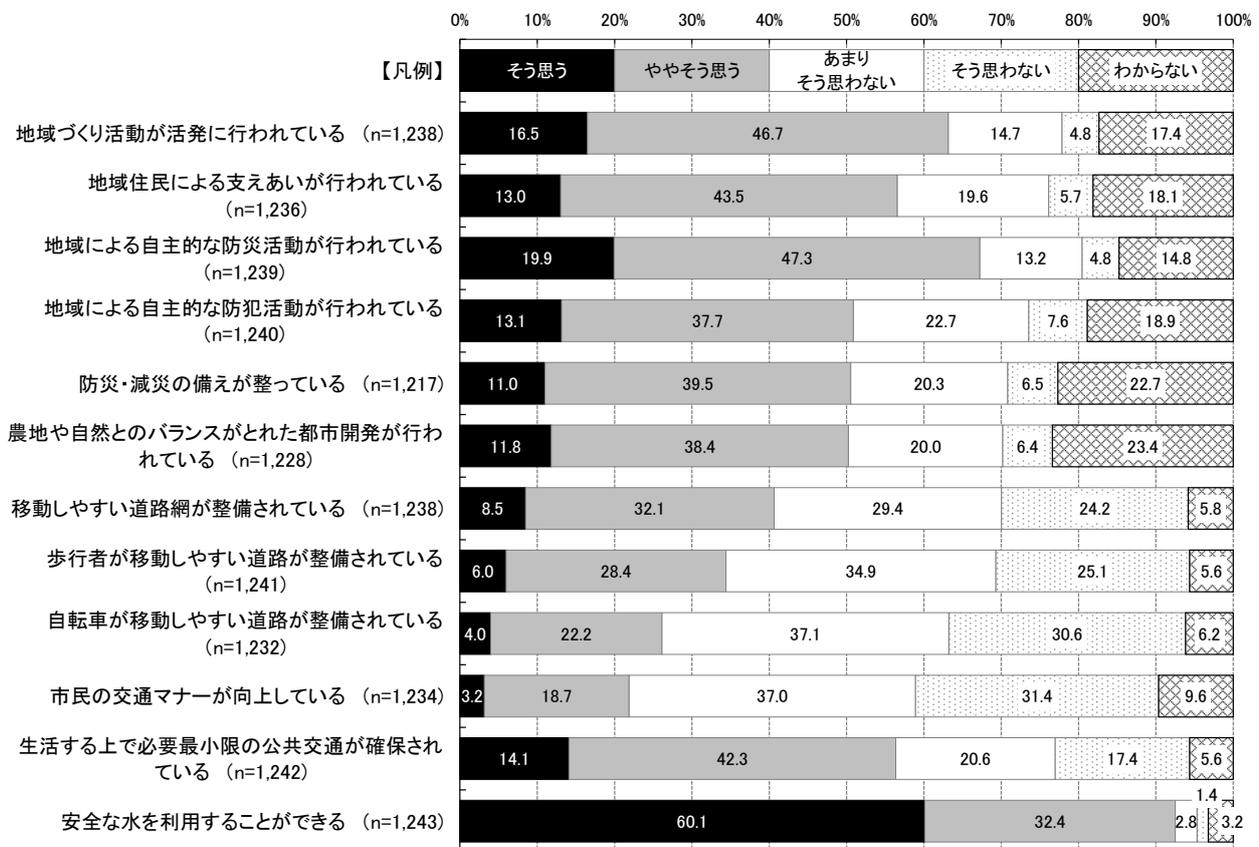
政策の方向 (まちの姿)	基本施策 (個別目標)	調査項目	評価対象
3-1 地域の支え合いを育む まち	3-1-1 地域づくりの推進	地域づくり活動が活発に行われている	市
		地域で行われている活動やボランティア活動に参加している	市民
	3-1-2 地域福祉活動 の推進	地域住民による支えあいが行われている	市
		地域の人と積極的に関わりを持っている	市民
	3-1-3 地域防災活動 の推進	地域による自主的な防災活動が行われている	市
		地域の自主的な防災活動に参加している	市民
	3-1-4 地域防犯活動 の推進	地域による自主的な防犯活動が行われている	市
		地域の自主的な防犯活動に参加している	市民
3-2 災害を最小限に抑える まち	3-2-1 危機管理体制の強化	防災・減災の備えが整っている	市
	3-2-2 防災機能の充実	災害に対する備えをしている	市民
3-3 住みやすさを感じるまち	3-3-1 調和した土地利用 の推進	農地や自然とのバランスがとれた都市開発が行われている	市
	3-3-2 道路整備の推進	移動しやすい道路網が整備されている	市
		歩行者が移動しやすい道路が整備されている	市
		自転車移動しやすい道路が整備されている	市
	3-3-3 交通安全対策の充実	市民の交通マナーが向上している	市
		交通マナーを意識しながら、移動をしている	市民
	3-3-4 交通のまちづくりの推進	生活する上で必要最小限の公共交通が確保されている	市
		すすんで公共交通を利用している	市民
3-3-5 水道水の安定供給	安全な水を利用することができる	市	
3-3-6 下水道の適正な維持管理	調査項目を設定しなかった		

(1) 今年度調査結果

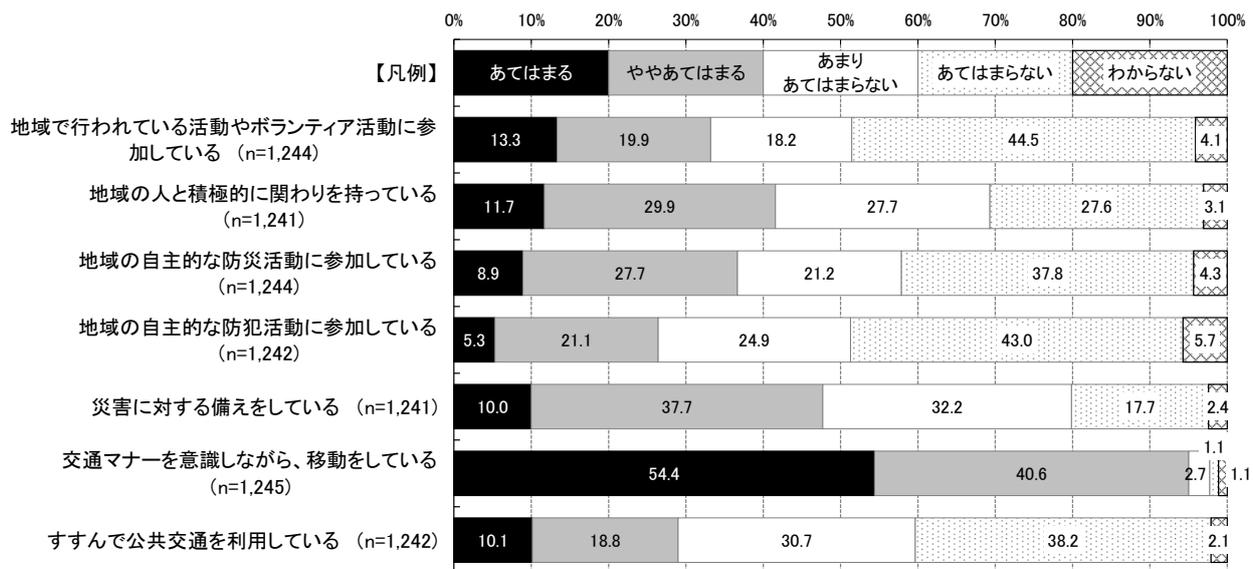
① 度数分布

- ・「道路整備の推進」の3項目については、肯定的評価が2～4割と低い傾向にある。「生活する上で必要最小限の公共交通が確保されている」については、肯定的評価が56.4%であった。
- ・「交通安全対策の充実」について、「市民の交通マナーが向上している」の肯定的評価が21.9%であり、基本目標3の調査項目のなかで最も低い。これに対し、自身の行動の「交通マナーを意識しながら、移動をしている」は、95.0%が「あてはまる」「ややあてはまる」と回答しており、個人の意識と市への評価に大きな乖離がみられる。
- ・「安全な水を利用することができる」は92.5%の市民が肯定的に評価している。

図表 32 松本市の現状について



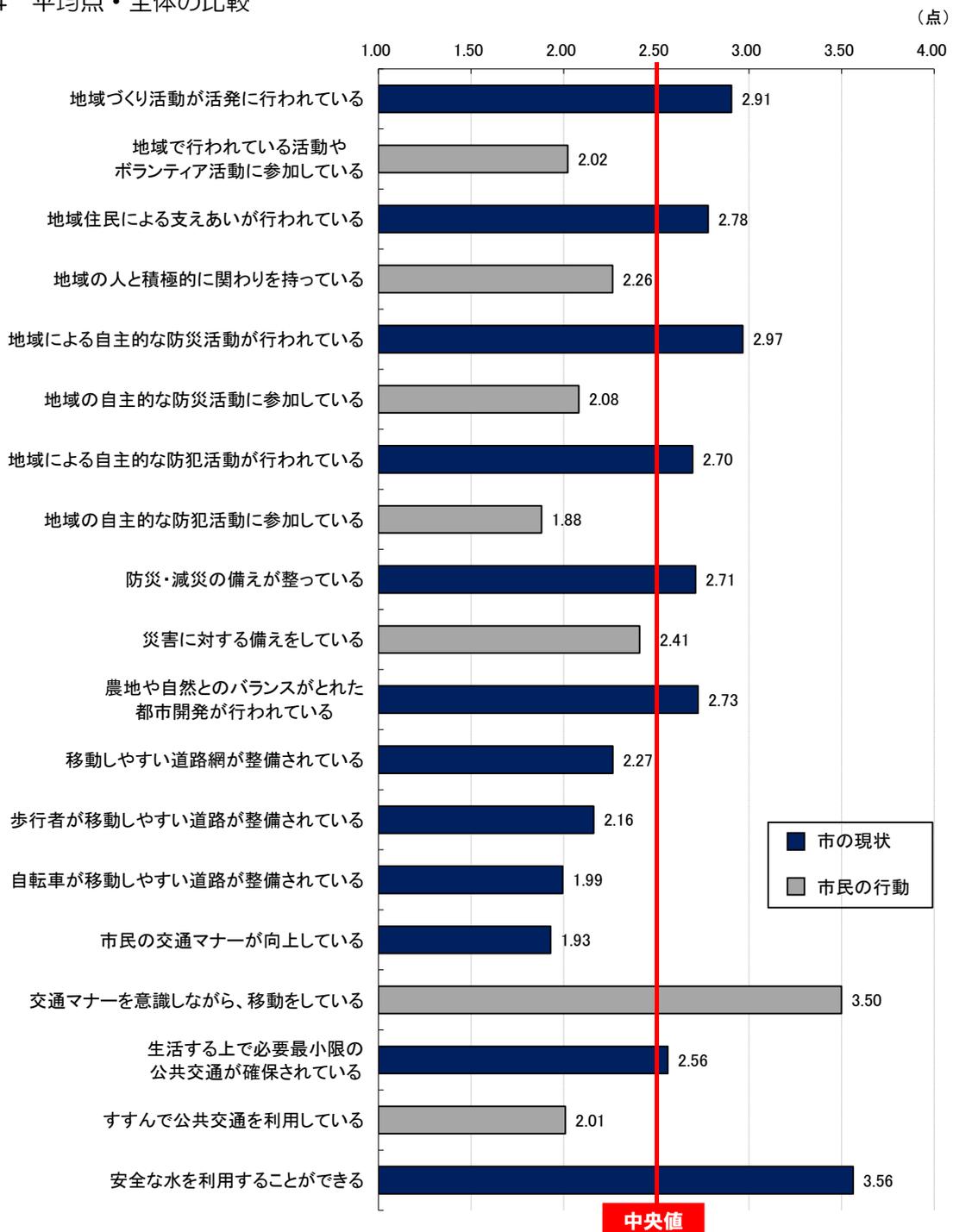
図表 33 市民の行動について



②平均点

- ・市の現状については「道路整備の推進（移動しやすい）（歩行者が移動しやすい）（自転車が移動しやすい）」の3項目、「市民の交通マナーが向上している」が、中央値 2.5 点未満である。
- ・市民の行動については、「交通マナーを意識しながら、移動をしている」以外は、すべての項目が中央値 2.5 点より低い結果であった。
- ・「地域づくり・地域福祉活動・地域防災活動・地域防犯活動の推進」の各施策については、市の現状評価より市民行動の得点が低い。特に「地域の自主的な防犯活動に参加している」は、1.88 点であり、基本目標 3 の項目のなかで最も低い。

図表 34 平均点・全体の比較



- ・全体での評価が低い道路整備の推進（移動しやすい）（歩行者が移動しやすい）（自転車が移動しやすい）」の3項目、「市民の交通マナーが向上している」については、70代以上の評価が全体より0.2点以上高い。
- ・「地域づくり・地域福祉活動・地域防災活動・地域防犯活動の推進」の市民の行動は、70代以上の評価は全体より0.2点以上高い。一方で20代、30代の評価は全体より0.2点以上低い結果となっている。地域づくりに若い世代の参加が少ないことが伺える。

図表 35 年代別比較・松本市の現状について

(点)

施策	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	全体
地域づくり活動が活発に行われている	2.87	2.80	2.88	2.94	2.92	2.97	2.91
地域住民による支えあいが行われている	2.70	2.74	2.77	2.72	2.84	2.82	2.78
地域による自主的な防災活動が行われている	2.81	2.89	2.96	3.00	3.00	3.02	2.97
地域による自主的な防犯活動が行われている	2.48	2.48	2.69	2.76	2.73	2.80	2.70
防災・減災の備えが整っている	2.50	2.57	2.70	2.71	2.69	2.89	2.71
農地や自然とのバランスがとれた都市開発が行われている	2.74	2.70	2.79	2.77	2.60	2.79	2.73
移動しやすい道路網が整備されている	2.13	2.10	2.12	2.05	2.37	2.61	2.27
歩行者が移動しやすい道路が整備されている	2.17	2.05	2.04	2.02	2.17	2.45	2.16
自転車が移動しやすい道路が整備されている	2.05	1.98	1.88	1.81	1.99	2.24	1.99
市民の交通マナーが向上している	1.70	1.80	1.83	1.79	2.03	2.18	1.93
生活する上で必要最小限の公共交通が確保されている	2.56	2.61	2.54	2.33	2.54	2.73	2.56
安全な水を利用することができる	3.62	3.56	3.50	3.63	3.54	3.57	3.56

図表 36 年代別比較・市民の行動について

(点)

施策	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	全体
地域で行われている活動やボランティア活動に参加している	1.32	1.70	1.97	2.03	2.22	2.31	2.02
地域の人と積極的に関わりを持っている	1.81	2.06	2.18	2.26	2.41	2.48	2.26
地域の自主的な防災活動に参加している	1.41	1.74	1.95	2.12	2.38	2.31	2.08
地域の自主的な防犯活動に参加している	1.38	1.54	1.75	1.95	2.12	2.10	1.88
災害に対する備えをしている	2.15	2.31	2.28	2.45	2.51	2.55	2.41
交通マナーを意識しながら、移動をしている	3.44	3.45	3.40	3.54	3.54	3.58	3.50
すすんで公共交通を利用している	1.95	1.86	1.88	1.93	1.97	2.35	2.01

※各項目全体より0.2点以上高いセルは濃い色、0.2点以上低いセルには薄い色を付けている。

(2) 経年比較分析

①平均点の推移

・過去5年間の結果と比較しても、概ね傾向は変わっていない。

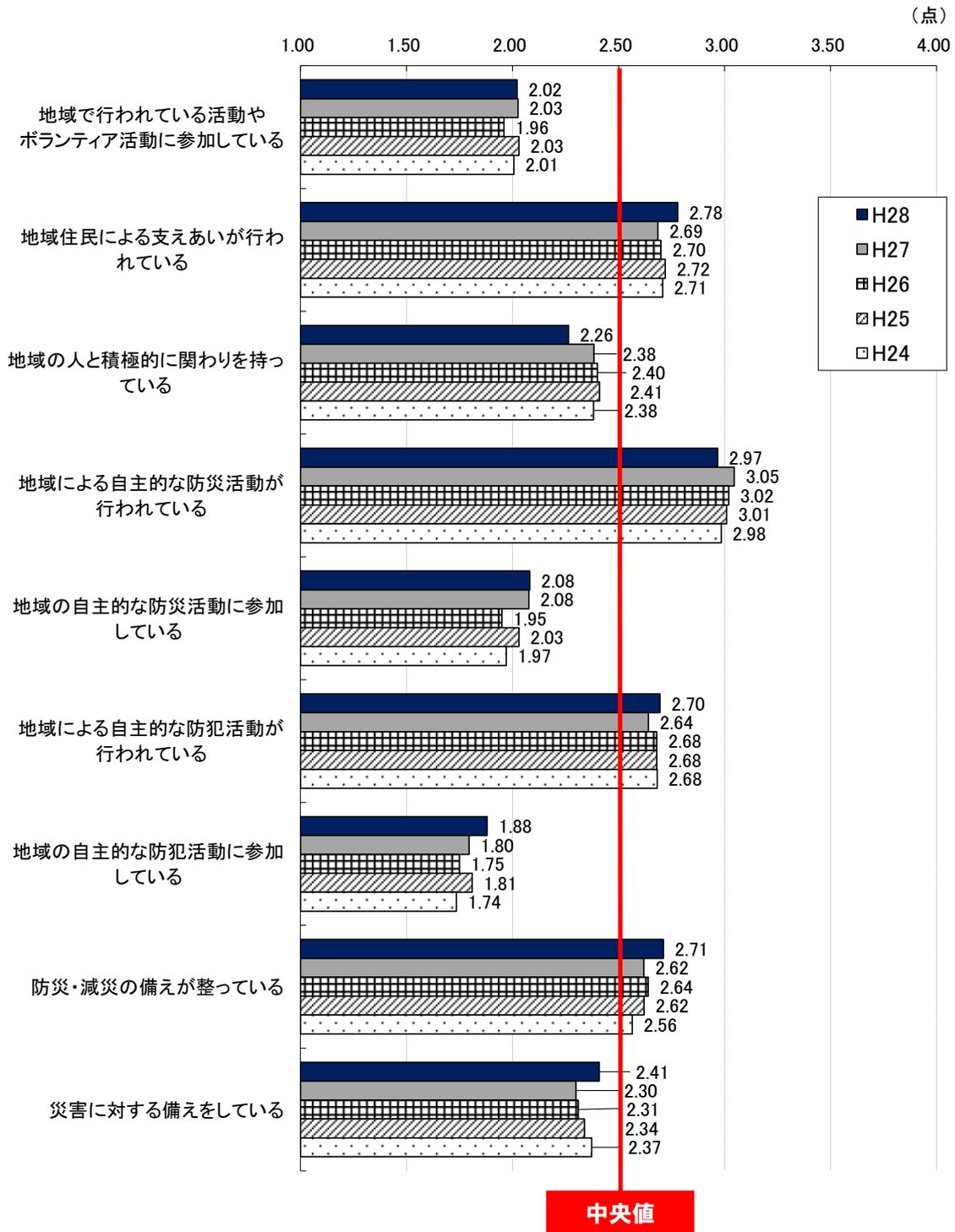
図表 37 経年比較・平均点の推移

基本施策 (個別目標)	調査項目	評価 対象	平均点					
			差 H28-H27	H28	H27	H26	H25	H24
3-1-1 地域づくりの推進	地域づくり活動が活発に行われている	市	—	2.91	—	—	—	—
	地域で行われている活動やボランティア活動に参加している	市民	0.00	2.02	2.03	1.96	2.03	2.01
3-1-2 地域福祉活動の推進	地域住民による支えあいが行われている	市	0.09	2.78	2.69	2.70	2.72	2.71
	地域の人と積極的に関わりを持っている	市民	-0.12	2.26	2.38	2.40	2.41	2.38
3-1-3 地域防災活動の推進	地域による自主的な防災活動が行われている	市	-0.08	2.97	3.05	3.02	3.01	2.98
	地域の自主的な防災活動に参加している	市民	0.00	2.08	2.08	1.95	2.03	1.97
3-1-4 地域防犯活動の推進	地域による自主的な防犯活動が行われている	市	0.06	2.70	2.64	2.68	2.68	2.68
	地域の自主的な防犯活動に参加している	市民	0.09	1.88	1.80	1.75	1.81	1.74
3-2-1 危機管理体制の強化	防災・減災の備えが整っている	市	0.09	2.71	2.62	2.64	2.62	2.56
3-2-2 防災機能の充実	災害に対する備えをしている	市民	0.11	2.41	2.30	2.31	2.34	2.37

※網掛けのセルは中央値 2.5 未満の項目

※「—」は、今年度より調査した項目もしくは、調査項目に大きな変更があった項目

図表 38 経年比較・平均点の推移



・過去5年間の結果と比較しても、概ね傾向は変わっていない。

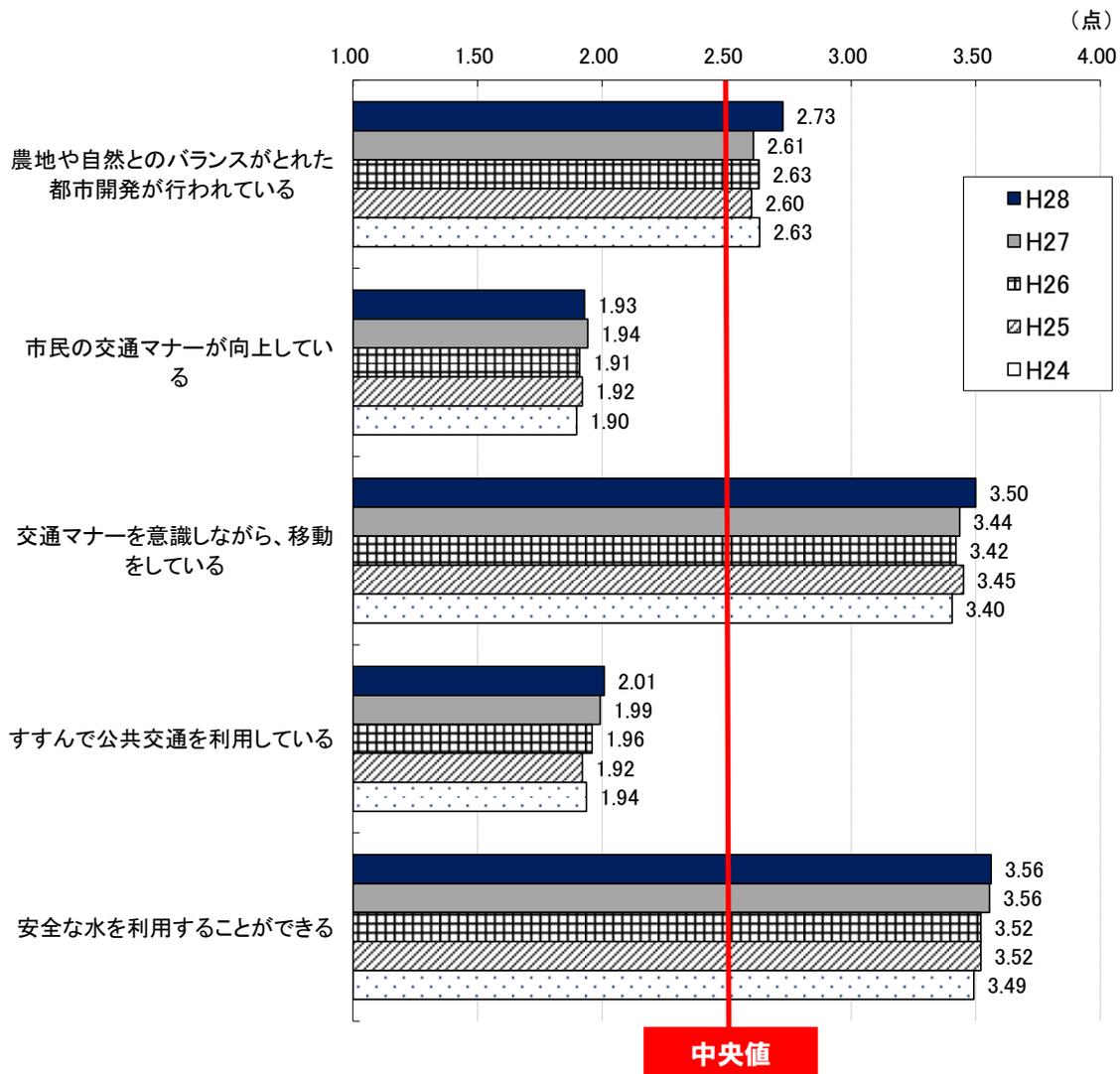
図表 39 経年比較・平均点の推移

基本施策 (個別目標)	調査項目	評価対象	平均点					
			差 H28-H27	H28	H27	H26	H25	H24
3-3-1 調和した土地利用 の推進	農地や自然とのバランス がとれた都市開発が行 われている	市	0.12	2.73	2.61	2.63	2.60	2.63
3-3-2 道路整備の推進	移動しやすい道路網が 整備されている	市	-	2.27	-	-	-	-
	歩行者が移動しやすい 道路が整備されている	市	-	2.16	-	-	-	-
	自転車が移動しやすい 道路が整備されている	市	-	1.99	-	-	-	-
3-3-3 交通安全対策 の充実	市民の交通マナーが向 上している	市	-0.01	1.93	1.94	1.91	1.92	1.90
	交通マナーを意識しなが ら、移動をしている	市民	0.06	3.50	3.44	3.42	3.45	3.40
3-3-4 交通のまちづくりの 推進	生活する上で必要最小 限の公共交通が確保さ れている	市	-	2.56	-	-	-	-
	すすんで公共交通を利用 している	市民	0.02	2.01	1.99	1.96	1.92	1.94
3-3-5 水道水の安定供給	安全な水を利用すること ができる	市	0.01	3.56	3.56	3.52	3.52	3.49
3-3-6 下水道の適正な維持管 理	調査項目を設定しなかった							

※網掛けのセルは中央値 2.5 未満の項目

※「-」は、今年度より調査した項目もしくは、調査項目に大きな変更があった項目

図表 40 経年比較・平均点の推移



②評価保留の割合の推移

・「地域づくり・地域福祉活動・地域防災活動・地域防犯活動の推進」および「危機管理体制の強化」の各項目については、依然として14～18%で推移している。

図表 41 経年比較・評価保留の割合の推移

基本施策 (個別目標)	調査項目	評価対象	評価保留の割合(%)					
			差 H28-H27	H28	H27	H26	H25	H24
3-1-1 地域づくりの推進	地域づくり活動が活発に行われている	市	—	17.4	—	—	—	—
	地域で行われている活動やボランティア活動に参加している	市民	0.8	4.1	3.3	3.6	3.3	4.1
3-1-2 地域福祉活動の推進	地域住民による支えあいが行われている	市	2.7	18.1	15.4	13.6	15.2	15.6
	地域の人と積極的に関わりを持っている	市民	0.5	3.1	2.6	2.3	2.4	3.2
3-1-3 地域防災活動の推進	地域による自主的な防災活動が行われている	市	0.9	14.8	13.8	13.5	11.4	13.9
	地域の自主的な防災活動に参加している	市民	1.1	4.3	3.3	3.5	3.9	4.1
3-1-4 地域防犯活動の推進	地域による自主的な防犯活動が行われている	市	0.4	18.9	18.5	17.0	16.3	16.6
	地域の自主的な防犯活動に参加している	市民	1.1	5.7	4.7	5.0	5.4	5.0
3-2-1 危機管理体制の強化	防災・減災の備えが整っている	市	3.4	22.7	19.3	22.1	19.9	18.3
3-2-2 防災機能の充実	災害に対する備えをしている	市民	0.0	2.4	2.4	2.0	2.5	2.0

※網掛けのセルは20%以上の項目

※「—」は、今年度より調査した項目もしくは、調査項目に大きな変更があった項目

- ・「農地や自然とのバランスがとれた都市開発が行われている」については、前回調査から 7.6%上がり、20%を超えている。

図表 42 経年比較・評価保留の割合の推移

基本施策 (個別目標)	調査項目	評価対象	評価保留の割合(%)					
			差 H28-H27	H28	H27	H26	H25	H24
3-3-1 調和した土地利用 の推進	農地や自然とのバラン スがとれた都市開発が 行われている	市	7.6	23.4	15.8	19.0	17.4	17.0
3-3-2 道路整備の推進	移動しやすい道路網が 整備されている	市	-	5.8	-	-	-	-
	歩行者が移動しやすい 道路が整備されている	市	-	5.6	-	-	-	-
	自転車が移動しやすい 道路が整備されている	市	-	6.2	-	-	-	-
3-3-3 交通安全対策 の充実	市民の交通マナーが向 上している	市	1.6	9.6	8.1	8.0	8.5	6.2
	交通マナーを意識しな がら、移動をしている	市民	0.3	1.1	0.8	0.6	1.7	1.1
3-3-4 交通のまちづくりの 推進	生活する上で必要最小 限の公共交通が確保さ れている	市	-	5.6	-	-	-	-
	すすんで公共交通を利 用している	市民	0.1	2.1	2.0	1.9	2.1	2.0
3-3-5 水道水の安定供給	安全な水を利用すること ができる	市	0.5	3.2	2.7	3.3	2.7	2.9

※網掛けのセルは 20%以上の項目

※「-」は、今年度より調査した項目もしくは、調査項目に大きな変更があった項目

5.【基本目標4】人にやさしい環境を保全し自然と共生するまちづくり

本市では松本の豊かな自然環境を守り、快適な生活環境を整え、持続可能な循環型の社会が構築できるよう、市民、事業者などと行政が連携するまちづくりを進めている。

■基本施策と評価項目

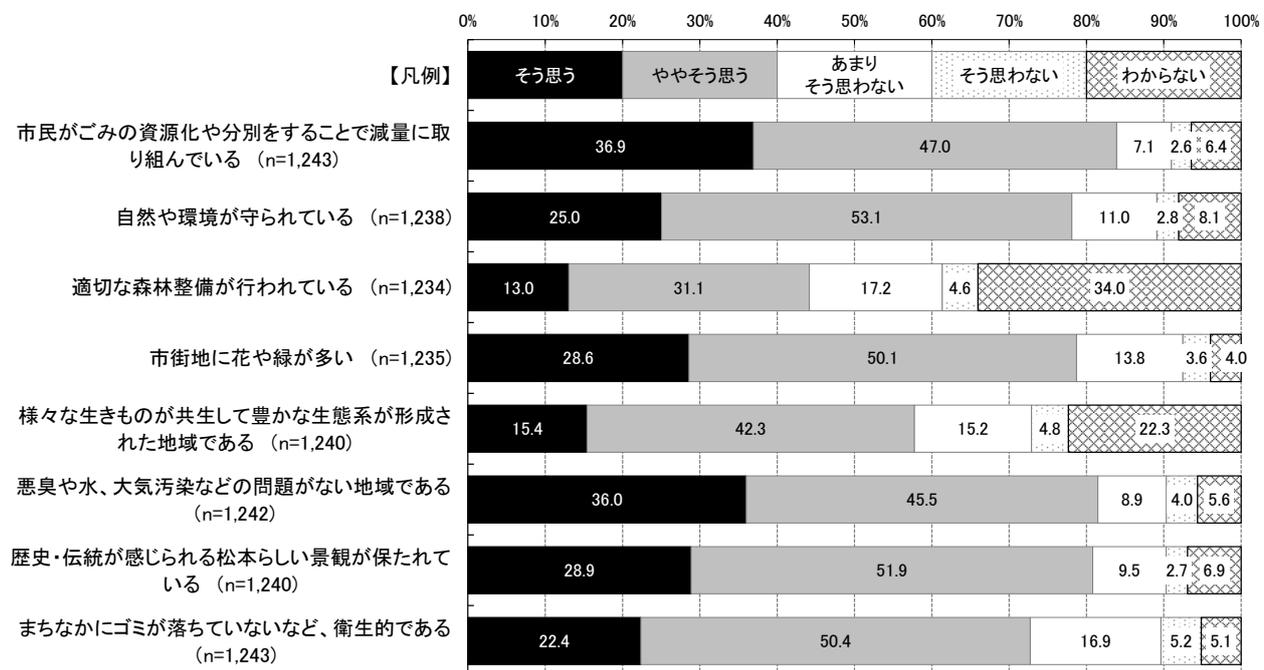
政策の方向 (まちの姿)	基本施策 (個別目標)	調査項目	評価対象
4-1 環境負荷軽減に取り組むまち	4-1-1 低酸素社会の推進	省エネに積極的に取り組んでいる	市民
	4-1-2 3Rの推進	市民がごみの資源化や分別をすることで減量に取り組んでいる	市
		ごみの資源化や分別をすることで減量を行っている	市民
	4-1-3 環境教育の充実	自然や環境が守られている	市
		自然や環境を守るための活動を行っている	市民
4-2 自然を守り、育むまち	4-2-1 森林環境整備の推進	適切な森林整備が行われている	市
	4-2-2 花のあるまちづくり・まちなか緑化の推進	市街地に花や緑が多い	市
		市街地の緑化活動を行っている	市民
	4-2-3 生物多様性保全の推進	様々な生きものが共生して豊かな生態系が形成された地域である	市
		環境にやさしい暮らしをしている	市民
4-3 快適な生活環境を育むまち	4-3-1 水・大気などの環境保全の推進	悪臭や水、大気汚染などの問題がない地域である	市
	4-3-2 景観維持、保全の推進	歴史・伝統が感じられる松本らしい景観が保たれている	市
	4-3-3 公衆衛生環境の向上	まちなかにゴミが落ちていないなど、衛生的である	市

(1) 今年度調査結果

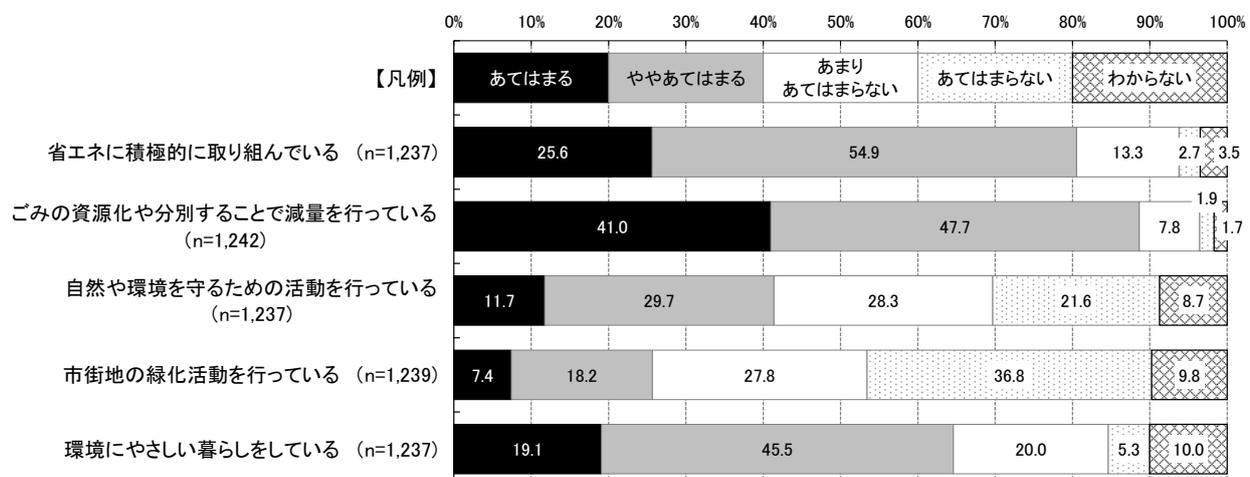
① 度数分布

- ・市の現状の8項目のうち、「適切な森林整備が行われている」「様々な生きものが共生して豊かな生態系が形成された地域である」以外の6項目について、肯定的評価が70%以上であった。市民の自然や生活環境への意識も高く、市の取組が伝わっていると考えられる。
- ・「適切な森林整備が行われている」は、評価保留の割合が34.0%と高い。
- ・市民の行動についても、「省エネに積極的に取り組んでいる」「ごみの資源化や分別をすることで減量を行っている」については「あてはまる」「ややあてはまる」が80%以上であった。「自然や環境を守るための活動を行っている」「市街地の緑化活動を行っている」では45%以下に留まっている。

図表 43 松本市の現状について



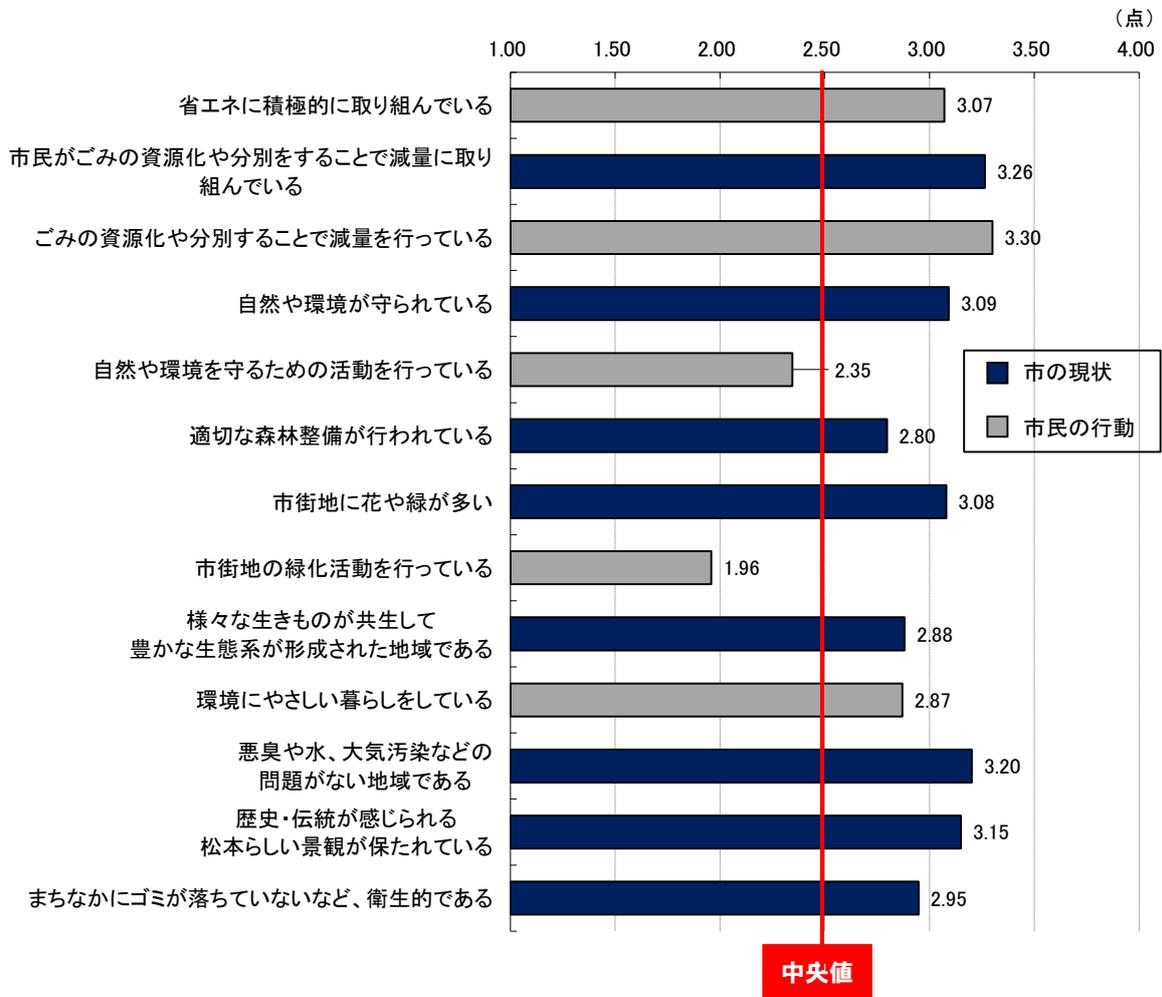
図表 44 市民の行動について



②平均点

- 平均点が最も高い項目は「ごみの資源化や分別をすることで減量を行っている」で 3.30 点であり、次いで、「市民がごみの資源化や分別をすることで減量に取り組んでいる」の 3.26 点であった。
- 中央値 2.5 点より低い項目は、市民の行動の「自然や環境を守るための活動を行っている」「市街地の緑化活動を行っている」の 2 項目のみであった。

図表 45 平均点・全体の比較



- ・市の現状については、「市民がごみの資源化や分別をすることで減量に取り組んでいる」が 20 代、30 代の若年層が全体評価より 0.2 点低い。
- ・ごみの資源化、市街地の緑化活動など、市民の行動については、70 代以上が全体評価より高く、20 代、30 代が低い傾向にあり、自然・環境保全に対する世代間の意識の差がみられる。

図表 46 年代別比較・松本市の現状について

(点)

施策	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	全体
市民がごみの資源化や分別をすることで減量に取り組んでいる	2.92	3.05	3.08	3.22	3.40	3.54	3.26
自然や環境が守られている	3.05	3.05	3.00	3.08	3.09	3.22	3.09
適切な森林整備が行われている	3.01	2.89	2.93	2.80	2.52	2.83	2.80
市街地に花や緑が多い	3.11	3.15	2.99	3.14	3.02	3.15	3.08
様々な生きものが共生して豊かな生態系が形成された地域である	2.89	2.91	2.88	2.94	2.83	2.86	2.88
悪臭や水、大気汚染などの問題がない地域である	3.27	3.09	3.07	3.24	3.25	3.29	3.20
歴史・伝統が感じられる松本らしい景観が保たれている	3.21	3.19	3.10	3.16	3.13	3.17	3.15
まちなかにゴミが落ちていないなど、衛生的である	2.87	2.82	2.93	2.91	2.99	3.06	2.95

図表 47 年代別比較・市民の行動について

(点)

施策	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	全体
省エネに積極的に取り組んでいる	2.78	2.89	2.98	3.16	3.13	3.25	3.07
ごみの資源化や分別することで減量を行っている	2.98	3.10	3.15	3.35	3.41	3.53	3.30
自然や環境を守るための活動を行っている	2.17	2.15	2.28	2.45	2.36	2.52	2.35
市街地の緑化活動を行っている	1.69	1.74	1.90	1.97	2.03	2.17	1.96
環境にやさしい暮らしをしている	2.55	2.74	2.64	2.96	2.95	3.13	2.87

※各項目全体より 0.2 点以上高いセルは濃い色、0.2 点以上低いセルには薄い色を付けている。

(2) 経年比較分析

①平均点の推移

・過去5年間の結果と比較しても、概ね傾向は変わっていない。

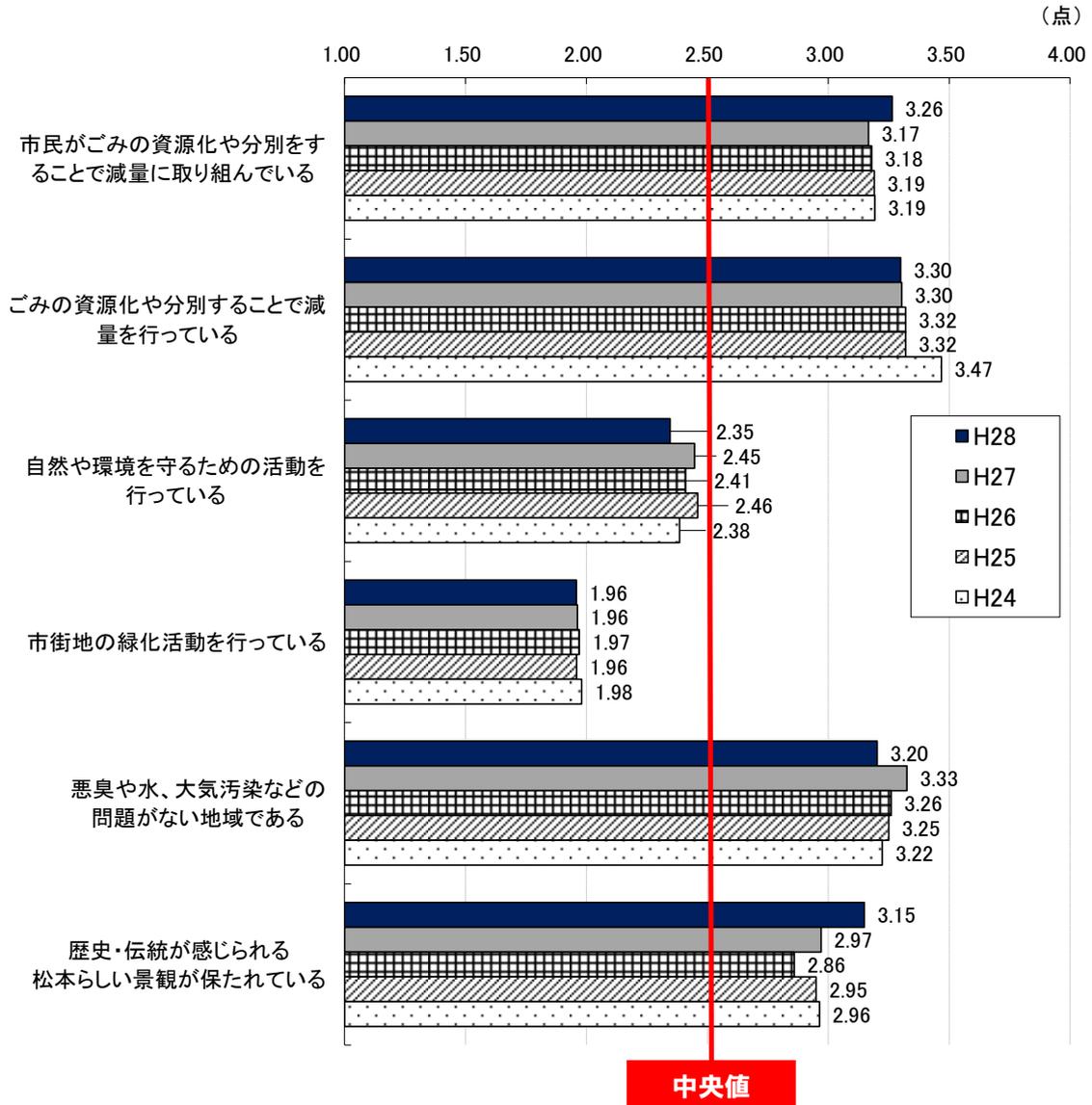
図表 48 経年比較・平均点の推移

基本施策 (個別目標)	調査項目	評価対象	平均点					
			差 H28-H27	H28	H27	H26	H25	H24
4-1-1 新エネルギー活用の 推進	省エネに積極的に取り 組んでいる	市民	-	3.07	-	-	-	-
4-1-2 3Rの推進	市民がごみの資源化や 分別をすることで減量に 取り組んでいる	市	0.10	3.26	3.17	3.18	3.19	3.19
	ごみの資源化や分別を することで減量を行って いる	市民	0.00	3.30	3.30	3.32	3.32	3.47
4-1-3 環境教育の充実	自然や環境が守られて いる	市	-	3.09	-	-	-	-
	自然や環境を守るため の活動を行っている	市民	-0.10	2.35	2.45	2.41	2.46	2.38
4-2-1 森林環境整備の推 進	適切な森林整備が行わ れている	市	-	2.80	-	-	-	-
4-2-2 花のあるまちづくり・ まちなか緑化の推進	市街地に花や緑が多い	市	-	3.08	-	-	-	-
	市街地の緑化活動を行 っている	市民	0.00	1.96	1.96	1.97	1.96	1.98
4-2-3 生物多様性保全の 推進	様々な生きものが共生し て豊かな生態系が形成 された地域である	市	-	2.88	-	-	-	-
	環境にやさしい暮らしを している	市民	-	2.87	-	-	-	-
4-3-1 水・大気などの環境 保全の推進	悪臭や水、大気汚染な どの問題がない地域で ある	市	-0.12	3.20	3.33	3.26	3.25	3.22
4-3-2 景観維持、保全の推 進	歴史・伝統が感じられる 松本らしい景観が保た れている	市	0.18	3.15	2.97	2.86	2.95	2.96
4-3-3 公衆衛生環境の向 上	まちなかにゴミが落ちて いないなど、衛生的であ る	市	-	2.95	-	-	-	-

※網掛けのセルは中央値 2.5 未満の項目

※「-」は、今年度より調査した項目もしくは、調査項目に大きな変更があった項目

図表 49 経年比較・平均点の推移



②評価保留の割合の推移

・過去5年間の結果と比較しても、概ね傾向は変わっていない。

図表 50 経年比較・評価保留の割合の推移

基本施策 (個別目標)	調査項目	評価対象	評価保留の割合(%)					
			差 H28-H27	H28	H27	H26	H25	H24
4-1-1 新エネルギー活用の 推進	省エネに積極的に取り 組んでいる	市民	-	3.5	-	-	-	-
4-1-2 3Rの推進	市民がごみの資源化や 分別をすることで減量に 取り組んでいる	市	0.2	6.4	6.3	7.5	5.5	6.0
	ごみの資源化や分別を することで減量を行って いる	市民	0.1	1.7	1.6	1.8	1.1	0.8
4-1-3 環境教育の充実	自然や環境が守られて いる	市	-	8.1	-	-	-	-
	自然や環境を守るため の活動を行っている	市民	2.9	8.7	5.9	7.7	6.4	5.4
4-2-1 森林環境整備の推 進	適切な森林整備が行わ れている	市	-	34.0	-	-	-	-
4-2-2 花のあるまちづくり・ まちなか緑化の推進	市街地に花や緑が多い	市	-	4.0	-	-	-	-
	市街地の緑化活動を行 っている	市民	1.0	9.8	8.7	8.1	7.8	7.1
4-2-3 生物多様性保全の 推進	様々な生きものが共生 して豊かな生態系が形 成された地域である	市	-	22.3	-	-	-	-
	環境にやさしい暮らしを している	市民	-	10.0	-	-	-	-
4-3-1 水・大気などの環境 保全の推進	悪臭や水、大気汚染な どの問題がない地域で ある	市	0.7	5.6	4.9	5.1	4.4	5.5
4-3-2 景観維持、保全の推 進	歴史・伝統が感じられる 松本らしい景観が保た れている	市	1.9	6.9	5.0	9.0	6.6	6.7
4-3-3 公衆衛生環境の向 上	まちなかにゴミが落ちて いないなど、衛生的であ る	市	-	5.1	-	-	-	-

※網掛けのセルは20%以上の項目

※「-」は、今年度より調査した項目もしくは、調査項目に大きな変更があった項目

6.【基本目標5】 魅力と活力にあふれにぎわいを生むまちづくり

本市では松本の資源と人材を活かして、産業基盤を強化し、地域のブランド力を高め、地域経済がさらに力強く発展するよう、人が行きかうまちづくりを進めている。

■ 基本施策と評価項目

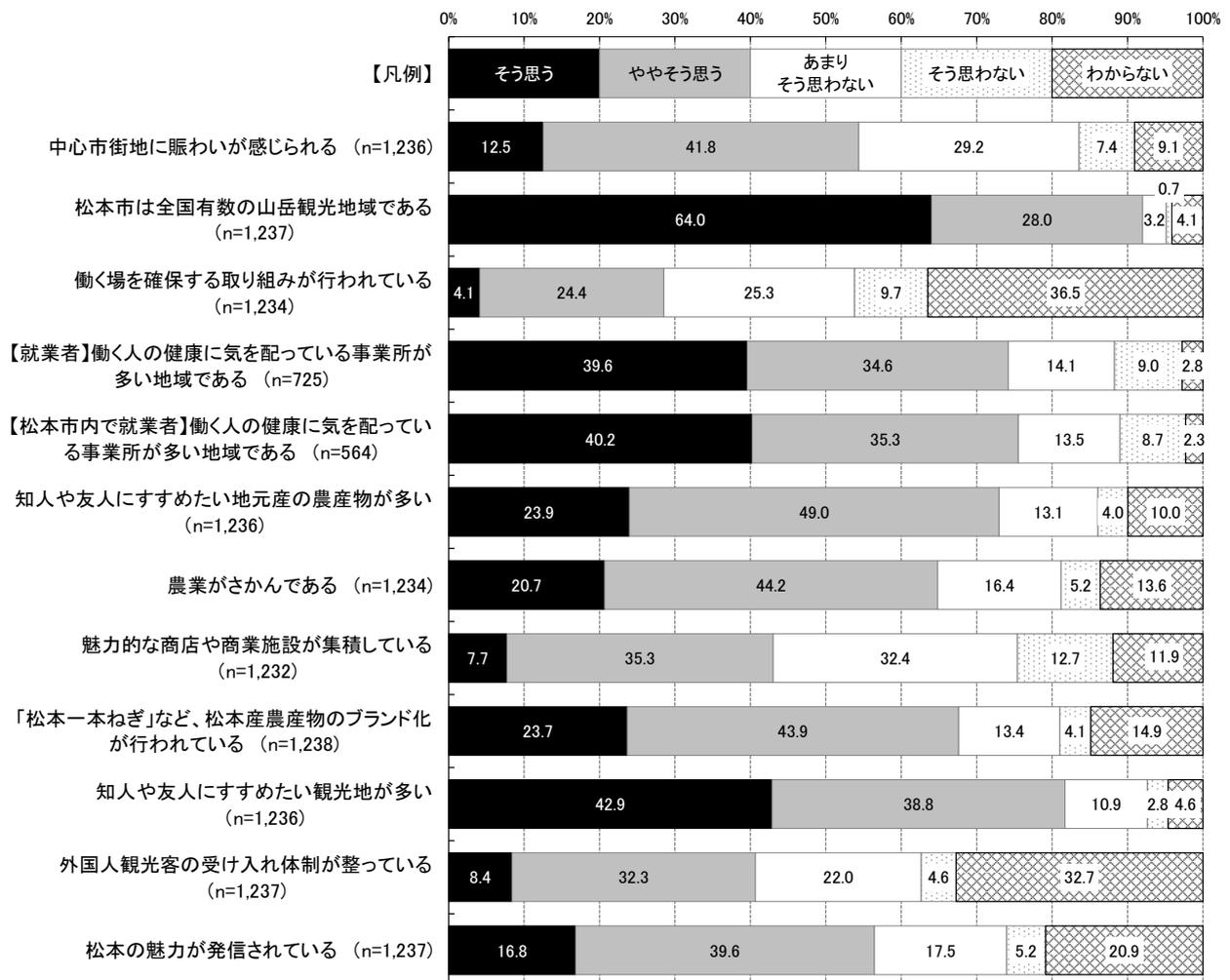
政策の方向 (まちの姿)	基本施策 (個別目標)	調査項目	評価対象
5-1 地域資源と人材を活かすまち	5-1-1 創業・事業承継支援の推進	極めて限定的な市民にしか回答できないため調査項目を設定しなかった	
	5-1-2 中心市街地の賑わいの創出	中心市街地に賑わいが感じられる	市
	5-1-3 山岳観光の推進	松本市は全国有数の山岳観光地域である	市
	5-1-4 労働、雇用対策の推進	働く場を確保する取り組みが行われている	市
		仕事と健康のバランスを取りながら働いている	市民
5-1-5 健康経営の推進	働く人の健康に気を配っている事業所が多い地域である	市	
5-2 産業の活力を生み、伸ばすまち	5-2-1 農林業の振興と美しい農山村の継承	知人や友人にすすめたい地元産の農産物が多い	市
		農業がさかんである	市
		地元産の農産物を積極的に購入している	市民
	5-2-2 商業の振興	魅力的な商店や商業施設が集積している	市
5-2-3 ものづくり産業の振興	極めて限定的な市民にしか回答できないため調査項目を設定しなかった		
5-3 松本ブランドを発信するまち	5-3-1 農産物高付加価値化の推進	「松本一本ねぎ」など、松本産農産物のブランド化が行われている	市
	5-3-2 健康産業の創出	極めて限定的な市民にしか回答できないため調査項目を設定しなかった	
	5-3-3 戦略的な観光施策の推進	知人や友人にすすめたい観光地が多い	市
		外国人観光客の受け入れ体制が整っている	市
		松本の魅力が発信されている	市

(1) 今年度調査結果

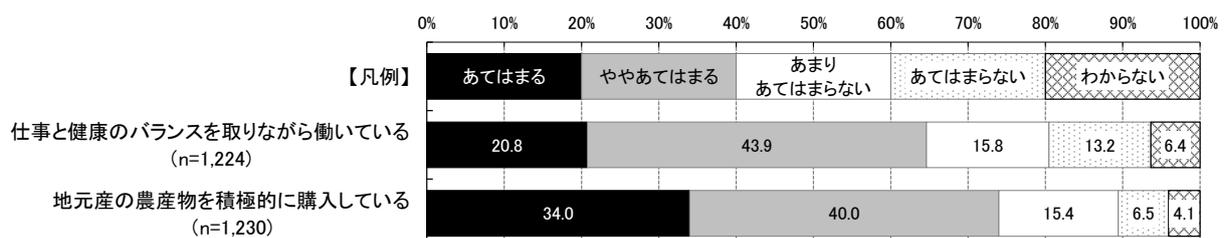
① 度数分布

- 「働く場を確保する取り組みが行われている」については、肯定的な評価が 28.5%に留まり、評価保留の割合が 36.5%であった。市の取組が十分に伝わっていないと考えられる。
- 「松本市は全国有数の山岳観光地域である」「知人や友人にすすめたい観光地が多い」は、80%以上の市民が肯定的に評価している。松本市が観光地として理解されている一方、「外国人観光客の受け入れ体制が整っている」など、インバウンドに関する項目は肯定的評価の割合が 40.7%に留まり、評価保留の割合が 32.7%にのぼる。

図表 51 松本市の現状について



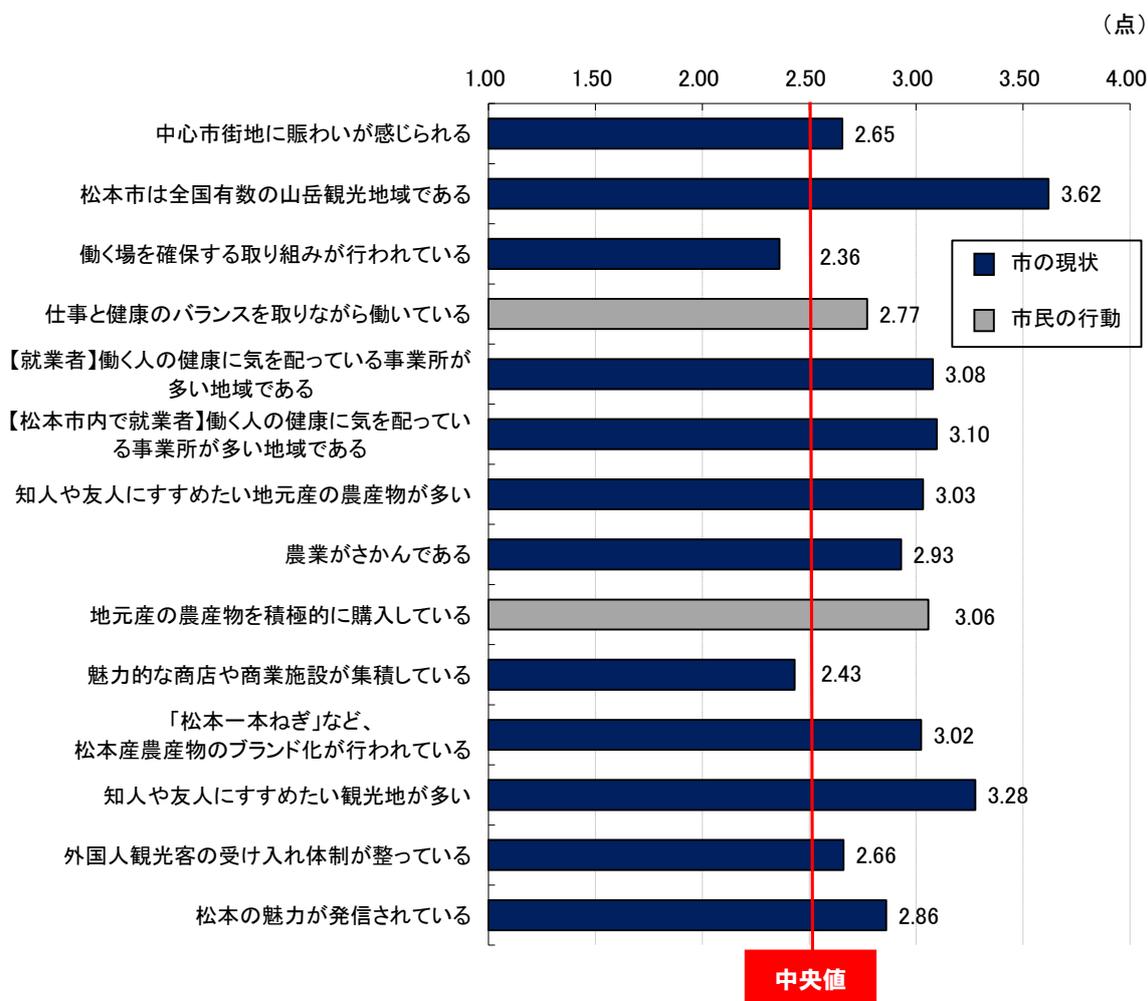
図表 52 市民の行動について



②平均点

- 平均点が最も高い項目は、「松本市は全国有数の山岳観光地域である」で 3.62 点であり、次いで、「知人や友人にすすめたい観光地が多い」の 3.28 点である。
- 中央値 2.5 点より低い項目は、「働く場を確保する取り組みが行われている」「魅力的な商店や商業施設が集積している」の 2 項目であった。

図表 53 平均点・全体の比較



- ・「働く人の健康に気を配っている事業所が多い地域である」は、30代と70代以上の評価の差が0.71点、「地元産の農産物を積極的に購入している」は20代と70代の評価の差が0.76点と大きく開いている。

図表 54 年代別比較・松本市の現状について

施策	(点)						
	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	全体
中心市街地に賑わいが感じられる	2.94	2.62	2.61	2.75	2.57	2.64	2.65
松本市は全国有数の山岳観光地域である	3.63	3.56	3.53	3.59	3.64	3.73	3.62
働く場を確保する取り組みが行われている	2.63	2.31	2.36	2.33	2.28	2.40	2.36
【就業者】働く人の健康に気を配っている事業所が多い地域である	2.90	2.78	3.00	3.11	3.33	3.49	3.08
知人や友人にすすめたい地元産の農産物が多い	3.01	3.06	2.94	3.13	3.01	3.09	3.03
農業がさかんである	3.09	3.17	2.90	2.99	2.75	2.91	2.93
魅力的な商店や商業施設が集積している	2.39	2.33	2.39	2.54	2.41	2.52	2.43
「松本一本ねぎ」など、松本産農産物のブランド化が行われている	2.90	2.93	2.93	3.10	3.03	3.17	3.02
知人や友人にすすめたい観光地が多い	3.06	3.10	3.12	3.31	3.36	3.51	3.28
外国人観光客の受け入れ体制が整っている	2.70	2.74	2.61	2.63	2.62	2.73	2.66
松本の魅力が発信されている	2.79	2.71	2.75	2.89	2.87	3.08	2.86

図表 55 年代別比較・市民の行動について

施策	(点)						
	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	全体
仕事と健康のバランスを取りながら働いている	2.52	2.59	2.65	2.77	3.01	2.84	2.77
地元産の農産物を積極的に購入している	2.55	2.96	2.91	3.12	3.14	3.31	3.06

※各項目全体より0.2点以上高いセルは濃い色、0.2点以上低いセルには薄い色を付けている。

(2) 経年比較分析

①平均点の推移

・労働、雇用対策の推進の評価は低水準であるが、年々、上がっている。

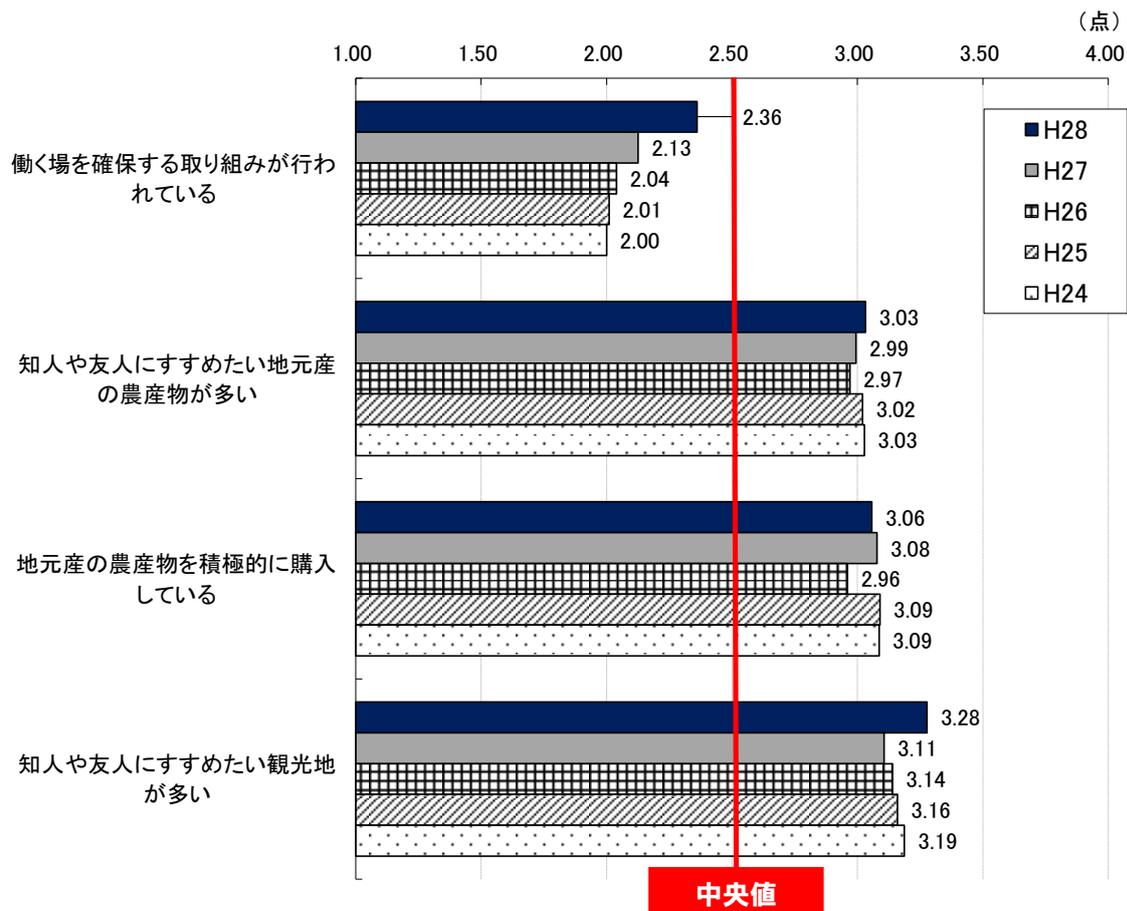
図表 56 経年比較・平均点の推移

基本施策 (個別目標)	調査項目	評価対象	平均点					
			差 H28-H27	H28	H27	H26	H25	H24
5-1-2 中心市街地の賑わいの創出	中心市街地に賑わいが感じられる	市	-	2.65	-	-	-	-
5-1-3 山岳観光の推進	松本市は全国有数の山岳観光地域である	市	-	3.62	-	-	-	-
5-1-4 労働、雇用対策の推進	働く場を確保する取組が行われている	市	0.23	2.36	2.13	2.04	2.01	2.00
	仕事と健康のバランスを取りながら働いている	市民	-	2.77	-	-	-	-
5-1-5 健康経営の推進	働く人の健康に気を配っている事業所が多い地域である	就業者	-	3.08	-	-	-	-
		松本市内で就業者	-	3.10	-	-	-	-
5-2-1 農林業の振興と美しい農山村の継承	知人や友人にすすめたい地元産の農産物が多い	市	0.04	3.03	2.99	2.97	3.02	3.03
	農業がさかんである	市	-	2.93	-	-	-	-
	地元産の農産物を積極的に購入している	市民	-0.02	3.06	3.08	2.96	3.09	3.09
5-2-2 商業の振興	魅力的な商店や商業施設が集積している	市	-	2.43	-	-	-	-
5-3-1 農産物高付加価値化の推進	「松本一本ねぎ」など、松本産農産物のブランド化が行われている	市	-	3.02	-	-	-	-
5-3-3 戦略的な観光施策の推進	知人や友人にすすめたい観光地が多い	市	0.17	3.28	3.11	3.14	3.16	3.19
	外国人観光客の受け入れ体制が整っている	市	-	2.66	-	-	-	-
	松本の魅力が発信されている	市	-	2.86	-	-	-	-

※網掛けのセルは中央値 2.5 未満の項目

※「-」は、今年度より調査した項目もしくは、調査項目に大きな変更があった項目

図表 57 経年比較・平均点の推移



②評価保留の割合の推移

- 「働く場を確保する取り組みが行われている」については、「わからない」の回答が 36.5%であり、依然として高い。市の取組が周知・浸透されていないと考えられる。
- 「知人や友人にすすめたい地元産の農産物が多い」「地元産の農産物を積極的に購入している」についても増加傾向がみられ、「松本産」の農産物への周知が必要であると考えられる。

図表 58 経年比較・評価保留の割合の推移

基本施策 (個別目標)	調査項目	評価対象	評価保留の割合 (%)					
			差 H28-H27	H28	H27	H26	H25	H24
5-1-2 中心市街地の賑わいの創出	中心市街地に賑わいが感じられる	市	-	9.1	-	-	-	-
5-1-3 山岳観光の推進	松本市は全国有数の山岳観光地域である	市	-	4.1	-	-	-	-
5-1-4 労働、雇用対策の推進	働く場を確保する取組が行われている	市	7.2	36.5	29.3	32.4	31.6	28.3
	仕事と健康のバランスを取りながら働いている	市民	-	6.4	-	-	-	-
5-1-5 健康経営の推進	働く人の健康に気を配っている事業所が多い地域である	就業者	-	2.8	-	-	-	-
		松本市内で就業者	-	2.3	-	-	-	-
5-2-1 農林業の振興と美しい農山村の継承	知人や友人にすすめたい地元産の農産物が多い	市	3.7	10.0	6.2	8.9	5.9	6.3
	農業がさかんである	市	-	13.6	-	-	-	-
	地元産の農産物を積極的に購入している	市民	2.0	4.1	2.0	1.7	3.0	2.2
5-2-2 商業の振興	魅力的な商店や商業施設が集積している	市	-	11.9	-	-	-	-
5-3-1 農産物高付加価値化の推進	「松本一本ねぎ」など、松本産農産物のブランド化が行われている	市	-	14.9	-	-	-	-
5-3-3 戦略的な観光施策の推進	知人や友人にすすめたい観光地が多い	市	0.8	4.6	3.8	4.3	3.9	3.3
	外国人観光客の受け入れ体制が整っている	市	-	32.7	-	-	-	-
	松本の魅力が発信されている	市	-	20.9	-	-	-	-

※網掛けのセルは 20%以上の項目

※「-」は、今年度より調査した項目もしくは、調査項目に大きな変更があった項目

7.【基本目標6】ともに学びあい人と文化を育むまちづくり

本市では薫り高い松本の文化を礎に、人と人とのつながりが深まり、自ら行動する未来の担い手が育つよう、豊かな人間性を育むまちづくりを進めている。

■基本施策と評価項目

政策の方向 (まちの姿)	基本施策 (個別目標)	調査項目	評価対象
6-1 子どもの可能性が広がるまち	6-1-1 学校教育の充実	小中学生が学校や地域でいきいきと生活している	市
	6-1-2 学校環境の整備・充実	小中学校で充実した教育が受けられる(教育環境が整っている)	市
	6-1-3 子どもを豊かに育む食育の推進	地産地消や家族での食事を推奨するなど、食育が地域の中で行われている	市
		家族で食事をするなど、食育に取り組んでいる	市民
6-2 生涯学習が地域にを豊かにするまち	6-2-1 生涯学習の推進	様々な学びや趣味を通じて、充実した日常生活を送っている	市民
	6-2-2 社会教育環境の整備	様々な学びや趣味を気軽に行える施設が充実している	市
6-3 文化・スポーツで魅力あふれるまち	6-3-1 文化芸術活動の推進	音楽や芸術にふれている(音楽や芸術活動に取り組んだり、鑑賞することを含む)	市民
	6-3-2 スポーツの振興	継続的にスポーツに親しんでいる(スポーツに取り組んだり、観戦することを含む)	市民
6-4 歴史・文化遺産を守り、生かすまち	6-4-1 歴史・文化資産保護・活用の推進	地域の伝統や文化の保存、継承が行われている	市
		(祭りなどの)地域の伝統や文化の保存、継承に取り組んでいる	市民
	6-4-2 城下町まつもとにふさわしいまちづくり	「城下町まつもと」にふさわしいまちづくりが行われている	市

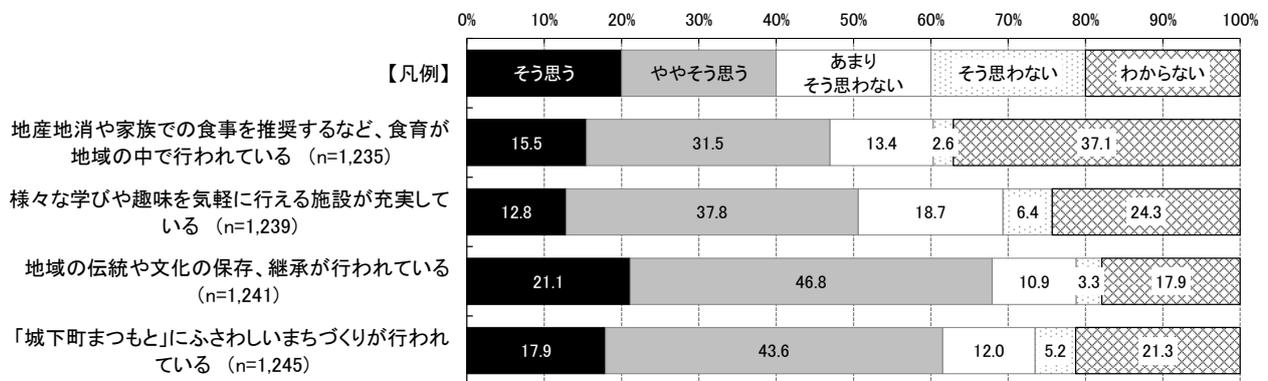
(1) 今年度調査結果

① 度数分布

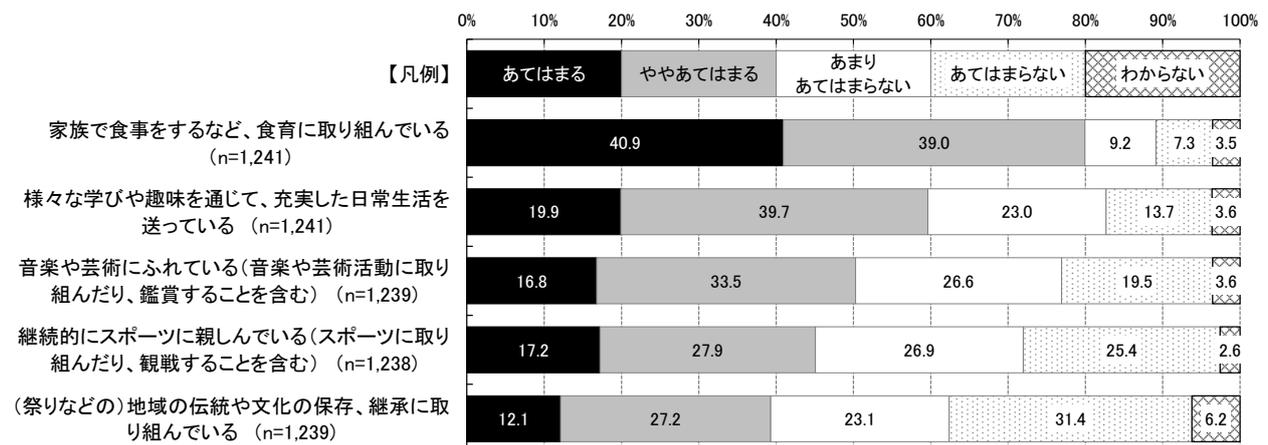
■ 受益者が限定されない項目

- ・市の現状の「地産地消や家族での食事を推奨するなど、食育が地域の中で行われている」は、肯定的な評価は 47.0% であるが、評価保留の割合が 37.1% と高い。一方、自らの行動の項目で「家族で食事をするなど、食育に取り組んでいる」について、「あてはまる」「ややあてはまる」と回答した市民は 79.9% であった。
- ・「地域の伝統や文化の保存、継承が行われている」については、67.9% が肯定的な評価をしている。一方、「(祭りなどの) 地域の伝統や文化の保存、継承に取り組んでいる」について、「あてはまる」「ややあてはまる」と回答した市民は 39.3% に留まり、市の取組は浸透しているものの、市民が自ら中心となって行われていない現状が伺える。

図表 59 松本市の現状について（受益者が限定されない項目）

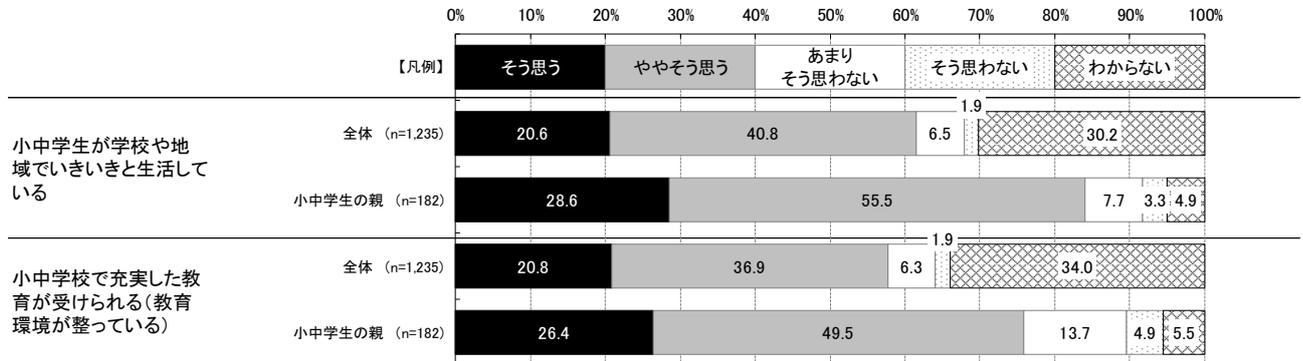


図表 60 市民の行動について（受益者が限定されない項目）



- ・市民全体の評価保留の割合が高く、周知が必要である。

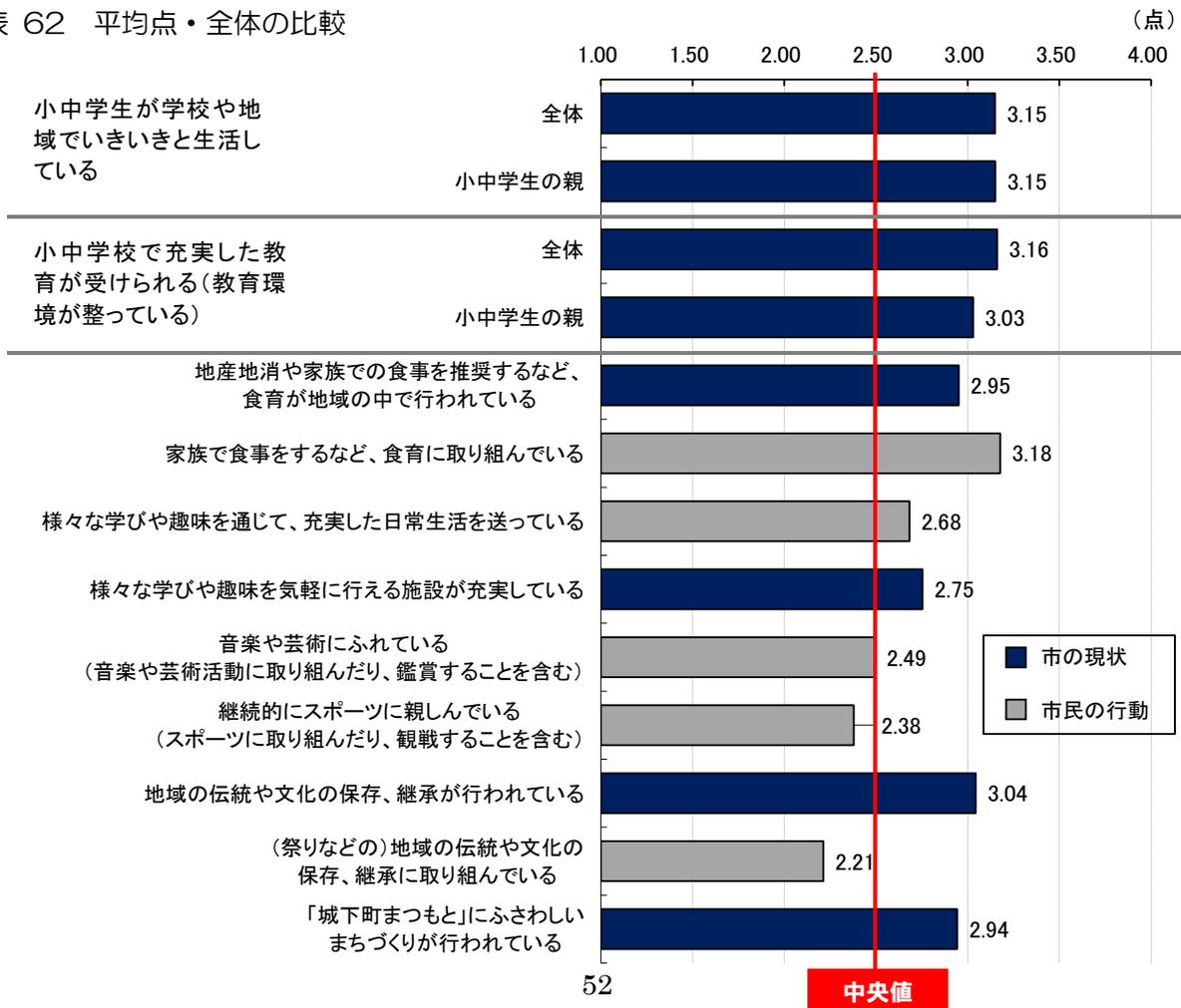
図表 61 松本市の現状について（受益者が限定される項目）



②平均点

- ・市の現状評価で平均点が高い項目は、「小中学校で充実した教育が受けられる」の市民全体評価、「小中学生が学校や地域でいきいきと生活している」など、小中学校教育に関する項目である。次いで、「地域の伝統や文化の保存、継承が行われている」の 3.04 点である。
- ・中央値 2.5 点より低い項目は、「音楽や芸術にふれている」「継続的にスポーツに親しんでいる」「(祭りなどの)地域の伝統や文化の保存、継承に取り組んでいる」の 3 項目であった。
- ・市民の行動では「家族で食事をするなど、食育に取り組んでいる」が 3.18 点と高い。

図表 62 平均点・全体の比較



- ・「小中学生が学校や地域でいきいきと生活している」「小中学校で充実した教育が受けられる」については、70代以上の平均点が全体と比較して高い傾向にある。
- ・「様々な学びや趣味を気軽に行える施設が充実している」についても70代以上の平均点が高い。
- ・「音楽や芸術にふれている」は市民全体よりも20代が0.2点高い。

図表 63 年代別比較・松本市の現状について

(点)

施策	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	全体
小中学生が学校や地域でいきいきと生活している	3.08	3.16	3.09	3.05	3.11	3.38	3.15
小中学校で充実した教育が受けられる(教育環境が整っている)	3.14	3.12	2.99	3.04	3.17	3.47	3.16
地産地消や家族での食事を推奨するなど、食育が地域の中で行われている	3.05	3.02	2.99	3.01	2.88	2.87	2.95
様々な学びや趣味を気軽に行える施設が充実している	2.54	2.60	2.68	2.76	2.75	3.00	2.75
地域の伝統や文化の保存、継承が行われている	3.08	3.02	2.94	3.09	3.04	3.13	3.04
「城下町まつもと」にふさわしいまちづくりが行われている	3.07	2.82	2.88	2.97	2.93	3.05	2.94

図表 64 年代別比較・市民の行動について

(点)

施策	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	全体
家族で食事をするなど、食育に取り組んでいる	3.02	3.26	3.13	3.27	3.04	3.32	3.18
様々な学びや趣味を通じて、充実した日常生活を送っている	2.87	2.79	2.60	2.54	2.61	2.80	2.68
音楽や芸術にふれている(音楽や芸術活動に取り組んだり、鑑賞することを含む)	2.77	2.51	2.47	2.52	2.39	2.49	2.49
継続的にスポーツに親しんでいる(スポーツに取り組んだり、観戦することを含む)	2.32	2.42	2.38	2.28	2.41	2.41	2.38
(祭りなどの)地域の伝統や文化の保存、継承に取り組んでいる	1.90	2.10	2.29	2.14	2.22	2.38	2.21

※各項目全体より0.2点以上高いセルは濃い色、0.2点以上低いセルには薄い色を付けている。

(2) 経年比較分析

① 平均点の推移

・学校教育の充実、学校環境の整備・充実の評価が上がってきている。

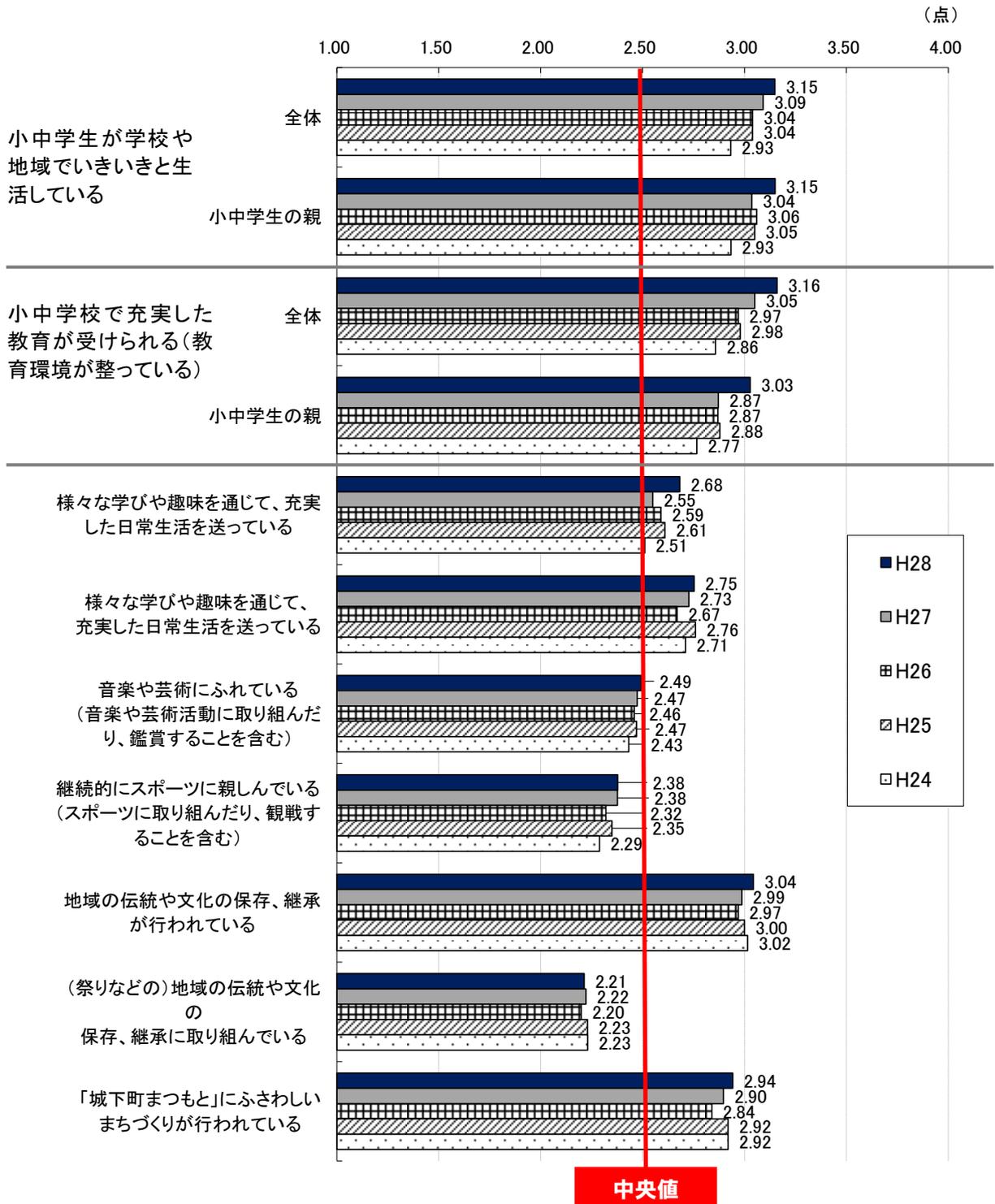
図表 65 経年比較・平均点の推移

表基本施策 (個別目標)	調査項目	評価対象	平均点						
			差 H28-H27	H28	H27	H26	H25	H24	
6-1-1 学校教育の充実	小中学生が 学校や地域 でいきいき と生活して いる	全体	市	0.06	3.15	3.09	3.04	3.04	2.93
		小中学生 の親	市	0.11	3.15	3.04	3.06	3.05	2.93
6-1-2 学校環境の整備・充 実	小中学校で 充実した教 育が受けら れる(教育 環境が整っ ている)	全体	市	0.11	3.16	3.05	2.97	2.98	2.86
		小中学生 の親	市	0.16	3.03	2.87	2.87	2.88	2.77
6-1-3 子どもを豊かに育む 食育の推進	地産地消や家族での食事 を推奨するなど、食育が地 域の中で行われている		市	-	2.95	-	-	-	-
	家族で食事をするなど、 食育に取り組んでいる		市民	-	3.18	-	-	-	-
6-2-1 生涯学習の推進	様々な学びや趣味を通 じて、充実した日常生活 を送っている		市民	0.13	2.68	2.55	2.59	2.61	2.51
6-2-2 社会教育環境の整 備	様々な学びや趣味を気 軽に行える施設が充実 している		市	0.03	2.75	2.73	2.67	2.76	2.71
6-3-1 文化芸術活動の推 進	音楽や芸術にふれてい る(音楽や芸術活動に取 り組んだり、鑑賞するこ とを含む)		市民	0.02	2.49	2.47	2.46	2.47	2.43
6-3-2 スポーツの振興	継続的にスポーツに親し んでいる(スポーツに取 り組んだり、観戦するこ とを含む)		市民	0.00	2.38	2.38	2.32	2.35	2.29
6-4-1 歴史・文化資産保 護・活用の推進	地域の伝統や文化の保 存、継承が行われてい る		市	0.06	3.04	2.99	2.97	3.00	3.02
	(祭りなどの)地域の伝 統や文化の保存、継承 に取り組んでいる		市民	-0.01	2.21	2.22	2.20	2.23	2.23
6-4-2 城下町まつもとにふ さわしいまちづくり	「城下町まつもと」にふ さわしいまちづくりが行 われている		市	0.05	2.94	2.90	2.84	2.92	2.92

※網掛けのセルは中央値 2.5 未満の項目

※「-」は、今年度より調査した項目
もしくは、調査項目に大きな変更があった項目

図表 66 経年比較・平均点の推移



②評価保留の割合の推移

・「様々な学びや趣味を通じて、充実した日常生活を送っている」「音楽や芸術にふれている」「継続的にスポーツに親しんでいる」については、僅かではあるが減少傾向がみられる。

図表 67 経年比較・評価保留の割合の推移

表基本施策 (個別目標)	調査項目	評価対象	評価保留の割合(%)						
			差 H28-H27	H28	H27	H26	H25	H24	
6-1-1 学校教育の充実	小中学生が 学校や地域 でいきいき と生活して いる	全体	市	2.1	30.2	28.1	29.9	25.1	26.3
		小中学生 の親	市	3.9	4.9	1.0	6.5	1.6	2.8
6-1-2 学校環境の整備・充 実	小中学校で 充実した教 育が受けら れる(教育 環境が整っ ている)	全体	市	2.6	34.0	31.4	35.2	31.0	32.7
		小中学生 の親	市	2.4	5.5	3.1	8.2	5.7	4.6
6-1-3 子どもを豊かに育む 食育の推進	地産地消や家族での食事を推奨するなど、食育が地域の中で行われている		市	-	37.1	-	-	-	-
	家族で食事をするなど、食育に取り組んでいる		市民	-	3.5	-	-	-	-
6-2-1 生涯学習の推進	様々な学びや趣味を通じて、充実した日常生活を送っている		市民	-4.8	3.6	8.4	8.2	6.6	6.7
6-2-2 社会教育環境の整備	様々な学びや趣味を気軽にに行える施設が充実している		市	1.3	24.3	23.0	22.0	22.2	20.9
6-3-1 文化芸術活動の推進	音楽や芸術にふれている(音楽や芸術活動に取り組んだり、鑑賞することを含む)		市民	-1.6	3.6	5.1	5.4	4.3	4.7
6-3-2 スポーツの振興	継続的にスポーツに親しんでいる(スポーツに取り組んだり、観戦することを含む)		市民	-2.8	2.6	5.4	6.7	4.8	4.6
6-4-1 歴史・文化資産保護・活用の推進	地域の伝統や文化の保存、継承が行われている		市	-1.3	17.9	19.2	18.4	16.3	15.6
	(祭りなどの)地域の伝統や文化の保存、継承に取り組んでいる		市民	-0.1	6.2	6.4	9.0	7.0	7.2
6-4-2 城下町まつもとにふさわしいまちづくり	「城下町まつもと」にふさわしいまちづくりが行われている		市	2.9	21.3	18.4	17.6	16.7	16.5

※網掛けのセルは20%以上の項目

※「-」は、今年度より調査した項目もしくは、調査項目に大きな変更があった項目

8. 行政について

本市では選択と集中による事業の効率化、重点化を進めるとともに、顧客主義や成果主義など市民の目線に立って、市民の負託に的確に応えられる行政をめざし、5つの方針のもと行政運営に取り組んでいる。

■方針と評価項目

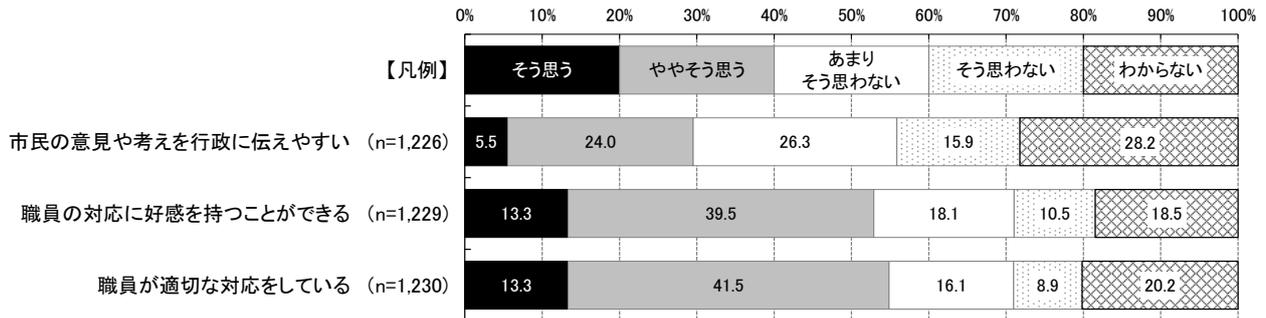
方針	調査項目	評価対象
方針 1 質の高い行政経営の実現	市民の意見や考えを行政に伝えやすい	市
方針 2 財政基盤の強化	極めて限定的な市民にしか回答できないため調査項目を設定しなかった	
方針 3 窓口サービス・広聴の充実	職員の対応に好感を持つことができる	市
	職員が適切な対応をしている	市
方針 4 松本の魅力発信力の強化	行政の活動に関心を持っている	市民
方針 5 人材育成の推進	方針 3 に含む	

(1) 今年度調査結果

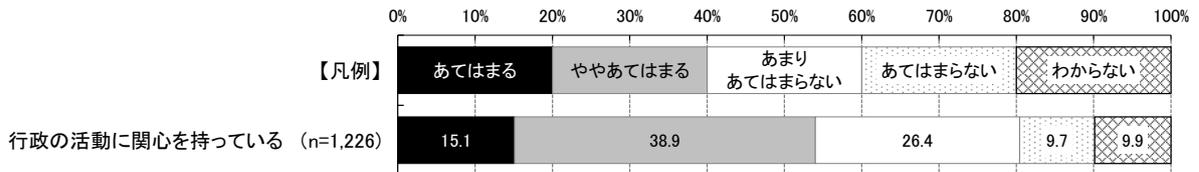
① 度数分布

- ・「職員の対応に好感を持つことができる」「職員が適切な対応をしている」については、50%以上が肯定的に評価している。
- ・「市民の意見や考えを行政に伝えやすい」については、肯定的な評価は 29.5%である。評価保留の割合が 28.2%と高い。
- ・「行政の活動に関心を持っている」は、肯定的評価の割合が 54.0%である。

図表 68 松本市の現状について



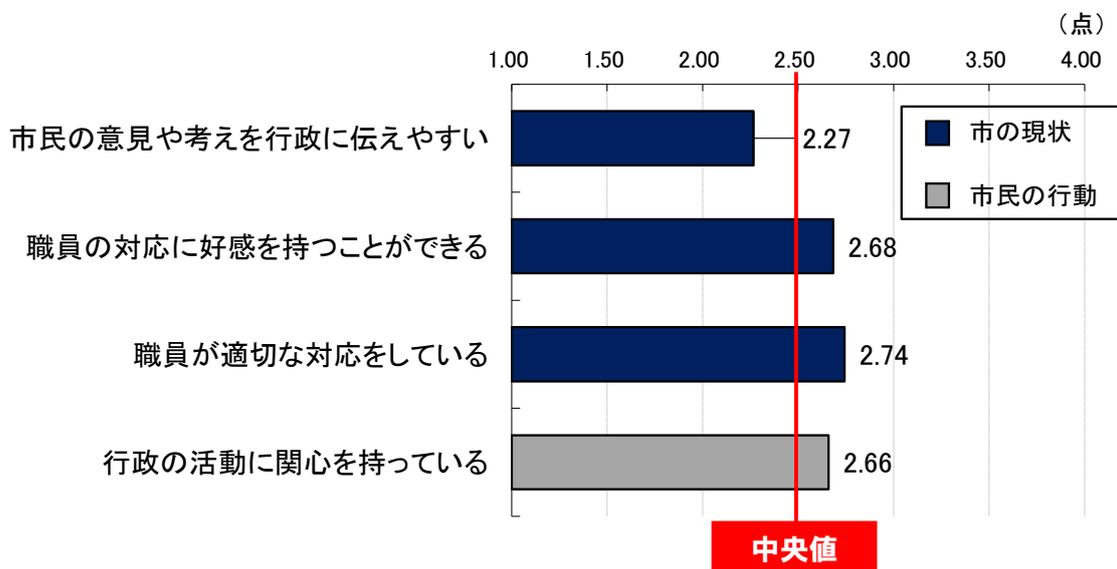
図表 69 市民の行動について



②平均点

- ・中央値 2.5 点より低い項目は、「市民の意見や考えを行政に伝えやすい」のみであった。
- ・年代別で見ると、20代・30代の平均点が全体と比較して高い傾向にある。

図表 70 平均点・全体の比較



図表 71 年代別比較・松本市の現状について

施策	(点)						
	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	全体
市民の意見や考えを行政に伝えやすい	3.82	3.64	3.37	3.48	3.31	3.29	3.43
職員の対応に好感を持つことができる	3.25	2.97	2.98	3.08	2.71	2.59	2.87
職員が適切な対応をしている	3.29	3.00	2.88	3.11	2.70	2.62	2.86

図表 72 年代別比較・市民の行動について

施策	(点)						
	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	全体
行政の活動に関心を持っている	3.12	2.85	2.74	2.64	2.50	2.54	2.67

※各項目全体より 0.2 点以上高いセルは濃い色、0.2 点以上低いセルには薄い色を付けている。

(2) 経年比較分析

①平均点の推移

・過去5年間の結果と比較しても、概ね傾向は変わっていない。

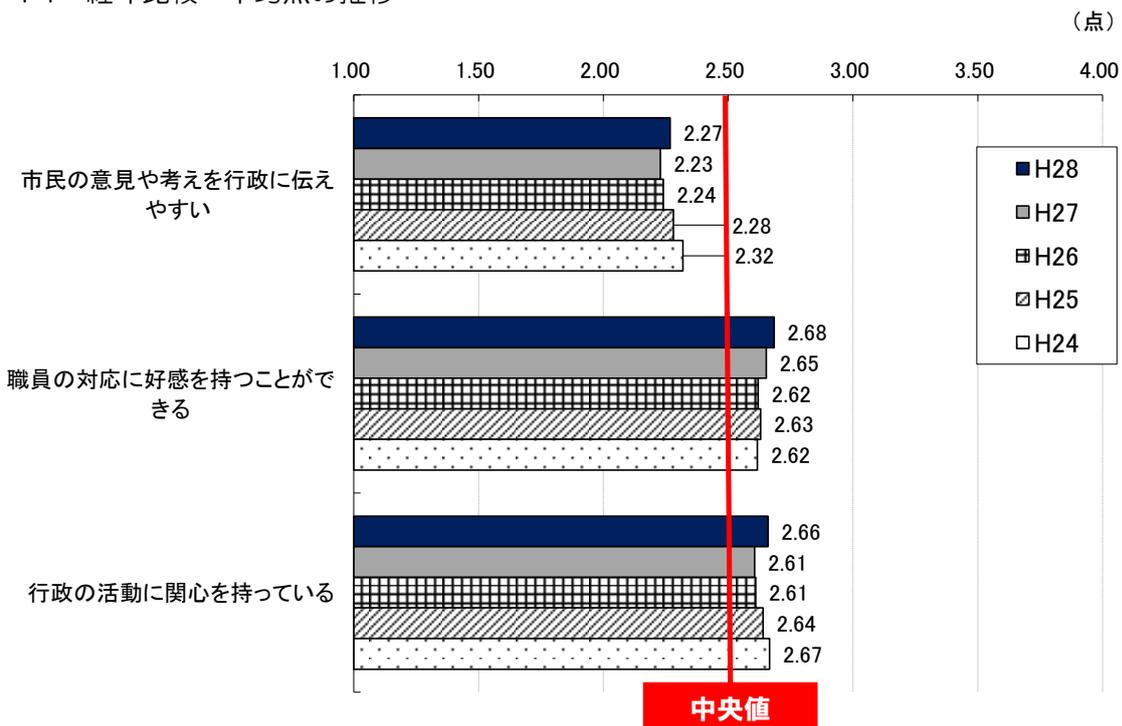
図表 73 経年比較・平均点の推移

方針	調査項目	評価対象	平均点					
			差 H28-H27	H28	H27	H26	H25	H24
方針1 質の高い行政経営 の実現	市民の意見や考えを行政に伝えやすい	市	0.04	2.27	2.23	2.24	2.28	2.32
方針2 財政基盤の強化	極めて限定的な市民にしか回答できないため調査項目を設定しなかった							
方針3 窓口サービス・広聴 の充実	職員の対応に好感を持つことができる	市	0.03	2.68	2.65	2.62	2.63	2.62
	職員が適切な対応をしている	市	-	2.74	-	-	-	-
方針4 松本の魅力発信力の強化	行政の活動に関心を持っている	市民	0.05	2.66	2.61	2.61	2.64	2.67
方針5 人材育成の推進	方針3に含む							

※網掛けのセルは中央値 2.5 未満の項目

※「-」は、今年度より調査した項目もしくは、調査項目に大きな変更があった項目

図表 74 経年比較・平均点の推移



②評価保留の割合の推移

■評価結果■

・過去5年間の結果と比較しても、概ね傾向は変わっていない。

図表 75 経年比較・評価保留の割合の推移

方針	調査項目	評価対象	評価保留の割合(%)					
			差 H28-H27	H28	H27	H26	H25	H24
方針1 質の高い行政経営 の実現	市民の意見や考えを行政に伝えやすい	市	1.8	28.2	26.5	30.8	28.3	29.0
方針2 財政基盤の強化	極めて限定的な市民にしか回答できないため調査項目を設定しなかった							
方針3 窓口サービス・広聴 の充実	職員の対応に好感を持つことができる	市	0.7	18.5	17.7	18.0	15.6	15.7
	職員が適切な対応をしている	市	-	20.2	-	-	-	-
方針4 松本の魅力発信力の強化	行政の活動に関心を持っている	市民	0.9	9.9	9.0	9.4	8.7	6.9
方針5 人材育成の推進	方針3に含む							

※網掛けのセルは20%以上の項目

※「-」は、今年度より調査した項目もしくは、調査項目に大きな変更があった項目

第4章 松本市での暮らしに関する総合的な評価結果

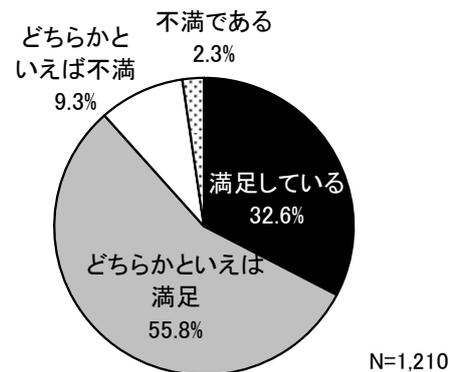
1. 松本市での暮らしに対する満足度

(1) 今年度調査結果

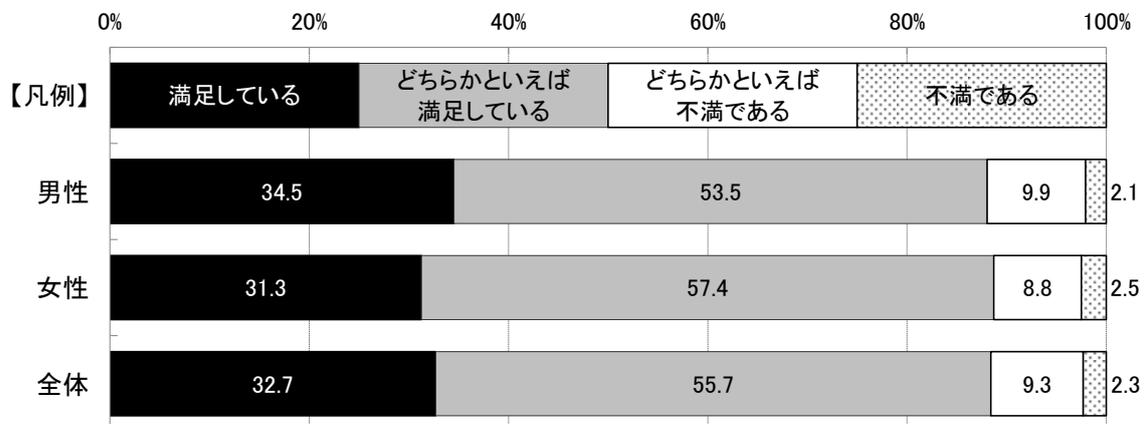
- ・松本市での暮らしに対する満足度は、88.4%が肯定的に評価している。
- ・性別で見ても、同じ傾向である。
- ・年代別で見ると、年代があがるにつれて満足度が高くなっている。20代～50代は肯定的評価が80%台、60代以上では90%台で推移している。

図表 76 松本市での暮らしに対する満足度

	回答数(人)	割合(%)
満足している	395	32.6
どちらかといえば満足	675	55.8
どちらかといえば不満	112	9.3
不満である	28	2.3
合計	1,210	100.0

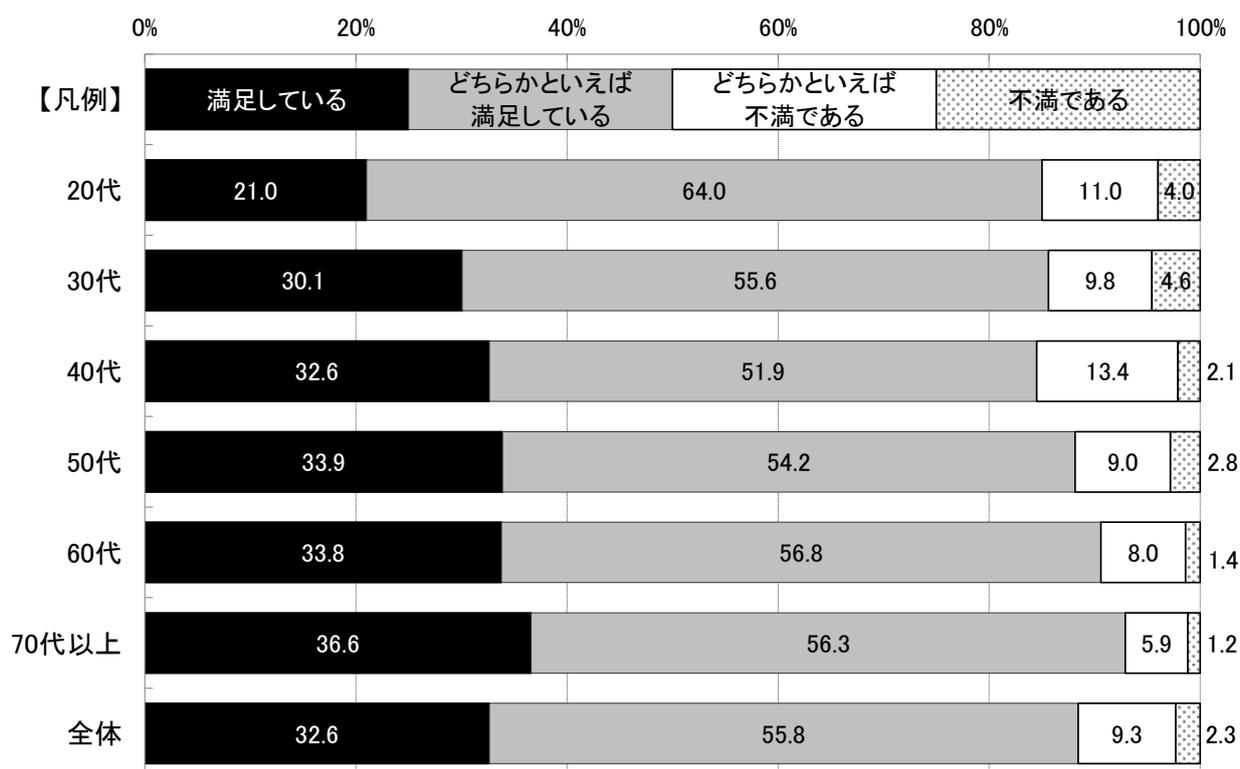


図表 77 性別比較・暮らしに対する満足度



満足度		満足している	どちらかといえば満足している	どちらかといえば不満である	不満である	全体
男性	回答数	182	282	52	11	527
	割合(%)	34.5	53.5	9.9	2.1	100.0
女性	回答数	213	391	60	17	681
	割合(%)	31.3	57.4	8.8	2.5	100.0
全体	回答数	395	673	112	28	1,208
	割合(%)	32.7	55.7	9.3	2.3	100.0

図表 78 年代別比較・暮らしに対する満足度

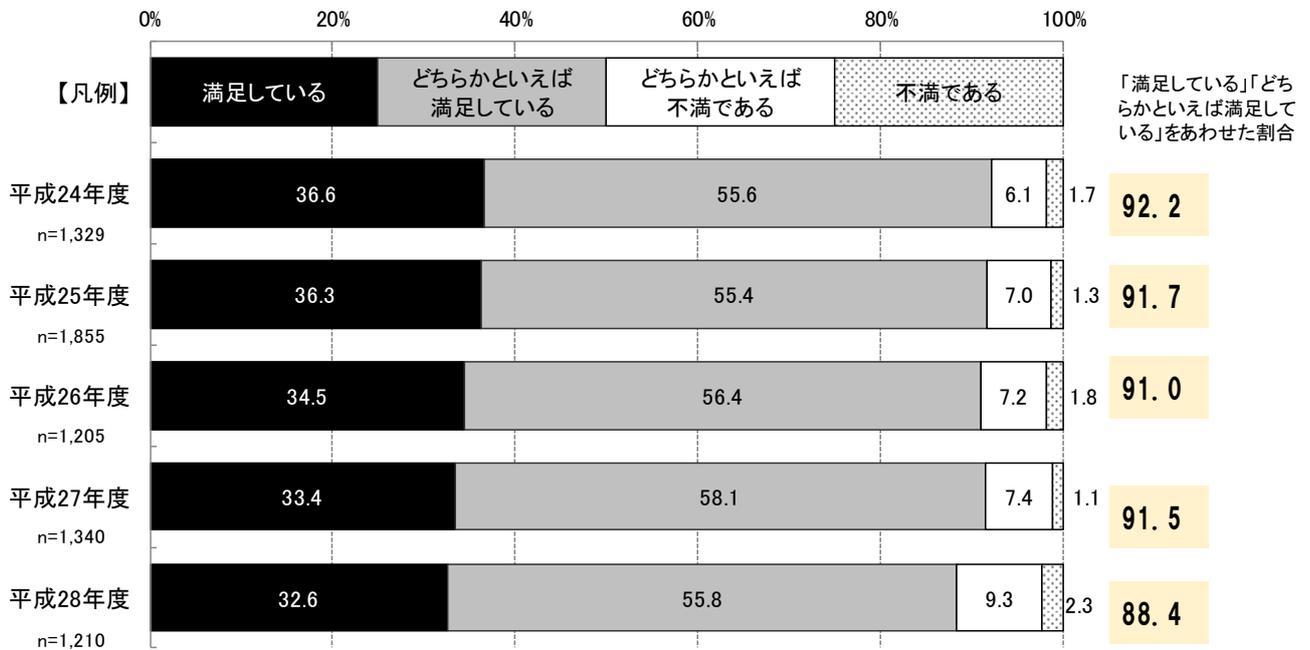


満足度		満足している	どちらかといえば満足している	どちらかといえば不満である	不満である	全体
20代	回答数	21	64	11	4	100
	割合(%)	21.0	64.0	11.0	4.0	100.0
30代	回答数	46	85	15	7	153
	割合(%)	30.1	55.6	9.8	4.6	100.0
40代	回答数	78	124	32	5	239
	割合(%)	32.6	51.9	13.4	2.1	100.0
50代	回答数	60	96	16	5	177
	割合(%)	33.9	54.2	9.0	2.8	100.0
60代	回答数	97	163	23	4	287
	割合(%)	33.8	56.8	8.0	1.4	100.0
70代以上	回答数	93	143	15	3	254
	割合(%)	36.6	56.3	5.9	1.2	100.0
全体	回答数	395	675	112	28	1,210
	割合(%)	32.6	55.8	9.3	2.3	100.0

(2) 経年比較分析

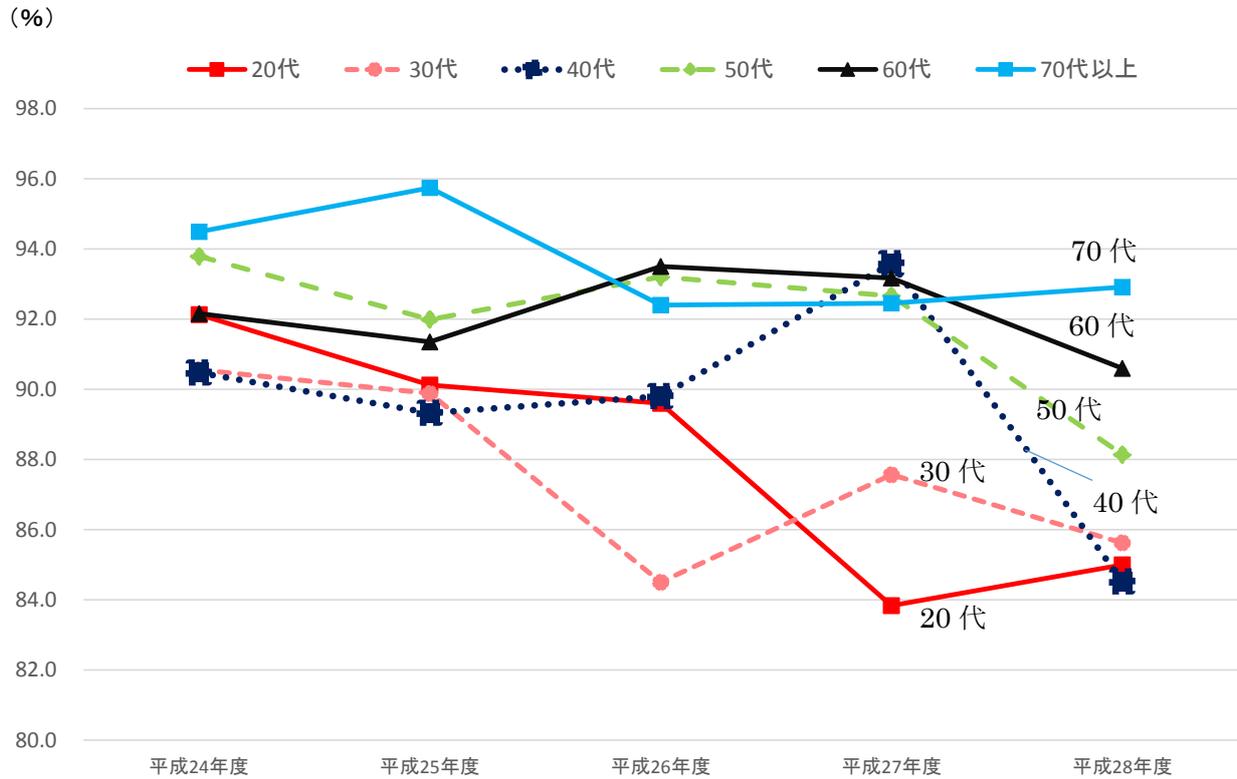
- ・平成24年度から経年で比較すると「満足している」の割合の微減傾向が続いている。
- ・年代別に経年比較分析を行うと、20代～40代が平成24年度の満足度と比較して低下している。

図表 79 経年比較・暮らしに対する満足度



満足度		満足している	どちらかといえば満足している	どちらかといえば不満である	不満である	全体
平成24年度	回答数	486	739	81	23	1,329
	割合 (%)	36.6	55.6	6.1	1.7	100.0
平成25年度	回答数	673	1028	129	25	1,855
	割合 (%)	36.3	55.4	7.0	1.3	100.0
平成26年度	回答数	416	680	87	22	1,205
	割合 (%)	34.5	56.4	7.2	1.8	100.0
平成27年度	回答数	448	778	99	15	1,340
	割合 (%)	33.4	58.1	7.4	1.1	100.0
平成28年度	回答数	395	675	112	28	1,210
	割合 (%)	32.6	55.8	9.3	2.3	100.0

図表 80 経年比較・年代別満足度（「満足している」、「どちらかといえば満足している」の合算値）



満足度		20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
平成24年度	回答数	94	202	227	211	282	207
	割合 (%)	92.1	90.6	90.5	93.8	92.2	94.5
平成25年度	回答数	119	240	309	289	382	357
	割合 (%)	90.1	89.9	89.3	92.0	91.3	95.7
平成26年度	回答数	43	53	76	60	96	88
	割合 (%)	89.6	84.5	89.8	93.2	93.5	92.4
平成27年度	回答数	35	63	75	61	106	108
	割合 (%)	83.8	87.6	93.6	92.7	93.2	92.5
平成28年度	回答数	49	91	132	101	186	179
	割合 (%)	85.0	85.6	84.5	88.1	90.6	92.9

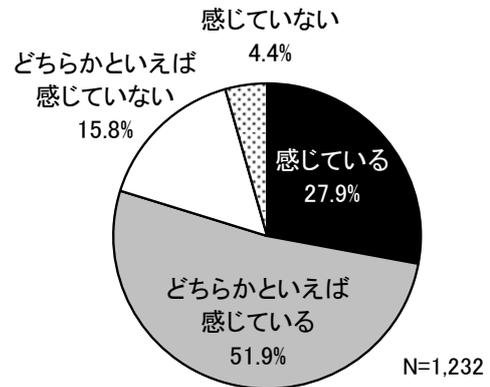
2. 暮らしのなかでの「生きがい」

(1) 今年度調査結果

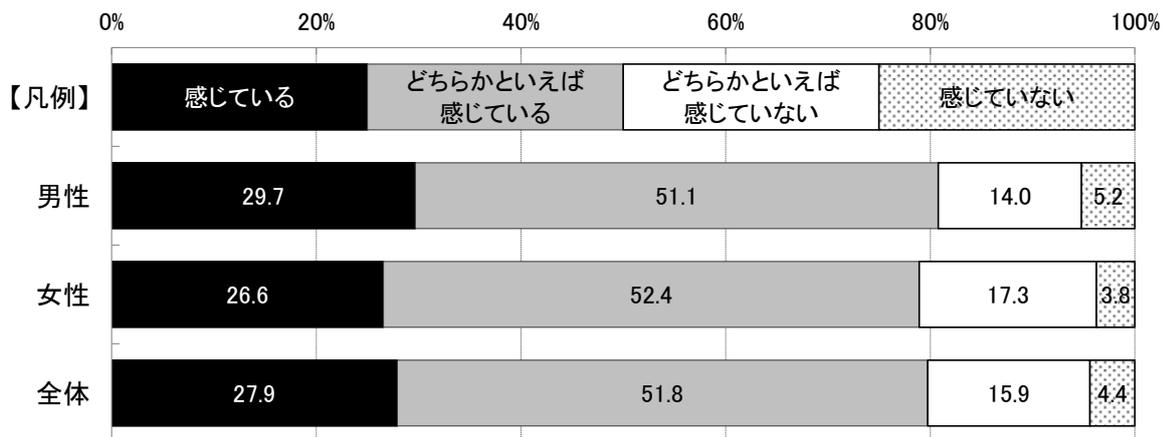
- ・暮らしのなかで「生きがい」を感じるか聞いたところ、79.8%が生きがいを感じている。
- ・性別でも、同じ傾向である。
- ・年代別でみると、20代、40代、50代で、生きがいを感じている割合がやや低い。

図表 81 暮らしのなかで「生きがい」を感じるか

	回答数(人)	割合(%)
感じている	344	27.9
どちらかといえば感じている	639	51.9
どちらかといえば感じていない	195	15.8
感じていない	54	4.4
合計	1,232	100.0

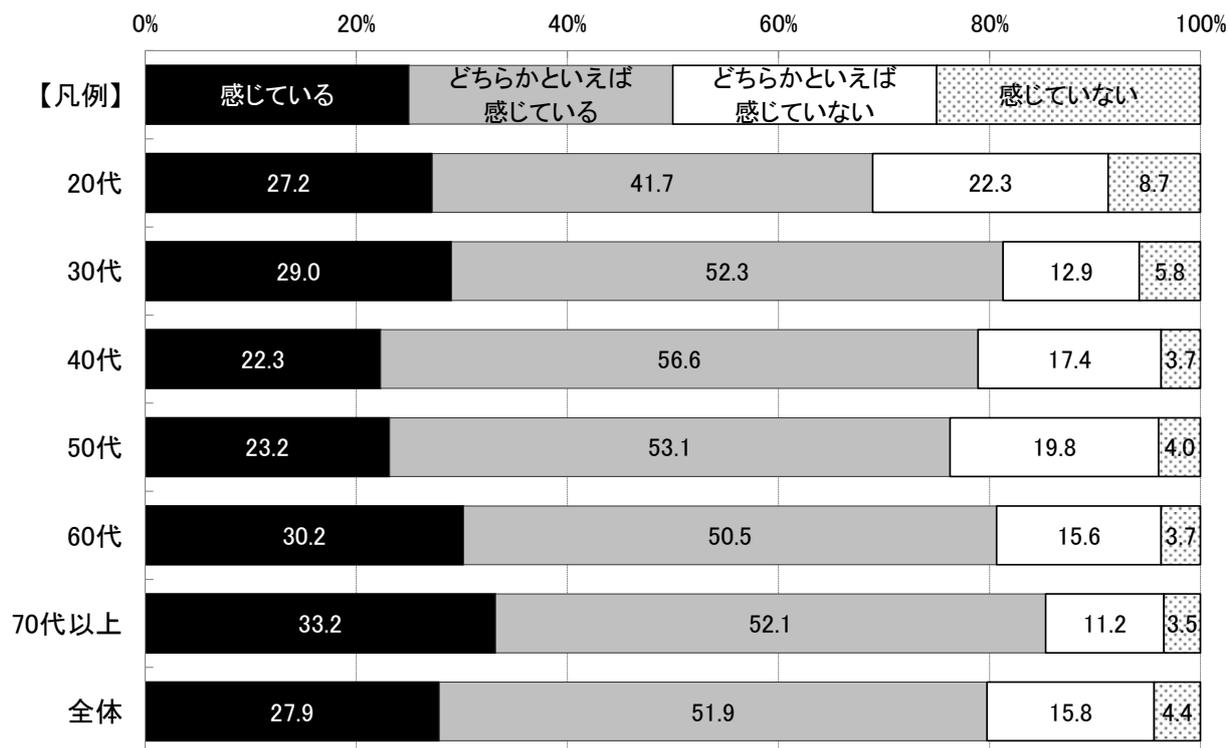


図表 82 性別比較・暮らしのなかで「生きがい」を感じるか



生きがい		感じている	どちらかといえ ば感じている	どちらかといえ ば感じていない	感じていない	全体
男性	回答数	159	274	75	28	536
	割合(%)	29.7	51.1	14.0	5.2	100.0
女性	回答数	184	363	120	26	693
	割合(%)	26.6	52.4	17.3	3.8	100.0
全体	回答数	343	637	195	54	1,229
	割合(%)	27.9	51.8	15.9	4.4	100.0

図表 83 年代別比較・暮らしのなかで「生きがい」を感じるか



生きがい		感じている	どちらかといえ ば感じている	どちらかといえ ば感じていない	感じていない	全体
20代	回答数	28	43	23	9	103
	割合 (%)	27.2	41.7	22.3	8.7	100.0
30代	回答数	45	81	20	9	155
	割合 (%)	29.0	52.3	12.9	5.8	100.0
40代	回答数	54	137	42	9	242
	割合 (%)	22.3	56.6	17.4	3.7	100.0
50代	回答数	41	94	35	7	177
	割合 (%)	23.2	53.1	19.8	4.0	100.0
60代	回答数	89	149	46	11	295
	割合 (%)	30.2	50.5	15.6	3.7	100.0
70代以上	回答数	86	135	29	9	259
	割合 (%)	33.2	52.1	11.2	3.5	100.0
全体	回答数	343	639	195	54	1,231
	割合 (%)	27.9	51.9	15.8	4.4	100.0

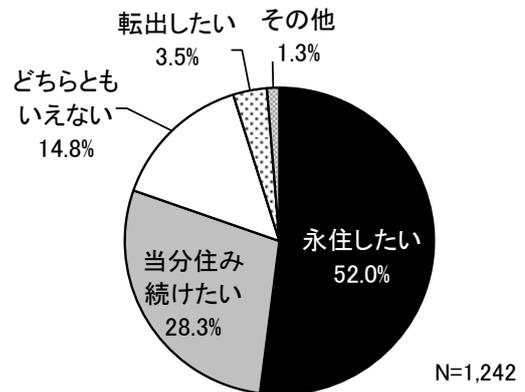
3. 松本市での居住継続意向

(1) 今年度調査結果

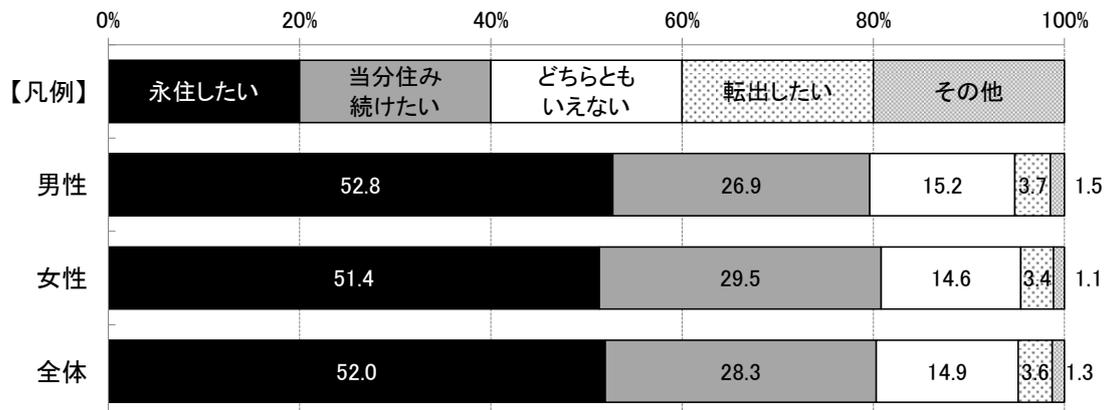
- ・今後の居住意向については、80.3%が住み続けたいとの意向を示している。
- ・性別でも、同じ傾向である。
- ・年代別で見ると、年代があがるにつれて「永住したい」という回答割合が高くなっている。20代では「転出したい」割合が7.8%となっており、若年層では転出意向が高い。

図表 84 松本市での居住継続意向

	回答数(人)	割合(%)
永住したい	646	52.0
当分住み続けたい	352	28.3
どちらともいえない	184	14.8
転出したい	44	3.5
その他	16	1.3
合計	1,242	100.0

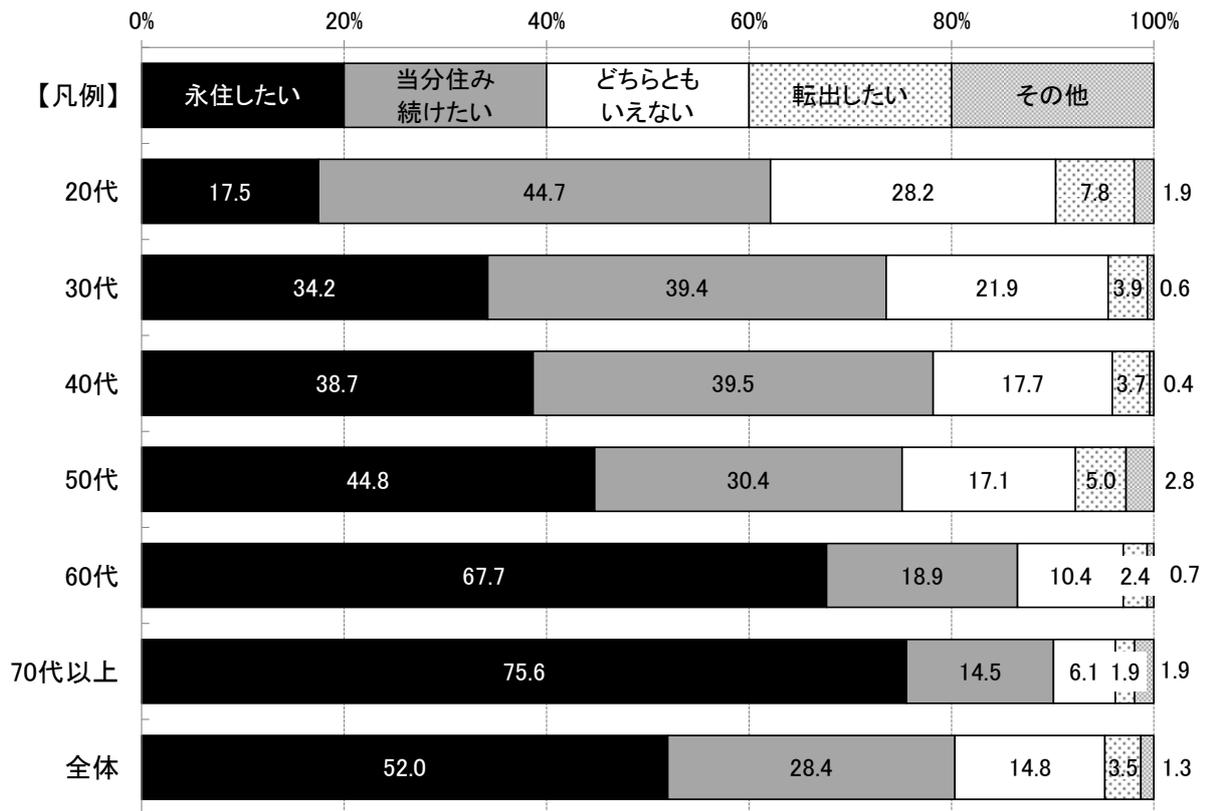


図表 85 性別比較・松本市での居住継続意向



居住意向		永住したい	当分住み続けたい	どちらともいえない	転出したい	その他	全体
男性	回答数	285	145	82	20	8	540
	割合(%)	52.8	26.9	15.2	3.7	1.5	100.0
女性	回答数	359	206	102	24	8	699
	割合(%)	51.4	29.5	14.6	3.4	1.1	100.0
全体	回答数	644	351	184	44	16	1,239
	割合(%)	52.0	28.3	14.9	3.6	1.3	100.0

図表 86 年代別比較・松本市での居住継続意向

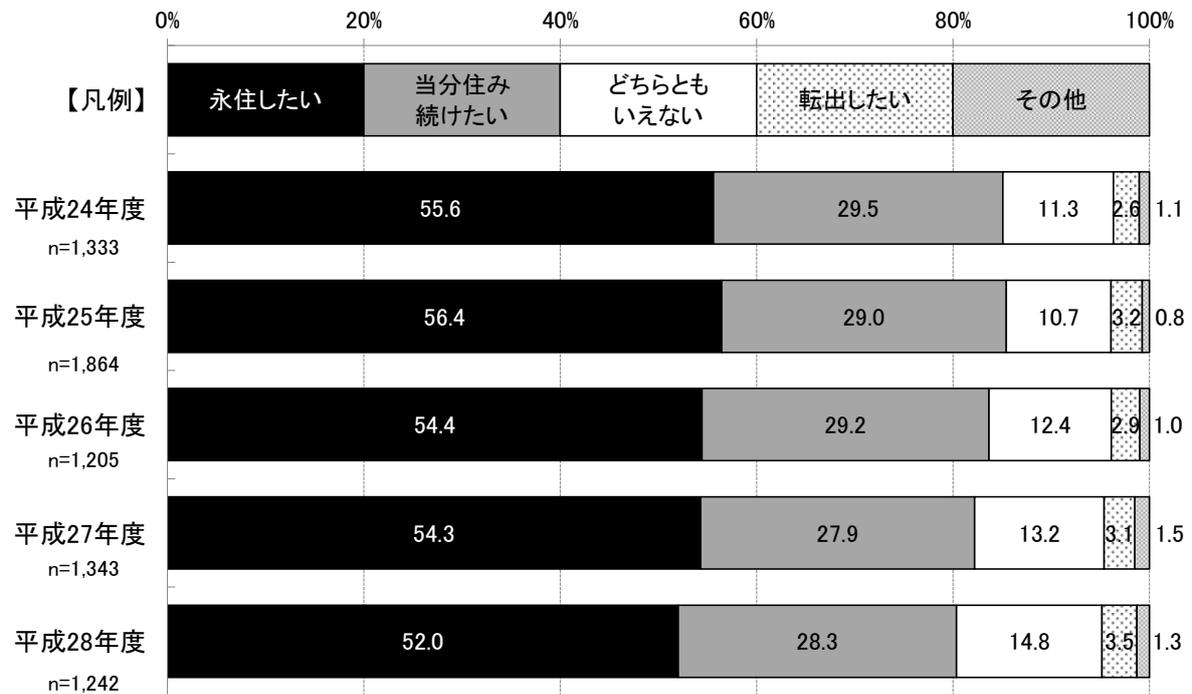


居住意向		永住したい	当分住み続けたい	どちらともいえない	転出したい	その他	全体
20代	回答数	18	46	29	8	2	103
	割合 (%)	17.5	44.7	28.2	7.8	1.9	100.0
30代	回答数	53	61	34	6	1	155
	割合 (%)	34.2	39.4	21.9	3.9	0.6	100.0
40代	回答数	94	96	43	9	1	243
	割合 (%)	38.7	39.5	17.7	3.7	0.4	100.0
50代	回答数	81	55	31	9	5	181
	割合 (%)	44.8	30.4	17.1	5.0	2.8	100.0
60代	回答数	201	56	31	7	2	297
	割合 (%)	67.7	18.9	10.4	2.4	0.7	100.0
70代以上	回答数	198	38	16	5	5	262
	割合 (%)	75.6	14.5	6.1	1.9	1.9	100.0
全体	回答数	645	352	184	44	16	1,241
	割合 (%)	52.0	28.4	14.8	3.5	1.3	100.0

(2) 経年比較分析

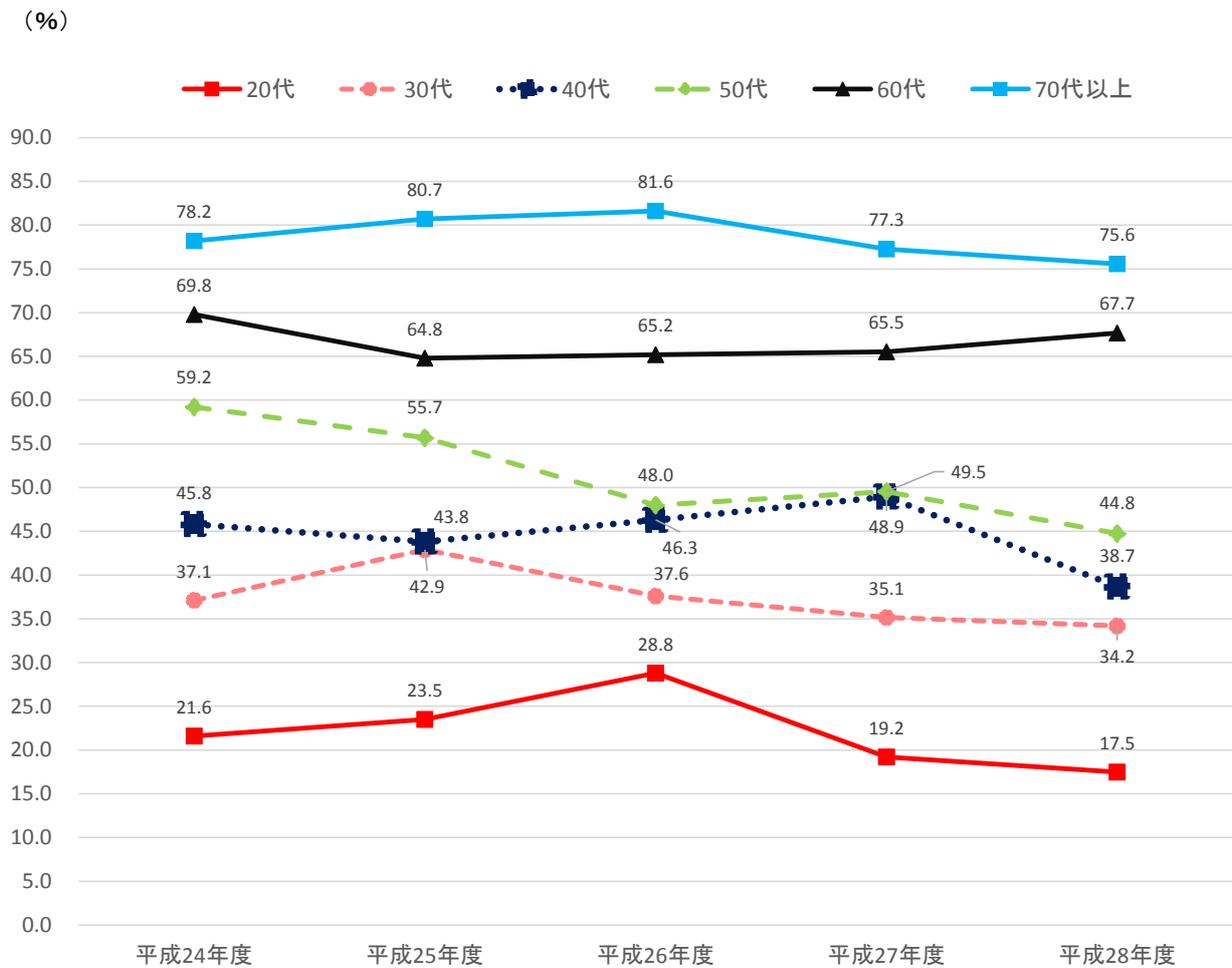
- 平成 24 年度から経年で比較すると、大きく変化がなくどの年も、約 80%が住み続けたいとの意向を示している。しかし、僅かではあるが、年々減少がみられる。「どちらともいえない」とする割合が微増しており、居住し続ける要因がないと、市外へ転出することも考えられる。
- 年代別にみると、平成 24 年と比較して 50 代の永住意向が 14.4%下がっている。20 代は平成 26 年と比較して 11.3%と下がっている。

図表 87 経年比較・松本市での居住継続意向



居留意向		永住したい	当分住み続けたい	どちらともいえない	転出したい	その他	全体
平成24年度	回答数	741	393	150	35	14	1,333
	割合(%)	55.6	29.5	11.3	2.6	1.1	100.0
平成25年度	回答数	1052	540	199	59	14	1,864
	割合(%)	56.4	29.0	10.7	3.2	0.8	100.0
平成26年度	回答数	656	352	150	35	12	1,205
	割合(%)	54.4	29.2	12.4	2.9	1.0	100.0
平成27年度	回答数	729	375	177	42	20	1,343
	割合(%)	54.3	27.9	13.2	3.1	1.5	100.0
平成28年度	回答数	646	352	184	44	16	1,242
	割合(%)	52.0	28.3	14.8	3.5	1.3	100.0

図表 88 経年比較・年代別松本市での永住意向



居住意向		20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
平成24年度	回答数	22	83	115	135	213	172
	割合 (%)	21.6	37.1	45.8	59.2	69.8	78.2
平成25年度	回答数	31	115	152	176	273	302
	割合 (%)	23.5	42.9	43.8	55.7	64.8	80.7
平成26年度	回答数	30	65	100	106	182	173
	割合 (%)	28.8	37.6	46.3	48.0	65.2	81.6
平成27年度	回答数	19	71	116	108	211	204
	割合 (%)	19.2	35.1	48.9	49.5	65.5	77.3
平成28年度	回答数	18	53	94	81	201	198
	割合 (%)	17.5	34.2	38.7	44.8	67.7	75.6

第5章 総括

1. 松本市での暮らしの現状

松本市での暮らしの満足度は、「満足している」「どちらかという満足している」を合わせると 88.4%と依然として高い数値を維持している。平成 24 年度調査から比較すると、「満足している」の割合が微減、「どちらかといえば不満」が増している。

居住意向では、「永住したい」という意向が今年度は 52.0%であった。平成 24 年度の 55.6%から比較すると年々微減し、「どちらともえない」という回答が増傾向にある。本市の永住意向は、近年少しずつ低下が見られる。人口減小の抑制に向けて、松本で暮らす魅力のさらなる向上が求められる。

今年度から新たに設定した「暮らしのなかで生きがいを感じるか」という問いに対しては、「感じている」「どちらかといえば感じている」を合わせると 79.8%であった。年代別にこの割合をみると 70 代以上で 85.3%や 30 代で 81.3%と高い一方、20 代は 68.9%と低く、世代間にギャップがある。

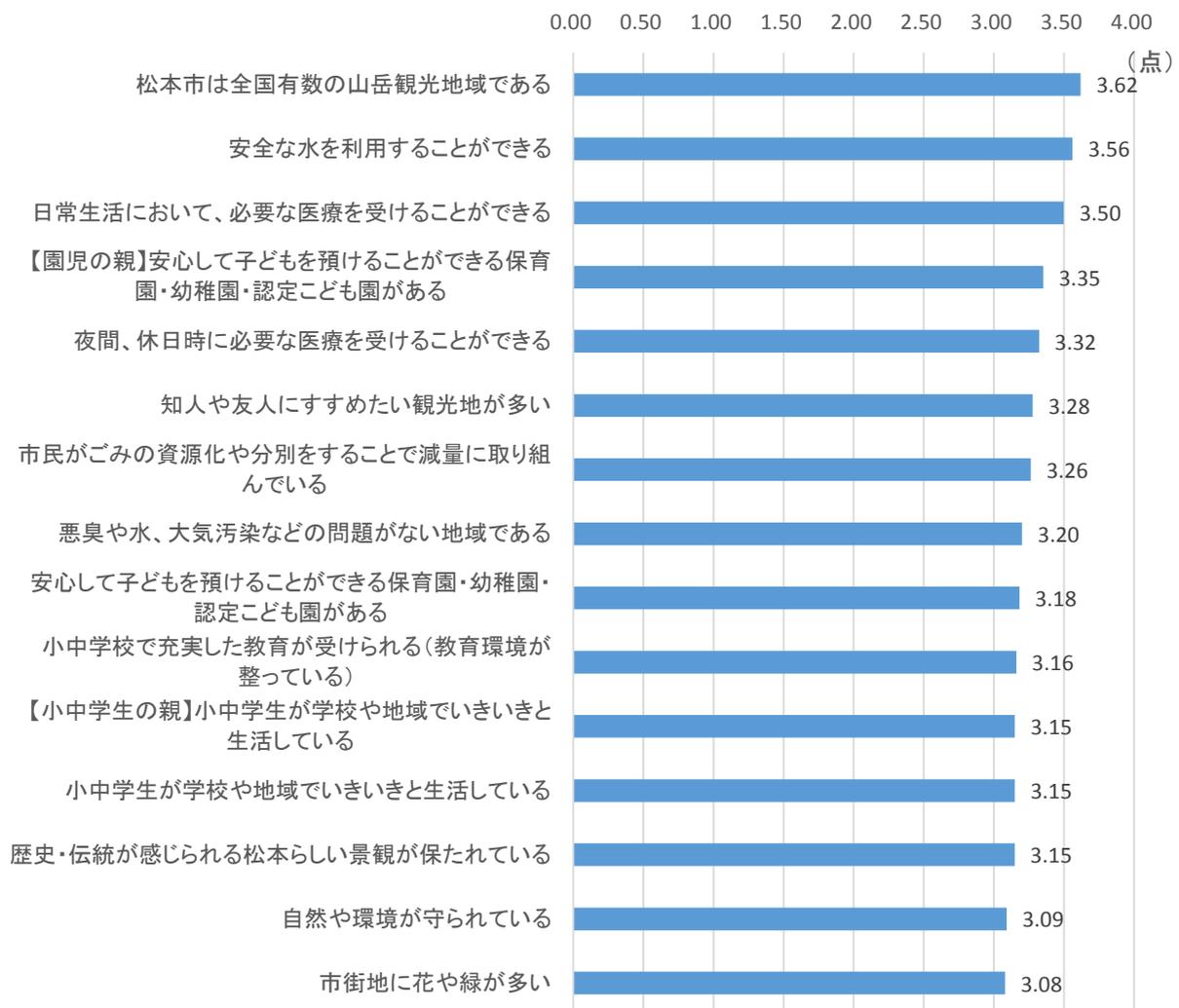
2. 基本施策ごとの評価

(1) 施策の特徴的な傾向

市の現状評価項目のなかで、最も評価が高かったのは、「山岳観光の推進（松本市は全国有数の山岳観光一）」であり、3.62点であった。上高地、乗鞍高原や美ヶ原高原など、知名度が高い観光地が市内にあることが影響しているといえる。観光分野は「知人や友人にすすめたい観光地が多い」も高評価であり、上位である。

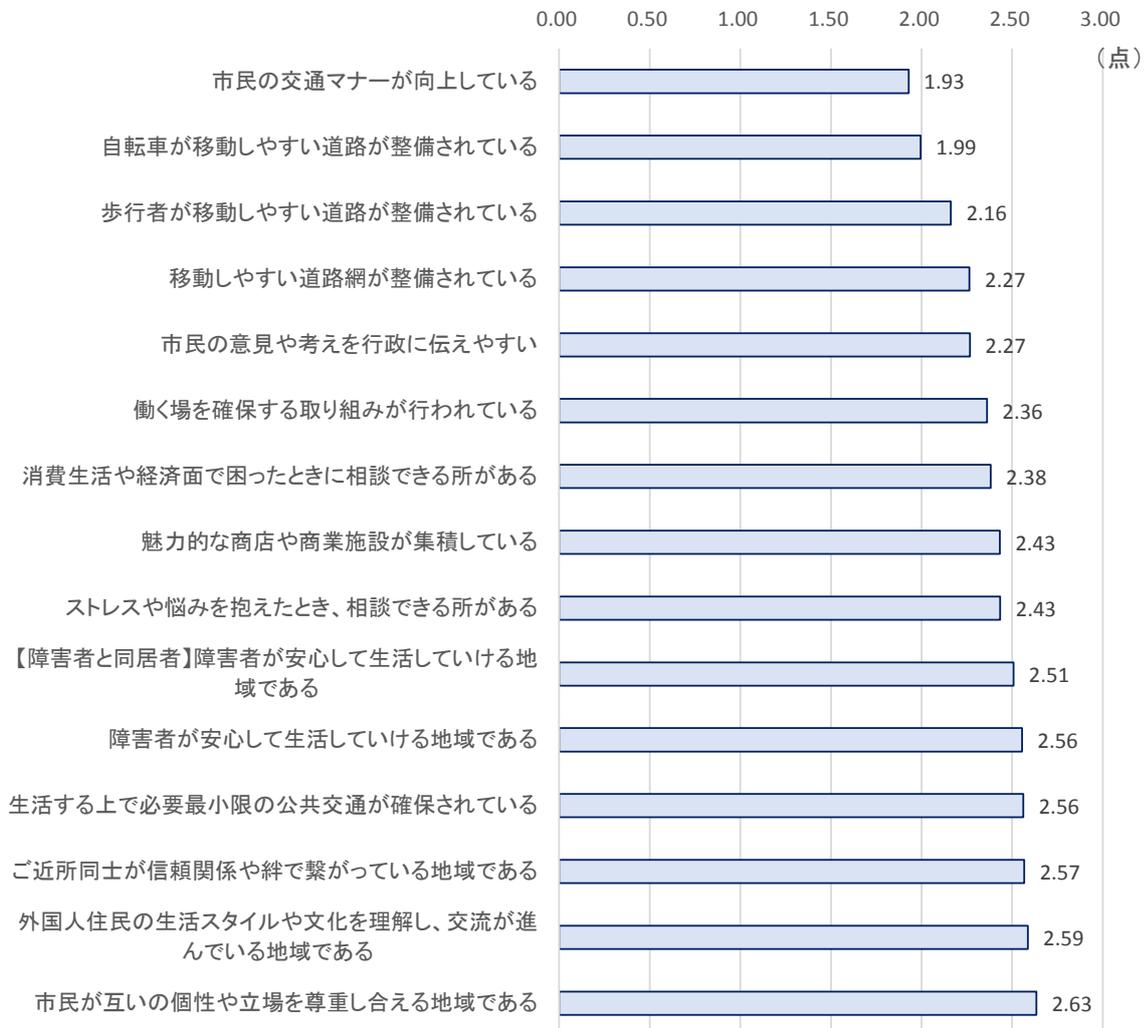
次いで、「水道水の安定供給（安全な水を利用する一）」、「地域医療の充実（日常生活において一）」、「保育環境の充実（安心して子どもを預ける一）」の受益者評価が高い。医療・福祉施策が一定の評価を得ている。

図表 89 市の現状評価で平均点が高い施策 上位 10 項目



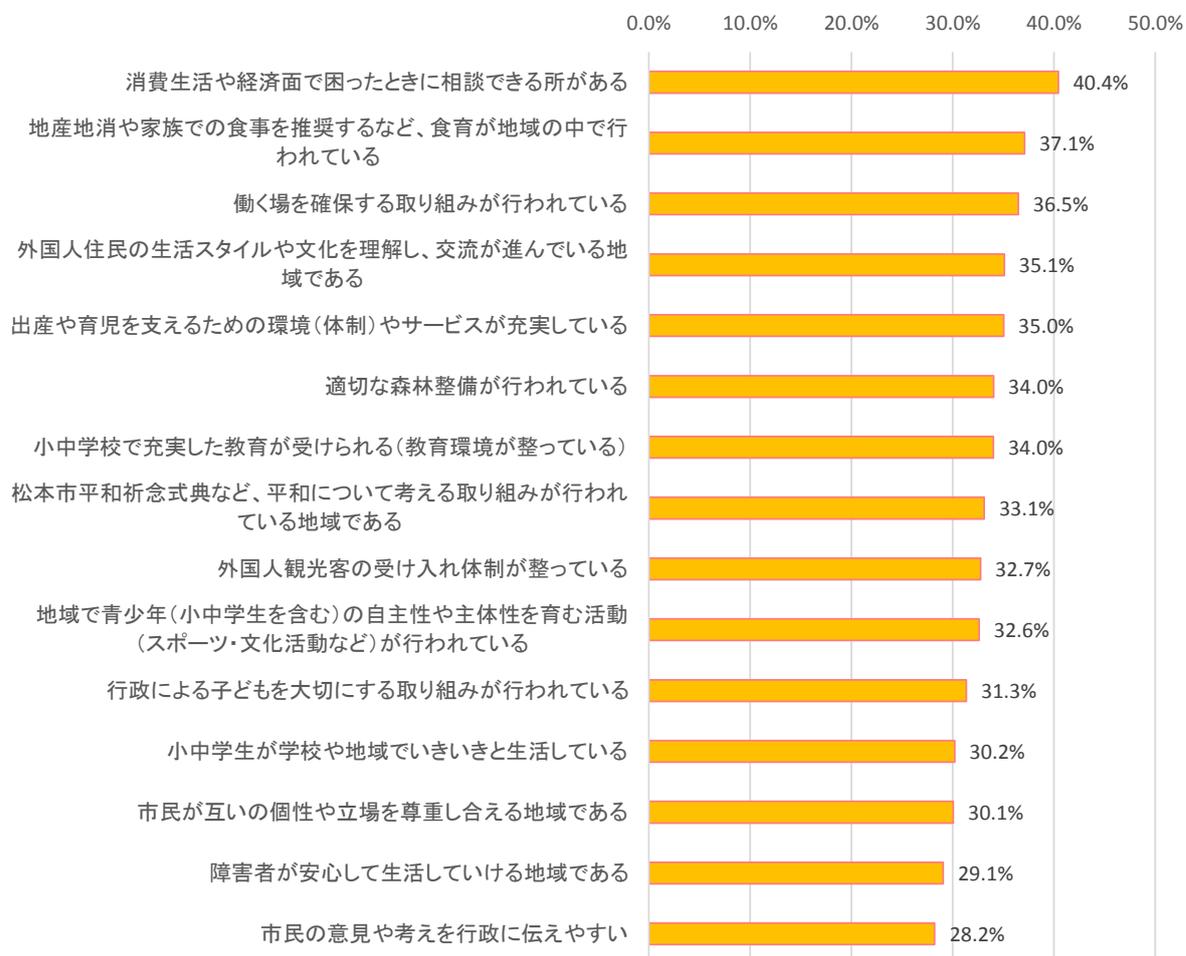
市の現状評価項目のなかで、最も評価が低かったのは、「交通安全対策（市民の交通マナー）」であり、1.93点であった。次いで「道路整備の推進（自転車がー）（歩行者がー）（移動しやすい）」、「質の高い行政経営の実現（市民の意見や考えをー）」となっている。

図表 90 市の現状評価で平均点が低い施策 下位 15 項目



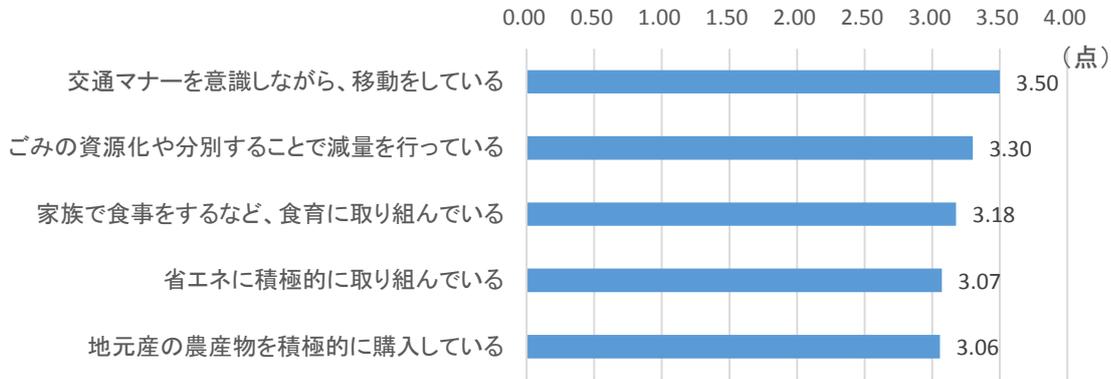
市の現状評価項目のなかで、評価保留の割合が高かったのは、「生活福祉の充実（消費生活や経済面一）」であり、40.4%であった。次いで「子どもを豊かに育む食育の推進（地産地消や家族での一）」、「労働、雇用対策の推進（働く場を確保する取り組み一）」となっている。受益者が限定された項目が多い状況である。

図表 91 市の現状評価で評価保留の割合が高い項目 上位15項目

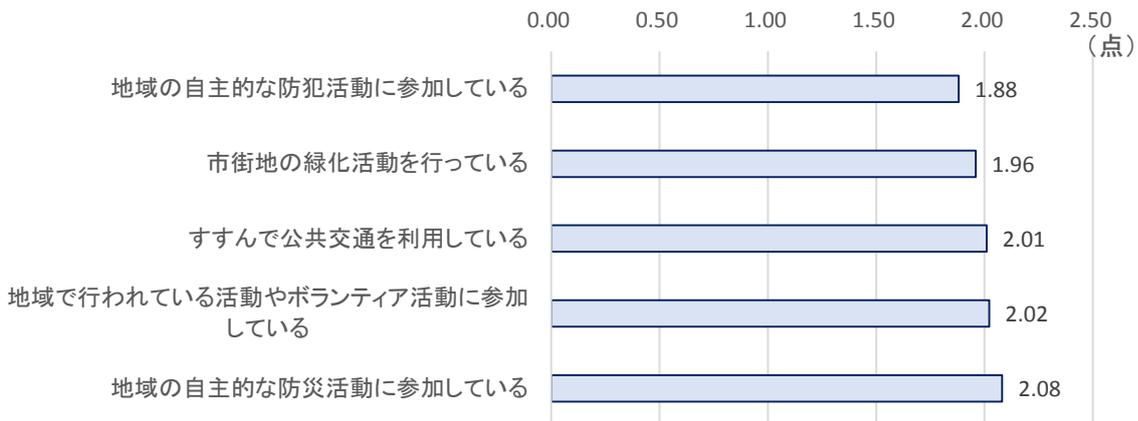


市民の行動の項目のなかで平均点が高いのは、「交通安全対策（市民の交通マナー）」、「3R の推進（ごみの資源化や分別）」であった。低い項目は「地域防犯活動の推進（地域の自主的な防犯活動）」、「花のあるまちづくり・まちなか緑化の推進（市街地の緑化活動）」であった。

図表 92 市の行動で平均点が高い項目 上位5項目



図表 93 市の行動で平均点が低い項目 下位5項目



以上の結果や中央値 2.5 点や評価保留の割合を見ながら、各政策の特徴的な傾向をまとめる。

図表 94 基本目標の評価結果

調査項目	評価結果の特徴的な傾向
基本目標1 だれもが健康でいきいきと暮らすまちについて	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域医療・救急医療・健康づくりに関する項目は市の取組に一定の評価が得られている。また、継続的に健康づくりに取り組んでいる市民も多い。 ・ 「ストレスや悩みを相談できる場所がある」については、平均点が中央値未満であり、かつ過去の傾向と同様に評価保留割合が高い。これまで以上の広報が必要である。
基本目標2 一人ひとりが輝き大切にされるまちについて	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市の取組では、生活福祉や青少年の健全育成は評価が低い。また、平和意識、人権尊重、多文化共生、生活福祉、子どもの権利は、評価保留の割合が 30% 以上であり、取組の周知が必要である。 ・ 高齢者福祉、障害者福祉、児童福祉に関しては、市民全体と受益者の間で評価保留の割合の差が大きく、当事者以外にも支援内容や取組についてさらに伝えていくことが求められる。出産・子育て・保育環境に関しては、市民全体、受益者の評価ともに上がっている。受益者の評価が高く、子育て家庭以外にも浸透していくことが求められる。
基本目標3 安全・安心で支えあいの心がつなぐまちについて	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の支え合い（地域づくり、地域福祉、地域防災、地域防犯）の施策に関しては「市の現状」評価は高いが、実際に取り組んでいる市民は少ない傾向が続いている。活動の主体として市民を巻き込み、育てていくことを考える必要がある。 ・ 道路整備（道路網、歩行者道、自転車道）は、中央値 2.5 点未満と評価が低く課題を感じている市民が多い状況である。 ・ 交通マナーは依然として、市民自身は取り組んでいるが、市全体としては向上していないと感じている人が多い状況である。交通マナーの向上が一人ひとりに求められていることを周知する必要がある。
基本目標4 人にやさしい環境を保全し自然と共生するまちについて	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市の現状に対する評価は、どの施策も中央値 2.5 点以上と高い。 ・ 環境保全や緑化の推進など、市民の活動を聞いている項目は、評価が低い傾向にあり、活動を促す啓発的な取組が一層求められる。 ・ 適切な森林整備、生物多様性に関する項目の市の現状は、評価保留の割合が高い。
基本目標5 魅力と活力にあふれにぎわいを生むまちについて	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中央値 2.5 点未満の項目は、労働・雇用対策、商業の振興である。労働・雇用対策は、まだ低い水準であるが、平成 24 年度と比較して年々評価が上がっている。 ・ 観光に関する評価（山岳観光地域、知人・友人にすすめたい、松本の魅力が発信されている）は、どの項目も高く、市民は観光都市として認識している。 ・ 労働・雇用対策や戦略的な観光施策の推進（外国人旅行者の受入体制整備）は評価保留の割合が高く、周知する必要がある。
基本目標6 とともに学びあい人と文化を育むまちについて	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小中学生の学校や地域での様子や小中学校の教育環境は、評価が上がっており、3.0 点以上となっている。しかし、市民全体の評価保留の割合は、3 割を超えている。 ・ 文化芸術活動の推進、スポーツの振興、地域の伝統文化の保存・継承に関する市民の行動は、依然として低水準である。
行政について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 質の高い行政経営（「市民の声が行政に－」）は依然として評価が低い。 ・ 質の高い行政経営（「市民の声が行政に－」）、窓口サービス・広聴の充実（「職員の対応に－」）は、評価保留の割合が高く、行政と市民との関係にまだ距離があるといえる。

(2) 年代別に評価の傾向が異なる施策

年代別に算出した平均点が回答者全体と比べて 0.2 点以上低い施策を取りまとめたものが以下である。20 代、30 代で評価が低い施策は、政策 3「安全・安心で支え合いの心がつなぐまちづくり」の「3-1 地域の支え合いを育むまち」や、政策 4「人にやさしい環境を保全し自然と共生するまちづくり」の市民自身の行動に関わる項目で多い傾向がある。若年層に特化した地域づくりへの活動促進、環境意識の向上を行っていく必要がある。

図表 95 回答者全体と比較して若年層の評価が低い項目 ※○の中の数字は基本目標の番号

対象者	区分	施策名
20 代	市	①健康づくりの推進（「健康について考えー」）
		③地域防犯活動の推進（「地域による自主的な防犯活動ー」）
		③危機管理体制の強化（「防災・減災の備えー」）
		③交通安全対策の充実（「市民の交通マナーが向上ー」）
		④3Rの推進（「市民がごみの資源化やー」）
		⑤戦略的な観光施策の推進（「知人や友人にすすめたい観光地ー」）
	市民	⑥社会教育環境の整備（「様々な学びや趣味を気軽に行えるー」）
		③地域づくりの推進（「地域で行われている活動やー」）
		③地域福祉活動の推進（「地域の人と積極的に関わりをー」）
		③地域防災活動の推進（「地域の自主的な防災活動ー」）
		③地域防犯活動の推進（「地域の自主的な防犯活動ー」）
		③防災・減災対策の推進（「災害に対する備えー」）
		④低炭素社会の推進（「省エネに積極的にー」）
		④3Rの推進（「ごみの資源化や分別することでー」）
		④花のあるまちづくり・まちなか緑化の推進（「市街地の緑化活動ー」）
		④生物多様性保全の推進（「環境にやさしい暮らしー」）
		⑤健康経営の推進（仕事と健康のバランスをー）
		⑤農産物高付加価値化の推進（「地元産の農産物を積極的にー」）
30 代	市	⑥歴史・文化資産保護・活用の推進（「(祭りなどの)地域の伝統や文化ー」）
		①健康づくりの推進（「健康について考えー」）
		②子どもの権利の推進（「行政による子どもを大切にすー」）
		③地域防犯活動の推進（「地域による自主的な防犯活動ー」）
		④3Rの推進（「市民がごみの資源化やー」）
	市民	⑤健康経営の推進（「働く人の健康に気をー」）
		①健康づくりの推進（「健康づくりに継続的にー」）
		③地域づくりの推進（「地域で行われている活動やー」）
		③地域福祉活動の推進（「地域の人と積極的に関わりをー」）
		③地域防災活動の推進（「地域の自主的な防災活動ー」）
		③地域防犯活動の推進（「地域の自主的な防犯活動ー」）
		④3Rの推進（「ごみの資源化や分別することでー」）
④花のあるまちづくり・まちなか緑化の推進（「市街地の緑化活動をー」）		

中間層、シニア層は、評価が低い項目にばらつきがある。40代は健康づくりや環境にやさしい暮らしなど、自身の行動に関する項目が低い。50代は道路整備、公共交通など政策3「安全・安心で支え合いの心がつなぐまちづくり」の都市基盤関連の項目で評価が低い。60代は森林整備、70代は行政の窓口サービス等の評価が低い傾向にある。

図表 96 回答者全体と比較して中間層、シニア層の評価が低い項目

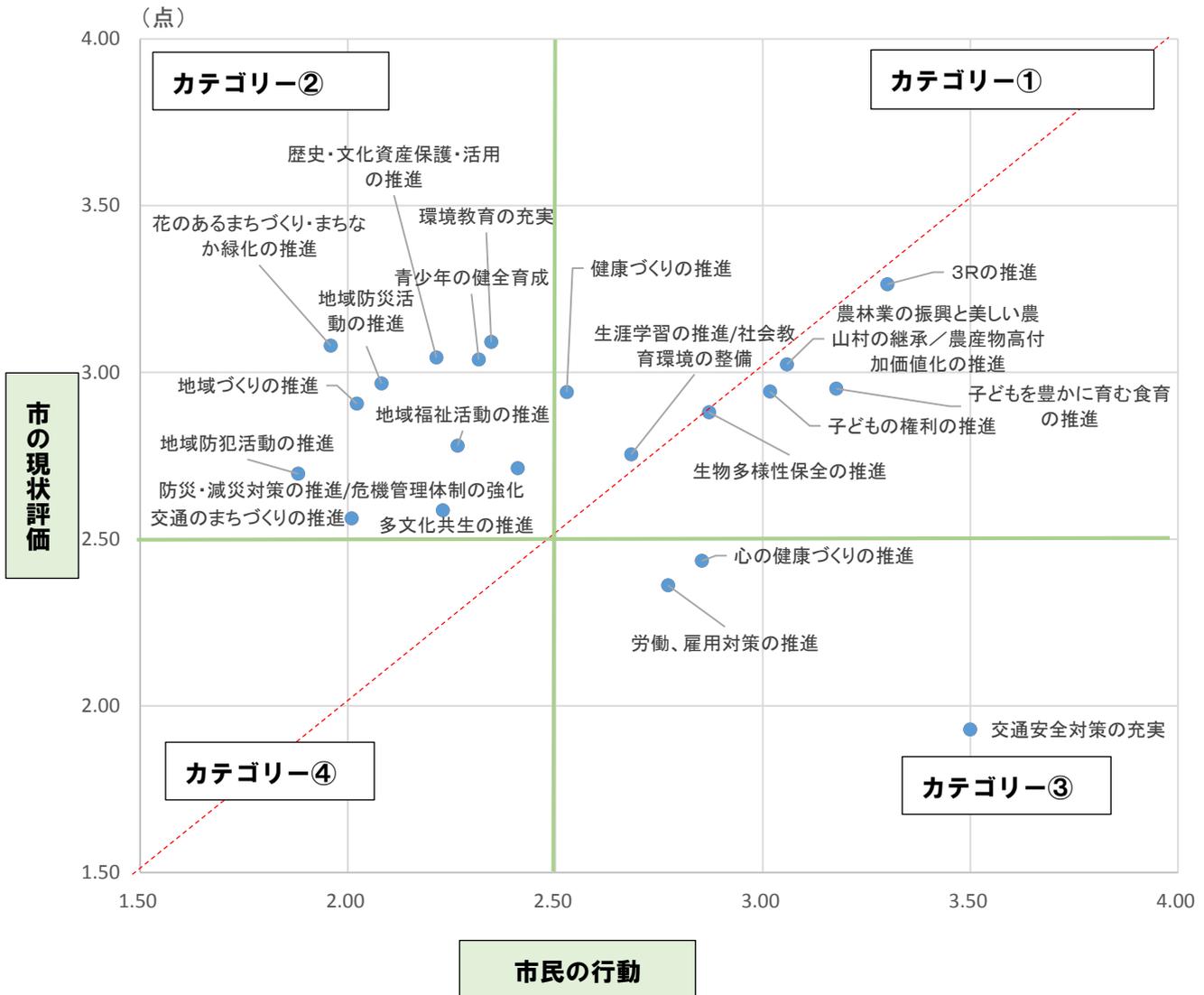
対象者	区分	施策名
40代	市民	①健康づくりの推進（「健康づくりに継続的に－」）
		④生物多様性保全の推進（「環境にやさしい暮らし－」）
50代	市	③道路整備の推進（「移動しやすい道路網が－」）
		③交通のまちづくりの推進（「生活をする上で必要最小限－」）
60代	市	④森林環境整備の推進（「適切な森林整備－」）
70代以上	市	⑦窓口サービス・広聴の充実（「職員の対応に好感を－」「職員が適切な対応を－」）
	市民	②多文化共生の推進（外国人住民と交流をする－）

(3) 市の現状評価と市民の行動からみる施策の方向性

市の環境・体制に対する評価と市民の行動という2つの視点で聞いた施策に傾向を取りまとめる。2つの視点で聞いた施策について、縦軸を「市の現状評価」、横軸を「市民の行動」としたグラフである。

「市の現状評価」「市民の行動」がともに2.5点を下回る項目はない。

図表 97 市の現状評価と市民の行動の平均点の分布



中央値 2.5 を基準に 4 つの категория に分類し、状況の整理及び方向性の導出を行った。「市の環境・体制に対する評価は高く、市民の行動が低い」施策が多い状況であり、市民の行動を促すような取組が必要である。

図表 98 市の現状評価と市民の行動からみる施策の方向性 ※○の中の数字は基本目標の番号

カテゴリー	該当施策	状況と方向性
カテゴリー① 市の環境・体制に対する評価、市民の行動がともに高い水準 ◆市の環境・体制：2.5 以上 ◆市民の行動：2.5 以上	①健康づくりの推進 ②子どもの権利の推進 ④ 3 R の推進 ④生物多様性保全の推進 ⑤農林業の振興と美しい農山村の継承／農産物高付加価値化の推進⑥子どもを豊かに育む食育の推進 ⑥生涯学習の推進・社会教育環境の整備	市の環境・体制と市民自身の行動が、高い水準で進んでいる ⇒現状を維持、あるいはさらに高みを目指す
カテゴリー② 市の環境・体制に対する評価水準は高いが、市民の行動がともなっていない ◆市の環境・体制：2.5 以上 ◆市民の行動：2.5 未満	②多文化共生の推進 ②青少年の健全育成 ③地域づくりの推進 ③地域福祉活動の推進 ③地域防災活動の推進 ③地域防犯活動の推進 ③危機管理体制の強化・防災機能の充実 ③交通のまちづくりの推進 ④環境教育の充実 ④花のあるまちづくり・まちなか緑化の推進 ⑥生涯学習の推進/社会教育環境の整備 ⑥歴史・文化資産保全・活用の推進	市の環境・体制は整っているが、市民がその環境を活用しておらず、行動がともなっていない ⇒市民の行動を促すような取組が必要
カテゴリー③ 市の環境・体制に対する評価水準は低い、市民の行動は行われている ◆市の環境・体制：2.5 未満 ◆市民の行動：2.5 以上	①心の健康、生きがいづくりの推進 ③交通安全対策の充実 ⑤労働、雇用対策の推進	市民一人ひとり心はかけているが、地域全体の向上につながっていない ⇒市民の活動、行動の確認や市として状況を改善するような取組が必要
カテゴリー④ 市の環境・体制に対する評価、市民の行動がともに低い ◆市の環境・体制：2.5 未満 ◆市民の行動：2.5 未満	—	市の環境・体制の整備と市民自身の行動が同じ進捗であるが、ともに低い ⇒市の取組のさらなる充実、市民の行動を促すような取組が必要

(4) 経年による調査結果の比較

①過去5年間の調査結果との比較

平成24年度から実施している本調査の結果を比較し、各項目の傾向を把握する。なお、今年度より第10次基本計画にあわせて調査項目の見直しを行っており、比較分析は調査項目の変更がない施策で行う。

1) 平均点の経年比較

■市の現状評価に関する経年比較結果■

- ・市の現状の項目で、平成27年から平成28年にかけて上がっているものは、「出産・子育て環境の充実」、「労働、雇用対策の推進」である。
- ・この5年間での変化としては、統計的検定を行った結果、以下の施策で有意な差が出ていた。どの施策も評価が上がっている。

政策2

- ・「出産・子育て環境の充実」／「保育環境の充実」／「青少年の健全育成」

政策3

- ・「危機管理体制の強化」

政策4

- ・「水道水の安定供給」／「景観維持、保全の推進」

政策5

- ・「労働、雇用対策の推進」／「戦略的な観光施策の推進」

政策6

- ・「学校教育の充実」／「学校環境の整備・充実」

図表 99 松本市の現状評価の経年比較（政策1～政策2）

基本施策 番号	施策名	H28年度の調査項目	平均値					平均値点の差				
			H24	H25	H26	H27	H28	H24⇒ H25	H25⇒ H26	H26⇒ H27	H27⇒ H28	H24⇒ H28
1-1-1	健康づくりの推進	健康について考え、実践できる環境がある	3.02	3.08	2.98	2.99	2.94	0.06	-0.10	0.01	-0.05	-0.08
1-1-2	心の健康づくりの推進	ストレスや悩みを抱えたとき、相談できる所がある	2.47	2.56	2.45	2.45	2.43	0.09	-0.11	0.00	-0.01	-0.03
1-2-1	地域医療の充実	日常生活において、必要な医療を受けることができる	3.54	3.59	3.55	3.51	3.50	0.05	-0.04	-0.04	-0.01	-0.04
1-2-2	救急医療・周産期医療の充実	夜間、休日時に必要な医療を受けることができる	3.36	3.37	3.34	3.33	3.32	0.01	-0.03	-0.01	-0.01	-0.04
2-1-2	人権尊重の推進	市民が互いの個性や立場を尊重し合える地域である	2.65	2.61	2.62	2.63	2.63	-0.04	0.01	0.01	0.00	-0.02
2-1-3	多文化共生の推進	外国人住民の生活スタイルや文化を理解し、交流が進んでいる地域である	2.48	2.47	2.40	2.47	2.59	-0.01	-0.07	0.07	0.11	0.10
2-2-1	高齢者福祉の充実	高齢者が安心して生活している地域である	2.76	2.78	2.73	2.60	2.68	0.02	-0.05	-0.13	0.09	-0.07
		【高齢者(60歳以上)】高齢者が安心して生活している地域である	2.88	2.85	2.76	2.65	2.76	-0.03	-0.09	-0.11	0.11	-0.13
		【介護サービス利用者と同居者】高齢者が安心して生活している地域である	2.78	2.93	2.76	2.68	2.65	0.16	-0.17	-0.08	-0.03	-0.12
2-2-2	障害者(児)福祉の充実	障害者が安心して生活している地域である	2.62	2.66	2.55	2.49	2.56	0.04	-0.11	-0.06	0.07	-0.07
		【障害者と同居者】障害者が安心して生活している地域である	2.70	2.67	2.56	2.56	2.51	-0.03	-0.11	0.00	-0.05	-0.20
2-3-2	出産・子育て環境の充実	出産や育児を支えるための環境(体制)やサービスが充実している	2.61	2.71	2.57	2.58	2.79	0.10	-0.14	0.01	0.21	0.18
		【子どもの親】出産や育児を支えるための環境(体制)やサービスが充実している	2.61	2.74	2.60	2.51	2.76	0.13	-0.14	-0.09	0.25	0.15
		【入園前の幼児の親】出産や育児を支えるための環境(体制)やサービスが充実している	2.86	2.87	2.58	2.64	2.88	0.01	-0.29	0.06	0.24	0.02
2-3-3	保育環境の充実	安心して子どもを預けることができる保育園・幼稚園・認定こども園がある	2.99	3.07	3.05	2.99	3.18	0.08	-0.02	-0.06	0.19	0.19
		【園児の親】安心して子どもを預けることができる保育園・幼稚園・認定こども園がある	3.20	3.19	3.23	3.11	3.35	-0.01	0.04	-0.12	0.25	0.15
2-3-4	青少年の健全育成	地域で青少年(小中学生を含む)の自主性や主体性を育む活動(スポーツ・文化活動など)が行われている	2.87	2.92	2.89	3.02	3.04	0.05	-0.03	0.13	0.02	0.17
		【子どもの親】地域で青少年(小中学生を含む)の自主性や主体性を育む活動(スポーツ・文化活動など)が行われている	2.85	2.88	2.81	2.90	3.02	0.03	-0.07	0.09	0.12	0.16

※平成24年と平成28年の結果を検定し、統計的に差があるものに色をつけている(t検定、1%水準)。平均点が上がっている項目は高いセル、下がっているセルには薄い色を付けている。

図表 100 松本市の現状評価の経年比較（政策3～行政について）

基本施策 番号	施策名	H28年度の調査項目	平均値					平均値点の差				
			H24	H25	H26	H27	H28	H24⇒ H25	H25⇒ H26	H26⇒ H27	H27⇒ H28	H24⇒ H28
3-1-2	地域福祉活動の推進	地域住民による支えあいが行われている	2.71	2.72	2.70	2.69	2.78	0.01	-0.02	-0.01	0.09	0.07
3-1-3	地域防災活動の推進	地域による自主的な防災活動が行われている	2.98	3.01	3.02	3.05	2.97	0.03	0.01	0.03	-0.08	-0.02
3-1-4	地域防犯活動の推進	地域による自主的な防犯活動が行われている	2.68	2.68	2.68	2.64	2.70	0.00	0.00	-0.04	0.06	0.01
3-2-1	危機管理体制の強化	防災・減災の備えが整っている	2.56	2.62	2.64	2.62	2.71	0.06	0.02	-0.02	0.09	0.15
3-3-1	調和した土地利用の推進	農地や自然とのバランスがとれた都市開発が行われている	2.63	2.60	2.63	2.61	2.73	-0.03	0.03	-0.02	0.12	0.09
3-3-3	交通安全対策の充実	市民の交通マナーが向上している	1.90	1.92	1.91	1.94	1.93	0.02	-0.01	0.03	-0.01	0.03
3-3-5	水道水の安定供給	安全な水を利用することができる	3.49	3.52	3.52	3.56	3.56	0.03	0.00	0.04	0.01	0.07
4-1-2	3Rの推進	市民がごみの資源化や分別をすることで減量に取り組んでいる	3.19	3.19	3.18	3.17	3.26	0.00	-0.01	-0.01	0.10	0.07
4-3-1	水・大気などの環境保全の推進	悪臭や水、大気汚染などの問題がない地域である	3.22	3.25	3.26	3.33	3.20	0.03	0.01	0.07	-0.12	-0.02
4-3-2	景観維持、保全の推進	歴史・伝統が感じられる松本らしい景観が保たれている	2.96	2.95	2.86	2.97	3.15	-0.01	-0.09	0.11	0.18	0.19
5-1-4	労働、雇用対策の推進	働く場を確保する取り組みが行われている	2.00	2.01	2.04	2.13	2.36	0.01	0.03	0.09	0.23	0.36
5-2-1	農林業の振興と美しい農山村の継承	知人や友人にすすめたい地元産の農産物が多い	3.03	3.02	2.97	2.99	3.03	-0.01	-0.05	0.02	0.04	0.00
5-3-3	戦略的な観光施策の推進	知人や友人にすすめたい観光地が多い	3.19	3.16	3.14	3.11	3.28	-0.03	-0.02	-0.03	0.17	0.09
6-1-1	学校教育の充実	小中学生が学校や地域でいきいきと生活している	2.93	3.04	3.04	3.09	3.15	0.11	0.00	0.05	0.06	0.22
		【小中学生の親】小中学生が学校や地域でいきいきと生活している	2.93	3.05	3.06	3.04	3.15	0.12	0.01	-0.02	0.11	0.22
6-1-2	学校環境の整備・充実	小中学校で充実した教育が受けられる(教育環境が整っている)	2.86	2.98	2.97	3.05	3.16	0.12	-0.01	0.08	0.11	0.30
		【小中学生の親】小中学校で充実した教育が受けられる(教育環境が整っている)	2.77	2.88	2.87	2.87	3.03	0.11	-0.01	0.00	0.16	0.26
6-2-2	社会教育環境の整備	様々な学びや趣味を気軽に行える施設が充実している	2.71	2.76	2.67	2.73	2.75	0.05	-0.09	0.06	0.03	0.04
6-4-1	歴史・文化資産保護・活用の推進	地域の伝統や文化の保存、継承が行われている	3.02	3.00	2.97	2.99	3.04	-0.02	-0.03	0.02	0.06	0.03
6-4-2	城下町まつもとにふさわしいまちづくり	「城下町まつもと」にふさわしいまちづくりが行われている	2.92	2.92	2.84	2.90	2.94	0.00	-0.08	0.06	0.05	0.02
行政について	質の高い行政経営の実現	市民の意見や考えを行政に伝えやすい	2.32	2.28	2.24	2.23	2.27	-0.04	-0.04	-0.01	0.04	-0.05
行政について	窓口サービス・広聴の充実	職員の対応に好感を持つことができる	2.62	2.63	2.62	2.65	2.68	0.01	-0.01	0.03	0.03	0.07

※平成 24 年と平成 28 年の結果を検定し、統計的に差があるものに色をつけている（t 検定、1%水準）。平均点が上がっている項目は高いセル、下がっているセルには薄い色を付けている。

■ 市民の行動に関する経年比較結果 ■

- ・市民の行動の項目で、平成 27 年から平成 28 年にかけて「青少年の健全育成」が上がっている。
- ・この 5 年間での変化としては、統計的検定を行った結果、以下の施策で有意な差が出ていた。下線を引いている「地域福祉活動の推進」と、「3Rの推進」については、評価が下がっている。

政策 2 : 「青少年の健全育成」

政策 3 : 「地域福祉活動の推進」 / 「地域防災活動の推進」 / 「地域防犯活動の推進」
/ 「交通安全対策の充実」

政策 4 : 「3Rの推進」 / 「生涯学習の推進」

図表 101 市民の行動の経年比較（政策 1～行政について）

基本施策番号	施策名	H28年度の調査項目	平均値					平均値点の差				
			H24	H25	H26	H27	H28	H24⇒H25	H25⇒H26	H26⇒H27	H27⇒H28	H24⇒H28
1-1-1	健康づくりの推進	健康づくりに継続的に取り組んでいる	2.54	2.62	2.54	2.57	2.53	0.08	-0.08	0.03	-0.05	-0.01
2-3-4	青少年の健全育成	青少年(小中学生を含む)の自主性や主体性を育む活動(スポーツ・文化活動など)を行っている	2.07	2.14	2.11	2.13	2.32	0.07	-0.03	0.02	0.18	0.25
		【子どもの親】青少年(小中学生を含む)の自主性や主体性を育む活動(スポーツ・文化活動など)を行っている	2.35	2.30	2.20	2.21	2.39	-0.05	-0.10	0.01	0.18	0.04
3-1-1	地域づくりの推進	地域で行われている活動やボランティア活動に参加している	2.01	2.03	1.96	2.03	2.02	0.02	-0.07	0.07	0.00	0.02
3-1-2	地域福祉活動の推進	地域の人と積極的に関わりを持っている	2.38	2.41	2.40	2.38	2.26	0.03	-0.01	-0.02	-0.12	-0.12
3-1-3	地域防災活動の推進	地域の自主的な防災活動に参加している	1.97	2.03	1.95	2.08	2.08	0.06	-0.08	0.13	0.00	0.11
3-1-4	地域防犯活動の推進	地域の自主的な防犯活動に参加している	1.74	1.81	1.75	1.80	1.88	0.07	-0.06	0.05	0.09	0.15
3-2-2	防災・減災対策の推進	災害に対する備えをしている	2.37	2.34	2.31	2.30	2.41	-0.03	-0.03	-0.01	0.11	0.04
3-3-3	交通安全対策の充実	交通マナーを意識しながら、移動をしている	3.40	3.45	3.42	3.44	3.50	0.05	-0.03	0.02	0.06	0.10
3-3-4	交通のまちづくりの推進	すすんで公共交通を利用している	1.94	1.92	1.96	1.99	2.01	-0.02	0.04	0.03	0.02	0.07
4-1-2	3Rの推進	ごみの資源化や分別することで減量を行っている	3.47	3.32	3.32	3.30	3.30	-0.15	0.00	-0.02	0.00	-0.17
4-1-3	環境教育の充実	自然や環境を守るための活動を行っている	2.38	2.46	2.41	2.45	2.35	0.08	-0.05	0.04	-0.10	-0.04
4-2-2	花のあるまちづくり・まちなか緑化の推進	市街地の緑化活動を行っている	1.98	1.96	1.97	1.96	1.96	-0.02	0.01	-0.01	0.00	-0.02
5-3-1	農産物高付加価値化の推進	地元産の農産物を積極的に購入している	3.09	3.09	2.96	3.08	3.06	0.00	-0.13	0.12	-0.02	-0.03
6-2-1	生涯学習の推進	様々な学びや趣味を通じて、充実した日常生活を送っている	2.51	2.61	2.59	2.55	2.68	0.10	-0.02	-0.04	0.13	0.17
6-3-1	文化芸術活動の推進	音楽や芸術にふれている(音楽や芸術活動に取り組んだり、鑑賞することを含む)	2.43	2.47	2.46	2.47	2.49	0.04	-0.01	0.01	0.02	0.06
6-3-2	スポーツの振興	継続的にスポーツに親しんでいる(スポーツに取り組んだり、観戦することを含む)	2.29	2.35	2.32	2.38	2.38	0.06	-0.03	0.06	0.00	0.09
6-4-1	歴史・文化資産保護・活用の推進	(祭りなどの)地域の伝統や文化の保存、継承に取り組んでいる	2.23	2.23	2.20	2.22	2.21	0.00	-0.03	0.02	-0.01	-0.02
行政について	松本の魅力発信力の強化	行政の活動に関心を持っている	2.67	2.64	2.61	2.61	2.66	-0.03	-0.03	0.00	0.05	-0.01

※平成 24 年と平成 28 年の結果を検定し、統計的に差があるものに色をつけている (t 検定、1%水準)。平均点が上がっている項目は高いセル、下がっているセルには薄い色を付けている。

2) 評価保留の割合の比較

■評価保留の割合・市の現状評価に関する経年比較結果■

- ・この5年間で5%以上上がっているものは、「農地や自然とのバランスがとれた都市開発が行われている」「働く場を確保する取り組みが行われている」「市民が互いの個性や立場を尊重し合える地域である」である。
- ・5%より下がっているものは、「出産や育児を支えるための環境（体制）やサービスが充実している（入園前の幼児の親）」であった。

図表 102 評価保留の割合・松本市の現状評価の経年比較（政策1～政策2）

基本施策番号	施策名	H28年度の調査項目	評価保留の割合（％）					評価保留の割合（％）の差				
			H24	H25	H26	H27	H28	H24⇒H25	H25⇒H26	H26⇒H27	H27⇒H28	H24⇒H28
1-1-1	健康づくりの推進	健康について考え、実践できる環境がある	14.2%	14.8%	15.6%	13.9%	13.2%	0.6%	0.8%	-1.7%	-0.7%	-0.9%
1-1-2	心の健康づくりの推進	ストレスや悩みを抱えたととき、相談できる所がある	27.8%	27.2%	27.6%	26.7%	24.2%	-0.6%	0.4%	-1.0%	-2.5%	-3.5%
1-2-1	地域医療の充実	日常生活において、必要な医療を受けることができる	1.9%	2.9%	3.5%	2.3%	2.9%	1.0%	0.6%	-1.2%	0.6%	1.0%
1-2-2	救急医療・周産期医療の充実	夜間、休日時に必要な医療を受けることができる	6.1%	7.0%	7.2%	5.7%	8.1%	0.9%	0.3%	-1.5%	2.4%	2.0%
2-1-2	人権尊重の推進	市民が互いの個性や立場を尊重し合える地域である	24.8%	26.3%	25.9%	27.5%	30.1%	1.6%	-0.5%	1.6%	2.6%	5.3%
2-1-3	多文化共生の推進	外国人住民の生活スタイルや文化を理解し、交流が進んでいる地域である	36.9%	38.2%	36.6%	31.1%	35.1%	1.3%	-1.6%	-5.5%	4.0%	-1.8%
2-2-1	高齢者福祉の充実	高齢者が安心して生活していける地域である	22.1%	24.6%	24.8%	18.5%	18.4%	2.5%	0.3%	-6.3%	-0.2%	-3.7%
		【高齢者(60歳以上)】高齢者が安心して生活していける地域である	14.9%	15.3%	17.3%	-	15.3%	0.4%	2.0%	-	-	0.4%
		【介護サービス利用者と同居者】高齢者が安心して生活していける地域である	5.5%	11.5%	10.2%	10.1%	6.2%	5.9%	-1.3%	-0.1%	-3.9%	0.7%
2-2-2	障害者（児）福祉の充実	障害者が安心して生活していける地域である	30.0%	32.3%	31.2%	26.8%	29.1%	2.3%	-1.2%	-4.3%	2.2%	-1.0%
		【障害者と同居者】障害者が安心して生活していける地域である	15.2%	15.4%	13.6%	11.2%	12.8%	0.2%	-1.7%	-2.5%	1.6%	-2.4%
2-3-2	出産・子育て環境の充実	出産や育児を支えるための環境（体制）やサービスが充実している	31.9%	36.0%	35.0%	33.5%	35.0%	4.1%	-1.0%	-1.5%	1.5%	3.1%
		【子どもの親】出産や育児を支えるための環境（体制）やサービスが充実している	9.2%	14.2%	14.2%	13.1%	11.6%	4.9%	0.1%	-1.1%	-1.5%	2.3%
		【入園前の幼児の親】出産や育児を支えるための環境（体制）やサービスが充実している	6.1%	3.7%	3.5%	3.4%	1.1%	-2.4%	-0.2%	-0.1%	-2.3%	-5.0%
2-3-3	保育環境の充実	安心して子どもを預けることができる保育園・幼稚園・認定こども園がある	27.0%	29.7%	30.5%	28.2%	26.9%	2.6%	0.8%	-2.3%	-1.3%	-0.1%
		【園児の親】安心して子どもを預けることができる保育園・幼稚園・認定こども園がある	1.7%	0.0%	1.4%	1.9%	3.4%	-1.7%	1.4%	0.5%	1.5%	1.7%
2-3-4	青少年の健全育成	地域で青少年（小中学生を含む）の自主性や主体性を育む活動（スポーツ・文化活動など）が行われている	32.2%	32.9%	36.3%	33.4%	32.6%	0.7%	3.4%	-2.9%	-0.8%	0.4%
		【子どもの親】地域で青少年（小中学生を含む）の自主性や主体性を育む活動（スポーツ・文化活動など）が行われている	19.3%	23.7%	26.3%	22.4%	20.2%	4.4%	2.6%	-3.9%	-2.1%	1.0%

※各項目 5%以上上がっているセルは濃い色、5%以上下がっているセルには薄い色を付けている。

図表 103 評価保留の割合・松本市の現状評価の経年比較（政策3～行政について）

基本施策 番号	施策名	H28年度の調査項目	評価保留の割合（％）					評価保留の割合（％）の差				
			H24	H25	H26	H27	H28	H24⇒ H25	H25⇒ H26	H26⇒ H27	H27⇒ H28	H24⇒ H28
3-1-2	地域福祉活動の推進	地域住民による支えあいが行われている	15.6%	15.2%	13.6%	15.4%	18.1%	-0.4%	-1.6%	1.8%	2.7%	2.5%
3-1-3	地域防災活動の推進	地域による自主的な防災活動が行われている	13.9%	11.4%	13.5%	13.8%	14.8%	-2.5%	2.1%	0.4%	0.9%	0.8%
3-1-4	地域防犯活動の推進	地域による自主的な防犯活動が行われている	16.6%	16.3%	17.0%	18.5%	18.9%	-0.3%	0.7%	1.5%	0.4%	2.2%
3-2-1	危機管理体制の強化	防災・減災の備えが整っている	18.3%	19.9%	22.1%	19.3%	22.7%	1.6%	2.2%	-2.8%	3.4%	4.4%
3-3-1	調和した土地利用の推進	農地や自然とのバランスがとれた都市開発が行われている	17.0%	17.4%	19.0%	15.8%	23.4%	0.4%	1.6%	-3.2%	7.6%	6.4%
3-3-3	交通安全対策の充実	市民の交通マナーが向上している	6.2%	8.5%	8.0%	8.1%	9.6%	2.2%	-0.5%	0.1%	1.6%	3.4%
3-3-5	水道水の安定供給	安全な水を利用することができる	2.9%	2.7%	3.3%	2.7%	3.2%	-0.3%	0.6%	-0.6%	0.5%	0.3%
4-1-2	3Rの推進	市民がごみの資源化や分別をすることで減量に取り組んでいる	6.0%	5.5%	7.5%	6.3%	6.4%	-0.5%	2.0%	-1.2%	0.2%	0.4%
4-3-1	水・大気などの環境保全の推進	悪臭や水、大気汚染などの問題がない地域である	5.5%	4.4%	5.1%	4.9%	5.6%	-1.1%	0.8%	-0.2%	0.7%	0.1%
4-3-2	景観維持・保全の推進	歴史・伝統が感じられる松本らしい景観が保たれている	6.7%	6.6%	9.0%	5.0%	6.9%	-0.1%	2.4%	-4.0%	1.9%	0.2%
5-1-4	労働・雇用対策の推進	働く場を確保する取り組みが行われている	28.3%	31.6%	32.4%	29.3%	36.5%	3.4%	0.8%	-3.2%	7.2%	8.2%
5-2-1	農林業の振興と美しい農山村の継承	知人や友人にすすめたい地元産の農産物が多い	6.3%	5.9%	8.9%	6.2%	10.0%	-0.4%	3.0%	-2.6%	3.7%	3.7%
5-3-3	戦略的な観光施策の推進	知人や友人にすすめたい観光地が多い	3.3%	3.9%	4.3%	3.8%	4.6%	0.6%	0.4%	-0.4%	0.8%	1.3%
6-1-1	学校教育の充実	小中学生が学校や地域でいきいきと生活している	26.3%	25.1%	29.9%	28.1%	30.2%	-1.3%	4.8%	-1.8%	2.1%	3.9%
		【小中学生の親】小中学生が学校や地域でいきいきと生活している	2.8%	1.6%	6.5%	1.0%	4.9%	-1.1%	4.9%	-5.5%	3.9%	2.2%
6-1-2	学校環境の整備・充実	小中学校で充実した教育が受けられる（教育環境が整っている）	32.7%	31.0%	35.2%	31.4%	34.0%	-1.7%	4.2%	-3.7%	2.6%	1.4%
		【小中学生の親】小中学校で充実した教育が受けられる（教育環境が整っている）	4.6%	5.7%	8.2%	3.1%	5.5%	1.1%	2.5%	-5.0%	2.4%	0.9%
6-2-2	社会教育環境の整備	様々な学びや趣味を気軽に行える施設が充実している	20.9%	22.2%	22.0%	23.0%	24.3%	1.3%	-0.2%	1.0%	1.3%	3.4%
6-4-1	歴史・文化資産保護・活用の推進	地域の伝統や文化の保存、継承が行われている	15.6%	16.3%	18.4%	19.2%	17.9%	0.7%	2.1%	0.9%	-1.3%	2.3%
6-4-2	城下町まつもとにふさわしいまちづくり	「城下町まつもと」にふさわしいまちづくりが行われている	16.5%	16.7%	17.6%	18.4%	21.3%	0.2%	0.9%	0.8%	2.9%	4.8%
行政について	質の高い行政経営の実現	市民の意見や考えを行政に伝えやすい	29.0%	28.3%	30.8%	26.5%	28.2%	-0.7%	2.5%	-4.3%	1.8%	-0.7%
行政について	窓口サービス・広聴の充実	職員の対応に好感を持つことができる	15.7%	15.6%	18.0%	17.7%	18.5%	-0.1%	2.5%	-0.3%	0.7%	2.8%

※各項目 5%以上上がっているセルは濃い色、5%以上下がっているセルには薄い色を付けている。

■評価保留の割合・市民の行動に関する経年比較結果■

- ・平成24年から平成28年にかけて5%以上上がっているものは、「青少年（小中学生を含む）の自主性や主体性を育む活動（スポーツ・文化活動など）を行っている」である。
- ・5%より下がっているものはなかった。

図表 104 評価保留の割合・市民の行動の経年比較（政策1～行政について）

基本施策番号	施策名	H28年度の調査項目	評価保留の割合（％）					評価保留の割合（％）の差				
			H24	H25	H26	H27	H28	H24⇒H25	H25⇒H26	H26⇒H27	H27⇒H28	H24⇒H28
1-1-1	健康づくりの推進	健康づくりに継続的に取り組んでいる	3.6%	2.8%	2.9%	3.4%	2.7%	-0.8%	0.1%	0.5%	-0.7%	-0.9%
2-3-4	青少年の健全育成	青少年（小中学生を含む）の自主性や主体性を育む活動（スポーツ・文化活動など）を行っている	16.7%	20.1%	20.9%	21.4%	28.2%	3.4%	0.7%	0.5%	6.8%	11.5%
		【子どもの親】青少年（小中学生を含む）の自主性や主体性を育む活動（スポーツ・文化活動など）を行っている	7.6%	11.1%	12.0%	11.0%	16.8%	3.5%	0.9%	-1.0%	5.8%	9.1%
3-1-1	地域づくりの推進	地域で行われている活動やボランティア活動に参加している	4.1%	3.3%	3.6%	3.3%	4.1%	-0.9%	0.3%	-0.3%	0.8%	0.0%
3-1-2	地域福祉活動の推進	地域の人と積極的に関わりを持っている	3.2%	2.4%	2.3%	2.6%	3.1%	-0.7%	-0.1%	0.3%	0.4%	-0.1%
3-1-3	地域防災活動の推進	地域の自主的な防災活動に参加している	4.1%	3.9%	3.5%	3.3%	4.3%	-0.2%	-0.5%	-0.2%	1.0%	0.2%
3-1-4	地域防犯活動の推進	地域の自主的な防犯活動に参加している	5.0%	5.4%	5.0%	4.7%	5.7%	0.3%	-0.3%	-0.4%	1.1%	0.7%
3-2-2	防災・減災対策の推進	災害に対する備えをしている	2.0%	2.5%	2.0%	2.4%	2.4%	0.5%	-0.5%	0.4%	0.0%	0.4%
3-3-3	交通安全対策の充実	交通マナーを意識しながら、移動をしている	1.1%	1.7%	0.6%	0.8%	1.1%	0.6%	-1.1%	0.2%	0.3%	0.0%
3-3-4	交通のまちづくりの推進	すすんで公共交通を利用している	2.0%	2.1%	1.9%	2.0%	2.1%	0.2%	-0.2%	0.1%	0.1%	0.1%
4-1-2	3Rの推進	ごみの資源化や分別することで減量を行っている	0.8%	1.1%	1.8%	1.6%	1.7%	0.4%	0.6%	-0.2%	0.1%	0.9%
4-1-3	環境教育の充実	自然や環境を守るための活動を行っている	5.4%	6.4%	7.7%	5.9%	8.7%	0.9%	1.3%	-1.8%	2.9%	3.3%
4-2-2	花のあるまちづくり・まちなか緑化の推進	市街地の緑化活動を行っている	7.1%	7.8%	8.1%	8.7%	9.8%	0.7%	0.3%	0.6%	1.0%	2.7%
5-3-1	農産物高付加価値化の推進	地元産の農産物を積極的に購入している	2.2%	3.0%	1.7%	2.0%	4.1%	0.8%	-1.4%	0.4%	2.0%	1.9%
6-2-1	生涯学習の推進	様々な学びや趣味を通じて、充実した日常生活を送っている	6.7%	6.6%	8.2%	8.4%	3.6%	-0.2%	1.6%	0.2%	-4.8%	-3.1%
6-3-1	文化芸術活動の推進	音楽や芸術にふれている（音楽や芸術活動に取り組んだり、鑑賞することを含む）	4.7%	4.3%	5.4%	5.1%	3.6%	-0.5%	1.2%	-0.3%	-1.6%	-1.2%
6-3-2	スポーツの振興	継続的にスポーツに親しんでいる（スポーツに取り組んだり、観戦することを含む）	4.6%	4.8%	6.7%	5.4%	2.6%	0.2%	2.0%	-1.3%	-2.8%	-2.0%
6-4-1	歴史・文化資産保護・活用の推進	（祭りなどの）地域の伝統や文化の保存、継承に取り組んでいる	7.2%	7.0%	9.0%	6.4%	6.2%	-0.2%	2.0%	-2.6%	-0.1%	-1.0%
行政について	松本の魅力発信力の強化	行政の活動に関心を持っている	6.9%	8.7%	9.4%	9.0%	9.9%	1.8%	0.8%	-0.4%	0.8%	3.0%

※各項目 5%以上上がっているセルは濃い色、5%以上下がっているセルには薄い色を付けている。